

科目名	哲学		
担当教員名	田子山 和歌子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

1. 科目の性格

哲学独自の発想方法を、教科書的な参考文献に依拠せず、哲学者自身が書いた著述(テキスト)の精読を通して学びます。

2. 科目の概要

「個」の問題をめくり、アリストテレス、トマス・アクイナス、スアレス、デカルト、スピノザ、ライプニッツの著述の講読をおこないます。ただし時間内で扱うことが出来る範囲は限られますので、私の関心であるライプニッツの個理解と関連付けた形で各回授業したいと思います。「個」の問題は、倫理、宗教、認識論(心理学)に関するさまざまな論点を含んだ興味深い哲学の研究テーマといえます。上記の哲学者が個に向けたの関心と探求は、現代に生きる私たちの関心にもこたえてくれるに違いありません。このために哲学のテキストの精読を徹底したいとおもいます。また、毎時間論文指導をおこない、各回論述レポートを出していただきます。

3. 学修目標

哲学のテキストを、教科書などに依拠せず自分で読む訓練をします。同時に論述指導を行い、哲学の各テーマについて自分の力で考える訓練をします。

内容

第1回: ガイダンス

第2回: アリストテレス 1「形而上学」、「カテゴリー論」、論述の指導

第3回: アリストテレス 2「形而上学」、「カテゴリー論」、論述の指導

第4回: トマス・アクイナス 1「神学大全」、論述の指導

第5回: トマス・アクイナス 2「有と存在」論述の指導

第6回: スアレス 「形而上学論考」第1、第5巻、論述の指導

第7回: デカルト 1「省察」第1、第2省察、論述の指導

第8回: デカルト 2 続き、論述の指導

第9回: スピノザ 1「エチカ」第1巻、論述の指導

第10回: スピノザ 2 「エチカ」第3巻、論述の指導

第11回: ライプニッツ「モナドロジー」第1～第9節、論述の指導

第12回: ライプニッツ 「モナドロジー」第10節～第30節、論述の指導

第13回: ライプニッツ「モナドロジー」第31節～第50節、論述の指導

第14回: まとめ1(個と私について考える)、論述の指導

第15回; まとめ2(個と普遍について考える)、論述指導

評価

試験70%、各回の論述レポート30%

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書：毎時プリントを配布します。

参考書（授業では使いませんが、参考に）：中川純男、田子山和歌子、金子善彦編『西洋思想における「個の概念」』（慶應義塾大学出版会）（2011年4月出版予定）

科目名	論理学		
担当教員名	橋本 克己		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

1 科目の性格

本科目は「共通科目」に位置づけられている。

2 科目の概要

現代の我々は、膨大で多様な情報の適切な処理のため、その構造や意味、連関などを分析・解明して、それらが厳密な論理的表現形式へと置換し、そこから新たな情報を導出するといった能力が求められるが、その能力とは、言うまでもなく論理の力である。

本科目では、論理学の基本的な考え方を学び、人間の持つこの論理的思考の本当のあり方を正しく評価するとともに、経験的事実に関する論理計算を実際に行い論理的能力の向上をはかることを目的とする。

3 学修目標

本科目の学修目標は以下の3点である。 記号論理学の基礎を理解することができる。 文章命題を記号命題に変換することができる。 記号命題を用いて論題を解明することができる。

内容

論理学とは、数学的色彩の強いものであるという一般的な印象があり、難しいものと思われがちであるが、我々は実際には日々いろいろな種類の推論や論証を行っているのである。本授業では、知的ゲームとしての論理パズルを解いてゆき、そうした推論や論証の力を伸ばし、秩序立てて論理的に事物を考える習慣を身につけていく。

1. 真偽の探求

- 1回 記号の原則
- 2回 真理表
- 3回 命題と条件文
- 4回 記号による推論
- 5回 論理尺
- 6回 背理法
- 7回 ダイアグラム
- 8回 論理的等値
- 9回 論理法則

2. 存在と無

- 10回 ヴェン図の基本
- 11回 ヴェン図による論証

3. 個体と属性

- 12回 個体領域
- 13回 属性の検証
- 14回 限量式と個体領域

4. まとめ

評価

小テスト50：筆記試験50の比率で評価（100点満点）し、合計60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合には「再試験」を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】 内井惣七著 『いかにして推理するか、いかにして証明するか』 ミネルヴァ書房

【参考図書】 本学図書館の蔵書の中から、授業中に随時紹介する。

科目名	比較文化論		
担当教員名	藤野 紀男		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

外国を理解するためには外国に関する文化的背景知識と、それらに対する比較的視野が必要です。比較文化論の重要性はそこに存在します。と云って、文化が包含する範囲は実に広いので、一番接する機会の多い日常生活面に重点を置き、そこを基点にして背後にある発想の相違に迫りたいと思います。さらに、一番身近な英米と日本を比較しながら、背後の広い世界へと眼を向けていけるように配慮するつもりです。

内容

15回の授業において以下のテーマを取り上げます。

1. 導入 文化とは 文化の重要性 比較とは
2. 西洋と東洋 ヨーロッパ文化の基底 ヨーロッパ度
3. 飲食 民族と風土 主食文化圏 飲食と宗教
4. 飲食 料理 国民性 食事文化
5. 飲食 アルコール飲料 アルコール飲料と宗教 日常の飲酒
6. 飲食 非アルコール飲料 コーヒーと紅茶 国民性
7. 住居 家の観念 家の基本(概観と内部) 家の基本(外回り)
8. 時間 単位 暦
9. 時間 計測法 種類
10. 時間 文化的相違 生活ペース
11. 人間関係 家族(夫婦、親子、社会集団) 鯛動物関係
12. 人間関係 ビジネス 日本と西洋
13. ボデーランゲージ 種類 距離 仕草 原理
14. ボデーランゲージ 位置・方向 姿勢 民族的相違
15. スポーツ他

評価

次の配分によって総合評価します。

平常点を30%とレポートの評価を70%。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は使用しません。口述と板書によって授業を進めます。ただ、要点項目、図版などを載せた紙は配布します。

科目名	フランス文学		
担当教員名	中嶋 公子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目では、文化の異なる国の作家が描く恋愛、母娘関係や父娘関係などの家族のあり方、悩みなどを通して、すべての科目に通じる人間への理解を学び、深めます。

講義では、フランス中世から現代までの主に世界的に有名な女性作家を中心に、どのような人生を歩み、作家になっていったか、どんな作品を書いたのかを学びます。また、近現代の作家は、邦訳されている代表的作品を一冊選んで、抜粋を読みます。作品が映画化されている場合は、作品をより理解するため、合わせてDVDも見ます。

学修目標は、次の3点です。 文学を通して、人間関係、心理のあり方を理解する。 日仏の文化の共通性と違いを知る。 自分の考えをまとめる力をつける。

内容

1	フランス文学史の中の女性作家たち—クリスティーヌ・ド・ピザン、ラファイエット夫人他
2	19世紀の代表的作家 ジョルジュ・サンドの生涯と作品 DVDの紹介
3	田園小説『魔の沼』を読む
4	『魔の沼』を読む
5	20世紀の代表的作家 コレットの生涯と作品
6	年下の男性との恋愛を描いた『シェリ』を読む
7	『シェリ』を読む
8	20世紀後半、男女の自由な関係を追及したシモーヌ・ド・ボーヴォワールの生涯と作品
9	母親との確執を描いた『おだやかな死』を読む
10	『おだやかな死』を読む
11	18歳で世界的ベストセラーを書いたフランソワーズ・サガンの生涯と作品
12	父親の再婚をめぐる父娘関係を描いた『悲しみよ こんにちは』を読む
13	『悲しみよ こんにちは』を読み、DVDを見る
14	現代の若い娘の恋愛を描いた最近のベストセラー『アメリ』の紹介とDVD
15	まとめ

評価

各授業のポイントのまとめ(30点)、課題レポート(20点)、期末レポート(50点)で、60点以上を合格とします。合格点に満たなかった場合は、再試験を行います。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】教科書は使用せず、毎回プリントを配布し、パワーポイントを使います。

【推薦書】ジョルジュ・サンド『魔の沼』藤原書店

シドニー・ガブリエル・コレット『シェリ』岩波文庫、『わたしの修業時代』ちくま文庫 950.28/C

【参考図書】シモーヌ・ド・ボーヴォワール『娘時代』、『おだやかな死』紀伊国屋書店
フランソワーズ・サガン『悲しみよ こんにちは』新潮文庫
持田明子『ジョルジュ・サンド 1804-76』藤原書店

科目名	心理学		
担当教員名	伊澤 利文		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(公民)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

このところ、心理学に対する関心が急速に高まっていることは、みなさんも感じていらっしゃるのではないのでしょうか？この科目では、実際の心理学とはどのような学問であり、心理学の知識を身につけることにはどのような意味があるのかを実感してください。

この科目は、学問としての心理学の基礎を体系的に理解してもらうことを目指します。さらに、授業で採りあげるトピックスに関連した、日常生活に役立つさまざまなトリアも紹介してゆきます。受講には好奇心を抱いた積極的な態度で臨み、心理学的な視点を実感してください。

学修目標の概略は、次の4点になります。 生物としての人間理解。 行動する主体としての人間理解。 考える主体としての人間理解。 社会的存在としての人間理解。

内容

1	ガイダンス - 講義の進め方と心理学の基礎知識 -
2	心理学と脳の機能 - 心とは何か? -
3	知覚の特性 - ヒトは環境をどのようにとらえるのか? -
4	学習 - 新しい行動パタンの獲得 -
5	記憶 - 新しい思考パタンの獲得 -
6	意識 - 本当の自分とは? -
7	基本的動因 - 「欲しがる」ことの不思議 -
8	情動 - 感情の機能 -
9	ストレス - 現代社会を生きるには? -
10	発達 - ヒトの能力の不思議 -
11	パーソナリティ - 本当の自分とは? -
12	心理臨床 - 心の障害と心理査定について -
13	心理臨床 - 心の障害と心理療法について -
14	社会 - 本当の自分とは? -
15	まとめ

評価

欠席日数が4日以上になった場合、基本的に評価対象外となります。また、正当な理由がない場合の遅刻については、30分以上の遅刻2回で1回分の欠席扱いとします。最終的な成績評価は、レポートおよび発表(50%)、テスト(50%)から行います。合格点に満たない学生については、再試験を実施します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】使用しません。適宜プリントを配布します。

【推薦書】『心理学・こころのはたらきを知る』（梅本堯夫〔ほか〕著，サイエンス，1999） 140/U

『心理学への招待・こころの科学を知る』（梅本堯夫〔ほか〕著，サイエンス，1992） 140.8/S/1

『図解心理学』（石井巖〔ほか〕共編，学術図書出版社，1994） 140/Z

【参考図書】『現代基礎心理学1-12』（東京大学出版会，1986） 140.8/G/1-12

『心理学の基礎知識』（東洋〔ほか〕編，有斐閣，1978） R140/S

科目名	宇宙科学		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は社会情報学部においては数少ない自然科学系の科目である。客観的に自然をとらえる姿勢を育てたい。また、科学的な教養を深めて欲しい。

科目の概要

太陽系の各惑星について、特に地球と比較したときの環境について学ぶ。また、星座を形作る恒星の生死と宇宙の誕生・進化について学ぶ。

学修目標

1. 地球と比較して他の惑星はどのような環境にあるのかを理解する。
2. 星には生死があることがわかる。
3. 宇宙の誕生と歴史を理解する。

内容

1	宇宙を概観する
2	宇宙の始まり
3	火星、万有引力
4	金星と水星の環境
5	太陽の光るしくみ
6	月の環境と見え方
7	地球
8	木星・土星
9	天王星・海王星・冥王星
10	太陽系外縁天体、彗星
11	流星と流星群
12	恒星の世界、軽い星の死
13	重い星の死
14	星の誕生
15	まとめ

評価

授業中の提出物30%、試験70%により評価を行い、60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合、レポートを課す。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】使用しない

【参考図書】加藤万里子『新・100 億年を翔ける宇宙 : ビックバンから生命の誕生まで』恒星社厚生閣、脇屋奈々代・沼澤茂美『ハッブル宇宙望遠鏡がとらえた宇宙』誠文堂新光社、高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』地人書館

科目名	法律学基礎		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：

法学の入門的な位置付けとなります。

科目の概要：

社会に生きる人は、日常、意識するしないを問わず、国民として、家族の一員として、個人として、また消費者として様々な立場で法と関わっています。この「法」とは一体どのようなものなのでしょうか。また、法的なトラブルに遭遇しないためには法律を知る必要があるという一方、法的なトラブルに遭遇してしまったときにはどうすればよいかという問題も生じます。そのために、法をめぐり、どのような法律や制度が存在するのかについて学びます。また主要な法律を概観します。

科目の目的：

法学入門として基礎的な知識の理解を図るとともに、現代社会に特徴的な法的問題への理解を深めることを目的とします。

内容

1	法とは何か	
2	法曹	法律家の種類と仕事
3	法曹	法曹養成制度
4	法の種類	
5	法の種類	六法全書
6	法と裁判	裁判制度・民事訴訟・代替的紛争解決(ADR)
7	法と裁判	裁判員制度
8	国家と法：	憲法
9	日常生活と契約：	民法(契約法)
10	日常生活とアクシデント：	民法、消費者法
11	家族関係と法：	民法(家族法)
12	労働と法：	労働法
13	企業と法：	会社法
14	国際社会と法	
15	総括	

評価

レポート等提出物・授業態度(40%)・ペーパーテスト(60%)を総合して評価します。100点満点中60点以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書・テキスト】

『法の世界へ[第4版補訂]』 池田真朗・犬伏由子他著 (有斐閣アルマ)

『デイリー六法』（三省堂）

科目名	日本国憲法		
担当教員名	内野 伸之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報) / 中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

憲法は国家の法体系の基礎となる法規で、国の権力構造や国民の権利・義務を左右する法であるので、この国で暮らす全ての人にとってその内容を知ることは必要なことである。

この授業では日本国憲法の構造とそれを支える基本原理を明らかにし、その原理の具体化である各規定の意義を考える。その上で憲法が、われわれの日常生活の中で生起する諸問題にどのように作用しているのかを知るために、判例などを参照してその実像を吟味する。

学修目標としては、(1)基本原理を理解する、(2)基本原理と各条文との関係を理解する、(3)憲法に対する考え方は一つではなくいろいろな考え方があることを理解する、(4)判例の果たす役割を理解する。

内容

1	憲法の構造(前文、人権、統治機構)
2	人権と公共の福祉との関係
3	包括的人権(1)プライバシー権
4	同 上 (2)肖像権
5	同 上 (3)環境権
6	平等権(1)平等思想の展開
7	同 上(2)日本国憲法における平等原則
8	受益権
9	人身の自由
10	思想良心の自由と憲法上の位置づけ
11	信教の自由(1)信仰の自由
12	同 上 (2)政教分離
13	表現の自由
14	社会権とその種類
15	まとめ

評価

前半終了時の小レポート(20%)と最終の筆記試験(80%)で評価

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】使用せず

【推薦書】芦部信喜(高橋和之・補訂)『憲法(第4版)』 岩波書店

小嶋和司・大石 真『憲法概観(第6版)』 有斐閣

斉藤静敬『憲法要説』 成文堂

科目名	日本国憲法		
担当教員名	片居木 英人		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報) / 中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、人権保障の根本法となる日本国憲法の理念と精神、その内容の全体像を理解していくところにねらいがある。

講義では、国際女性年及び国連女性の10年が掲げた「平和・平等・発展」という理念から、またジェンダーに敏感な視点と定着の進化を目ざし、国内外で生起する人権問題や憲法政治状況を具体的に取り上げ、憲法全体への理解を深めていく。

学修目標は、憲法への問題意識をもって、主権者の一人として市民生活を営んでいくために必要な認識力・考察力・判断力を獲得していく点にある。

内容

授業計画

第1回：憲法を学ぶにあたって

第2回：憲法の成立過程

第3回：憲法に結実している思想、基本的人権の構造と展開

第4回：個人としての尊重、幸福追求権、自己決定権

第5回：人間らしく生きる権利、生存権、教育を受ける権利

第6回：健康権、環境権

第7回：政治と憲法（国民主権、象徴天皇制、選挙）

第8回：政治と憲法（国会、内閣、地方自治）

第9回：平和保障と憲法（憲法と日米安全保障条約）

第10回：平和保障と憲法（グローバリゼーションと国際貢献の在り方）

第11回：裁判と憲法（裁判を受ける権利）

第12回：裁判と憲法（違憲立法審査権）

第13回：憲法改正論の論点整理（現状と課題）

第14回：主権者教育としての憲法教育の意味

第15回：全体のまとめ

評価

中間課題レポート40点、筆記試験60点により評価を行う。合格点に満たない場合、再レポートを提出してもらう。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】伊藤真『伊藤真の日本一わかりやすい憲法入門』中経出版

【参考書】三省堂『新六法 2011年版』

科目名	日本国憲法		
担当教員名	片居木 英人		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報) / 中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、人権保障の根本法となる日本国憲法の理念と精神、その内容の全体像を理解していくところにねらいがある。

講義では、国際女性年及び国連女性の10年が掲げた「平和・平等・発展」という理念から、またジェンダーに敏感な視点と定着の進化を目ざし、国内外で生起する人権問題や憲法政治状況を具体的に取り上げ、憲法全体への理解を深めていく。

学修目標は、憲法への問題意識をもって、主権者の一人として市民生活を営んでいくために必要な認識力・考察力・判断力を獲得していく点にある。

内容

授業計画

- 第1回：憲法を学ぶにあたって
- 第2回：憲法の成立過程
- 第3回：憲法に結実している思想、基本的人権の構造と展開
- 第4回：個人としての尊重、幸福追求権、自己決定権
- 第5回：人間らしく生きる権利、生存権、教育を受ける権利
- 第6回：健康権、環境権
- 第7回：政治と憲法（国民主権、象徴天皇制、選挙）
- 第8回：政治と憲法（国会、内閣、地方自治）
- 第9回：平和保障と憲法（憲法と日米安全保障条約）
- 第10回：平和保障と憲法（グローバリゼーションと国際貢献の在り方）
- 第11回：裁判と憲法（裁判を受ける権利）
- 第12回：裁判と憲法（違憲立法審査権）
- 第13回：憲法改正論の論点整理（現状と課題）
- 第14回：主権者教育としての憲法教育の意味
- 第15回：全体のまとめ

評価

中間課題レポート40点、筆記試験60点により評価を行う。合格点に満たない場合、再レポートを提出してもらう。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】伊藤真『伊藤真の日本一わかりやすい憲法入門』中経出版

【参考書】三省堂『新六法 2011年版』

科目名	経営経済学基礎		
担当教員名	笠原 伸一郎		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

経営のグローバル化時代を迎え、日々の新聞には経済・経営に関する国際的な記事が多数載り、私たちの生活もユニクロ、スターバックス、マクドナルドなどの世界ブランド企業と密接につながり、ライフスタイルにまで影響を与えている。他方、こうした現象によって、従来の日本企業の年功序列、終身雇用といった日本的慣行は崩壊し、個々の従業員の能力が問われる時代となってきた。リストラ、派遣切りはまさにその象徴であろう。本講では、こうした現象がなぜ起きるのか?企業とは何なのか?といった問題を分析解明し、結局、「経営とは夢を実現すること」であることを、その発展プロセスに沿って事例を提示しながらわかりやすく詳説する。

内容

- 1.経営学とは何か。経営者とは何か。(ビデオ教材使用) 衣料、食品などの最新のマーケティング戦略を提示し、その中から身近な事例を挙げることで、経営の本質とその実態を概説する。さらに、本田宗一郎、盛田昭夫、ウォルトディズニーなどを例にとり、経営学は「夢」を実現する学問でもあることを経営者論、リーダーシップ論をとおして概説する。
- 2.経営理論の系譜-ウォーム・アプローチ- 人間はなぜさぼるのか。やる気を起こすにはどうしたらよいか。フォード生産システム成立以降の能率との葛藤を心理的側面から検討するとともに、経営管理論を概説する。
- 3.経営理論の系譜-ウォーム? クール・アプローチ-(ビデオ教材使用) 米国GE、SONYなどを事例に組織論、経営戦略論を考察し、さらに経営情報システムについて概説する。
- 4.日本的経営と経営のグローバル化(ビデオ教材使用) 「飲みニケーション」の経営学的意味を例に、日本的経営の問題点とグローバル化への課題を検証する。
- 5.21世紀のグローバル経営-航空産業の事例-

評価

平常点：受講態度、レポート等で総合的に評価する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】 笠原伸一郎著『グローバル企業の史的展開』、日経新聞、その他、授業中に指示する。

科目名	経営経済学基礎		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

社会情報学部の共通科目である。

科目の概要

人間は、自らが生きている環境、世界と無関係に生きることはできない。そこで、自分たちが生きている環境がどのようなものであるか、いかに生きていくべきかを知ることは重要なこととなる。この授業のねらいは、知識・情報を与えたり、教えるのではなく、学生自らが興味や関心を持ったり、自ら知りたいと思う課題を、自ら探求していく力を得ることである。このねらいを実現するために、大学の所在地である新座を通して地域社会を理解する。

学修目標

自分たちでテーマを決め、インタビュー、アンケートなどにより結果をプレゼンテーションする能力を身につけることを目標にする。

内容

1	ガイダンス
2	ゲスト講師による講義 1
3	ゲスト講師による講義 2
4	ゲスト講師による講義 3
5	ゲスト講師による講義 4
6	ゲスト講師による講義 5
7	ゲスト講師による講義 6
8	グループによるテーマ決め
9	グループによるテーマ内容の検討
10	中間発表
11	グループによる発表資料作成 1
12	グループによる発表資料作成 2
13	グループによる発表資料作成 3
14	最終プレゼンテーション 1
15	最終プレゼンテーション 2

評価

毎回の課題(20%)、最終プレゼンテーション(80%)

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示する。

科目名	経営経済学基礎		
担当教員名	狩野 浩二		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、学生の皆さんの自主的な学習態度を形成すること、自ら学び、自ら表現する学生を育てることを目指しています。様々な分野の学生たちがともに学ぶことにより、人間的な交流のすばらしさを実感してもらいたいと思っています。平成23(2011)年度入学生から開講される共通科目【十文字学】の中の、「新座から学ぶ」と同時に開講します。

新座市に住んでいらっしゃる皆さんをゲストとしてお招きし、お話を伺う前半と、受講生同士がグループを作って、プロジェクト研究をする後半とで構成します。後半は、グループでのプロジェクト研究の成果を発表する機会をつくります。

受講生同士が人間的な交流を深めること、新座について疑問に思ったことを課題として、グループごとに研究を深め、発表すること、学生としての研究的な態度を身につけることなどが目標です。

内容

平成23(2011)年度入学生用【共通教育】[十文字学]「新座から学ぶ」と同時に開講します。

大学が立地する埼玉県新座市を教材とし、プロジェクト研究を行います。

講義の前半部分では、新座市内でご活躍になっている方々に来ていただき、さまざまな角度からお話を伺います。

来ていただくゲストの方については、講義中にお話しします。

これまで来てくださった方は、次のような皆さんです。

新座市内で農業に従事されている女性。新座の畑作を中心に。

新座市教育委員会学芸員。主として新座の歴史、文化について話していただきました。

新座市商工会の事務局長。新座の商工業について。

新座市町内会長。新座の町づくり、市民独自の活動について。

新座子育てネットワーク代表。新座の子育て支援について。

新座の神楽。神楽の伝承について。

中盤からは、グループごとに新座についての疑問点、研究課題を決めて活動します。

4名程度のグループを無作為に作って、活動します。

後半では、グループごとのプロジェクト研究結果の発表会を行います。

グループ内のメンバーで協力し、新座市に対しての提言をまとめてもらいます。

学生の皆さんが、新鮮な目で新座市を眺め、課題を発見し、その解決方法を提案します。

発表会では、前半部分でゲストとしてきていただいた方にも参加していただく予定です。

みなさんは、新座を覗き窓にして、日本や世界、宇宙へとひろがる課題を発見し、研究することになります。

仲間とともに楽しい勉強空間を創り上げましょう。

評価

グループごとの取り組み(2割)や毎回提出してもらったミニレポート(2割)、最終発表の内容(6割)を総合して評価

します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用しません。

推薦書は適宜講義中に説明します。

科目名	社会学基礎		
担当教員名	斉川 富夫		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

- (1) 社会学の基礎的概念を使って社会の諸問題をどのように把握・説明できるのか、少しでも実感的に理解してもらう。
- (2) 現代社会の様々な様相とその中に生きる人びとが直面している諸問題、特に家族や地域社会のあり方と変化についての基礎的理解をめざす。

内容

1	社会的行為
2	欲求と価値
3	家族の分類と核家族の形成
4	現代家族の家族意識
5	産業化と家族の変貌
6	現代社会と家族機能の衰退
7	近代企業の形成と組織社会
8	専門職と職業倫理
9	都市化と地域の変貌
10	近代化と啓蒙思想
11	自由な欲望(私益)追求の社会—スペンサーの社会学
12	啓蒙主義の衰退と功利主義の広がり
13	スペンサー批判—新自由主義と共同体主義
14	社会主義と福祉国家
15	現代社会の課題—人間・自然の再生

評価

- ・ペーパーテストによって評価する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

- 第一に 森岡清美・望月嵩『新しい家族社会学』培風館をテキストとして挙げる。
- その他、随時参考文献を授業の中で紹介する。

科目名	西洋思想史		
担当教員名	島村 妙子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

本講義では、西洋思想史(主として政治・社会思想)の展開過程を検討することによって、現代の議会制民主主義の成立過程とその本質を明らかにし、地球市民社会時代の視野に立った課題を考えることを目標にしている。導入部に西洋思想の基幹ともいえるギリシア・ローマ・キリスト教世界の古代・中世世界にふれる。さらに、本講義の主題でもある民主主義すなわち「デモクラシー」の概念は、18世紀以降、19・20世紀までの、政治・社会史の展開過程に現れた顕著な思想の内容に焦点を絞る。最終講義では21世紀の地球市民社会に生きる現代の民主主義の特質・課題についてアジア・アフリカも取り込むことが出来たらと考えている。

内容

講義形式を軸にしながらも、学生の、課題研究の場と発表・対話など参加型学習形態も織り交ぜていきたい。

1	世界史時代の到来と西洋思想史の位置づけ
2	ギリシャ的思惟とキリスト教思想の特色
3	中世封建社会の特質
4	近代社会形成の思想的背景
5	国民(近代統一)国家の形成過程
6	国民国家の確立と個人の自由・権利の関係
7	各国の議会主義確立の事情を探る
8	国民代表と委任代表の政治・社会思想
9	選挙権拡大と政党政治
10	各国の政党政治展開実情
11	ヨーロッパにおける立憲主義体制の確立
12	二つの世界大戦と民主化の進展
13	戦後民主主義の形とアジア・アフリカ
14	現代ヨーロッパの問題点を新聞教材で考え<ディベート>の結果を発表報告
15	第14時の纏めとしてDVD教材を導入(例;映画「ホテル・ルワンダ」鑑賞。

評価

課題小レポート・・・3題～4題(平常の成績)予習か事後確認の為に

平常点考慮・・・毎講義の最後の5-6分使用して学びの確認質問紙を配布し出欠確認票とする。

最終講義纏めと確認・配布資料・年表・ノート・参考図書

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書 「もういちど読む 山川世界史」山川出版社

推薦書 川出良枝著 『西洋政治思想史』放送大学教育振興会 311.2/K

有賀 弘・他著 『政治思想史の基礎知識』有斐閣ブックス

科目名	日本政治史		
担当教員名	川口 英俊		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業では、日本史の流れをその時の政治体制とそれに大きな影響を与えたものを軸に論じたい。

中心は、明治以降の近代化におき、日本はどのようにして現在に至ったかを

明治政府の誕生とその動き、日清・日露戦争、第2次世界大戦まで、戦後政治などの中から探る。

その関連として、天皇、武家政権、宗教、憲法、諸外国との関係などを取り上げる。

過去の過ぎ去った事物をみるということではなく、日本史を学ぶことにより、現在の日本の理解に役立つ内容とすることを目標とする。

内容

1	ガイダンス-日本史とは-
2	幕末の開国、大政奉還、「龍馬伝」
3	明治維新と明治憲法体制 - 明治憲法の制定、帝国議会の開設
4	日清戦争・日露戦争、「坂の上の雲」
5	軍国主義
6	第2次世界大戦までの日本
7	前半まとめ
8	敗戦と戦後改革 - 日本国憲法制定、戦後体制
9	戦後政治 - 55年体制、高度経済成長、日米関係、戦後の政治課題
10	日本のおかれた地政学的条件 - 近隣諸国・欧米との関係 -
11	江戸時代 - 徳川政権、幕藩体制、鎖国、幕末の対外関係
12	宗教と政治
13	沖縄-琉球王国の歴史、アメリカ統治時代、日本復帰、在日米軍基地問題、普天間基地移転問題
14	日本の政治
15	後半まとめ

評価

小テスト2回(70%)、平常点(30%)により総合評価する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

推薦書

エドウィン・O・ライシャワー「ライシャワーの日本史」講談社学術文庫

石川真澄・山口二郎「戦後政治史 第三版」岩波新書

科目名	ジェンダー論		
担当教員名	阿部 史、橋本 ヒロ子、大友 由紀子、亀田 温子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部共通科目・ジェンダー論基礎科目の必修科目

科目の概要および 学修目標

変化する社会の中で意識や制度も大きく変わってきており、女性も男性も、社会的・文化的性差(ジェンダー)にとらわれない多様な生き方が現れはじめている。それを可能にする考え方、新たな制度の成立などを知ること、今後社会で活躍する自己イメージを明確にし、自信をもって積極的に社会参加できるよう、多様な生き方を考え、選択する力を強めることにつなげる。

現代女性のすぐれたモデルである本学園創立者「十文字こと」先生の生き方を理解したうえで、多領域に関わる事柄を「政治と人権」「女性と家族」「働くこと」「法律と仕組み」の4つの領域に分け、オムニバス方式で行う。

内容

1.オリエンテーション: 科目と担当の紹介並びにこと先生のアニメビデオの視聴

2.十文字ことの生き方に学ぶジェンダー視点(橋本ヒロ子)

3-5.「女性の政治参加と人権」(橋本ヒロ子)

世界と日本でどのように男女平等のために努力されてきたか、その中で特に日本女性が遅れている「政治への参画」について、ポジティブアクションの有効性などもふくめ考察する。さらに、デートDV、キャンパスセクハラなど女性に対する暴力が、男女の権力関係により起こること、政治とも関係していることを学ぶ。

6-8.「女性と家族」(大友由紀子)

未婚晩婚化や少子高齢化といった現代社会の変化は、まさに家族生活の変化である。女性にとってこのような家族生活の変化がどのような意味を持っているのか、社会統計や世論調査のデータをもとに、実証的に考えていく。家庭における男女のパートナーシップのあり方について、結婚、出産と子育て、老親扶養をテーマに考察する。

9-11「人の成長とキャリア」(亀田温子)

職業と関わりキャリアの歩みを持つことは現代女性にとって重要なテーマである。ここでは特に女性の職業進出に注目し、その変化と現状・未来をとらえる。いま女性がどのように仕事に関わっているか、年の変化で職種の拡大や社長なるなど地位の拡大など仕事の広がりがおきていること、長期化するなかで職業生活、家庭生活をどのように行うかその歩みであるキャリアをとらえる。それらをもとに、自分自身の今後のライフキャリアプランをつくることにつなげる。

12-14.「法律と仕組み」(阿部 史)

法律や制度とジェンダーとの関わりについて取り扱う。女性の法的地位が国際的にどのように変化したのか、それが国内に与えた影響について。また、女性のプライベートな生活と法、女性が働くことと法律がどのように関わっているのか、その仕組み、限界、そして展望を考察する。

15 まとめと講評(阿部 史)

評価

4つのテーマによる担当教員がレポートあるいはテストによる各教員の評価(20点×4)を行う。さらに全体の受講態

度による平常点（20点）を加えて100点とし、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

各領域ごとに担当教員が資料を配布、紹介する。

科目名	ジェンダー論		
担当教員名	大友 由紀子、亀田 温子、片居木 英人、宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

1 科目の性格 社会情報学科・コミュニケーション学科 共通科目のジェンダー論基礎科目

2 科目の概要・目標

変化する社会の中で意識や制度も大きく変わっている。女性も男性も、社会的・文化的性差(ジェンダー)にとらわれない多様な生き方が現れはじめている。そうした社会の動きをとらえると同時に、それを可能にする考え方、新たな制度の成り立ちを知ることで、今後社会で活躍する自己イメージを明確にし、自信をもって積極的に社会参加できるよう、多様な生きかたを考え、選択する力を強めることにつなげる。

現代女性のすぐれたモデルである本学創立者「十文字こと」先生の生き方を理解したうえで、多領域に関わる事柄を「人の成長とジェンダー」「女性とセクシュアリティ」「女性の働き方の変化」「女性と家族」の4つにわけ、オムニバス方式の学習とする。

内容

1回 オリエンテーション

科目担当教員の紹介。十文字こと先生の生き方を描いたアニメビデオの視聴。

2回 十文字こと先生の生き方に学ぶ

現代社会においても社会で活躍する女性のモデルであること先生に生き方をとらえる。

3 - 5回 「人の成長とジェンダー」(担当:亀田)

女性も男性もその生き方は多様になっているが、人の成長プロセスの中でつくられる「女/男らしさ」の場面をとらえ、「当たり前」と思っていることがどのようにつくられたジェンダーと関わるか再考していみる。また、女性への職業・経済活動への参加期待、男性への家事・育児参加期待など、生き方の多様化により、これまでのジェンダーが変化している現状をとらえる。

6 - 8回 「女性とセクシュリッテイ」(担当:片居木)

基本的人権としての性的人格権(セクシュアル・ライツ)に焦点をあわせます。性暴力、多様な性感染症、生殖補助医療など難しい人権問題がありますが、授業は問題の可視化と性的自己決定のエンパワーメントを目指して展開します。

9 - 11回 「女性の働き方の変化」

女性たちはいつの時代も働きつづけてきたが、社会的分業としての職業を得て、自らの経済的自立のために働きだした歴史は、そう長くはない。現代日本における雇用労働の現状を踏まえ、男女共同参画と生活者の福祉を実現するワークライフバランスを検討し、将来の仕事のビジョンを描く力を得る。

12 - 14回 「女性と家族」

未婚晩婚化や少子高齢化といった現代社会の変化は、まさに家族の変化です。女性にとってこのような家族生活の変化がどのような意味をもっているか、社会統計や世論調査のデータをもとに実証的に考えていきます。家庭における男女のパートナーシップの在り方について、結婚、出産と子育て、老親扶養をテーマに考察します。

15回 まとめと講評

評価

4つの領域の担当教員がレポートまたはテストによる評価(20点×4)を行う。それに受講態度による平常点(20点)を加えて合計を100点とし、60点以上を合格点とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テーマごとに、各教員が資料を配布、紹介する。

科目名	ジェンダー論		
担当教員名	片居木 英人、宮城 道子、阿部 史、橋本 ヒロ子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

変化する社会の中で意識や制度も大きく変わってきており、女性も男性も、社会的・文化的性差(ジェンダー)にとられない多様な生き方が現れ始めている。それを可能とする考え方、新たな制度の成立などを知ること、今後社会で活躍する自己イメージを明確にし、自信を持って積極的に社会参加できるよう、自己決定力を強めることをめざす。

現代女性のすぐれたモデルである本学園創設者の「十文字こと」先生の生き方を理解した上で、「女性の働き方の変化」「法律と仕組み」「女性の政治参加と人権」「女性とセクシュアリティ」の4つのテーマについて、オムニバスで学ぶ。なお、本科目は社会情報学部の共通科目ジェンダー論基礎科目の必修科目である。

内容

- 1.オリエンテーション：科目の説明と4テーマの担当者の紹介。創設者「こと先生」のビデオ視聴
- 2.十文字こと先生の生き方に学ぶジェンダー視点(宮城)
- 3.-5.「女性の働き方の変化」(宮城)：女性たちはいつの時代も働き続けてきたが、社会的分業としての職業を得て、自らの経済的自立のために働きだした歴史は、それほど長くはない。現代の日本における雇用労働の状況を踏まえ、男女共同参画と生活者の福祉を実現するワークライフバランスを検討し、将来の仕事ビジョンを描く力を得る。
- 6.-8.「法律と仕組み」(阿部)：法律や制度とジェンダーの関わりについて取り扱う。女性の法的地位が国際的にどのように変化したのか、それが国内に与えた影響について。また、女性のプライベートな生活と法、女性が働くことと法律がどのように関わっているのか、その仕組み、限界、そして展望を考察する。
- 9.-11.「女性の政治参加と人権」(橋本)：世界と日本でどのように男女平等のために努力されてきたか、その中で特に日本女性が遅れている「政治への参画」について、ポジティブアクションの有効性などを含め、考察する。さらにデートDV、キャンパスセクハラなど女性に対する暴力が、男女の権力関係により起こること、政治とも関係していることを学ぶ。
- 12.-14.「女性とセクシュアリティ」(片居木)：基本的人権としての性的人格権(セクシュアル・ライツ)に焦点をあてる。性暴力、多様な性、性感染症、生殖補助医療など、現代社会には「女性と性」にかかわる人権問題が横たわっている。切り離せない生と性、すなわちセクシュアリティ問題は、大変価値判断の難しい内容を伴っているが、問題の可視化と性的自己決定のエンパワーメントをめざして授業を展開する。
- 15.まとめと講評(片居木)

評価

4つのテーマの担当教員がレポートあるいはテストによる評価(20点×4)を行う。さらに全体の受講態度による平常点(20点)を加えて100点とし、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各領域ごとに担当教員が資料を配布、紹介する。

科目名	メディアとジェンダー（ジェンダー論 - 1）		
担当教員名	松本 侑壬子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2,4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

私たちを取り巻く情報の波 活字による情報の中心である新聞・雑誌、速くて見やすいテレビニュース、楽しく覚えやすいCMや広告、そして無意識のうちに生活必需品となってきたインターネットや携帯電話など。こうしたさまざまな情報媒体を「女性」という切り口で考えてみましょう。

メディアを通して見えてくる女性の姿は、生きた女性の現実を正しく伝えているでしょうか。子供や弱者の声は十分に反映されているでしょうか。情報の中身を理解し判断するには、情報の流れや仕組みをきちんと自分のものにしなければなりません。図書館などで資料を探し、情報を整理、分析、提供するときにもジェンダーの視点は重要です。

マスメディアで働く女性はまだ極めて少数派ですが、それだけに今後女性が情報発信の分野に進出・活躍する可能性はより大きいといえます。女性が男性の活躍にとって代わるというのではなく、女性と男性の複眼で社会を見つめ、情報を伝えることで、社会を見る視野がより広がり現実社会への理解がより深まります。これは情報の発信側のみならず、受け手にとっても重要なことです。

30年のキャリアを持つ元ジャーナリストとしての経験から、いま若い皆さんに伝えたいことは少なくありません。メディアを通してジェンダーの問題を一緒に考えていきましょう。

内容

- 1.はじめに マスメディアの仕組みとメディアウオッチング。
- 2.メディアの中の女性像ー“見られる女・見る男“の長い歴史 名画から映画、漫画、CM...まで。
- 3.女性雑誌 おじさんだっかわいーい 女性雑誌に見る“女の子文化”の社会化。
戦争と女性雑誌 “女らしさ”の再生産
4. 広告の中の女たち 広告はマスメディアを支え、女性は広告を支える。
5. テレビの裏表 制作現場からの報告。
6. 新聞を読んでいますか？ 女性と新聞の距離。
テレビと新聞 メディアとしての比較。情報量を比べてみよう。
ニュースは作られる 女性の視点で読むということ
差別用語の変遷。
- 7.メディアで働く女性たち
データでみる日本の「メディアと女性」
メディアの現場の女性に聞く（ゲスト）ー仕事の喜びは何ですか？
8. メディア・リテラシーを身に着けよう。
9. あなたのジェンダー意識度は？
10. まとめー情報の洪水に溺れないために

評価

授業への意欲・関心・態度40点およびペーパーテスト60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキストは特になし。必要に応じてその都度資料配布する。

【推薦書】後藤将之著『マス・メディア論』（有斐閣コンパクト）361.54/G

佐野山寛太著『現代広告の読み方』（文藝春秋）674/S

村松泰子他編『メディアがつくるジェンダー』（新曜社）367.2/M

若桑みどり著「戦争がつくる女性像」（筑摩書房）

日本写真家協会編「おんな・立ち止まらない女性たち1945 - 2010」（朝日新聞出版局）

ジョルジュ・デュビィ編「女のイメージ・画像が語る女の歴史」（藤原書店）

科目名	女性情報論（ジェンダー論 - 2）		
担当教員名	青木 玲子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は社会情報学部ジェンダー論基礎科目ジェンダー論 - 2で必修選択科目である

科目の概要

氾濫する情報の中から、信頼できる情報を得るために情報リテラシーを学ぶ。さらに世の中の情報がいかに女性を固定的な視点で描き、発信しているか、ジェンダー視点で分析して要因を探る。統計資料などの読み解き方を学び現代社会の女性・男性の現状を明らかにする。女性の生き方の選択においてどのように情報を活用していくか、共に考える。

学修目標

信頼できる情報の検索・収集の方法についてについて学び、身近な図書館を活用する

新聞・雑誌・インターネットなど多様なツールで日常的に社会の現状を把握する

女性のライフステージ(就職・研究・結婚・子育て・家族・生涯学習)における支援情報を知る

毎時間、新聞記事・雑誌記事のワークシートをまとめる

内容

1	1.女性情報とは何か 女性情報ツールの紹介 科目のオリエンテーション
2	2.女性情報検索の基礎(図書館/男女共同参画センタの利用・インターネット/データベース検索)
3	2- 女性学関連 図書・参考図書の検索・利用
4	2- 新聞記事・女性雑誌・ミニコミ誌の検索と利用
5	3 男女共同参画社会とは
6	3- ジェンダー分析の実習 (女性を対象/男女共同参画関連新聞記事・雑誌記事の分析)
7	3- ジェンダー分析の実習 (インターネットサイト・映画・写真に見る女性)
8	4 統計で見る日本の女性の現状 (各種統計データベースの紹介・ジェンダー統計とは)
9	5 女性のライフステージにおける女性情報の活用
10	5- 就職活動・研究活動をエンパワーする情報
11	5- 結婚・子育て・介護・再学習を支援する情報
12	6 女性のキャリア形成
13	6- 女性の伝記・自伝を読む 歴史を切り開いた女性の資料を調べる
14	6- 女性の伝記・自伝を読む 新しい分野に挑戦する女性の資料を調べる
15	レポートの発表 まとめ

評価

3. 評価

レポート(50%) ワークシートレポート(40%) 授業への貢献(10%) 60点以上を合格とする

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】または【テキスト】使用しない，プリント配布

【推薦書】『情報との出会い』縫田曄子 ドメス出版 1999

【参考図書】

『男女共同参画データブック 日本の女性と男性』独立行政法人国立女性教育会館 ぎょうせい 2009

『メディアリテラシーとジェンダー』諸橋泰樹 現代書館 2009

『インターネットで文献検索 2010年度版』伊藤民雄 日本図書館協会 2010

『「私」を生きる女たち 伝記で読むその生涯』楠瀬佳子 三木草子 世界思想社 2004

科目名	キャリア開発論（ジェンダー論 - 3）		
担当教員名	亀田 温子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

1 全学共通科目 社会情報学科・コミュニケーション学科共通科目 ジェンダー論基礎科目

2 現代社会では、女性にとって職業をどのように考えるかは重要なテーマです。社会人につながる大学教育において、特に女子大学ではこのテーマを学習の中心とすることが最近では多くなっています。多様な、また長期的な職業生活が予想される未来を想定し、職業にかかわる知識をもち、職業支援や子育て支援の様々な制度を知ることから、未来へはばたくイメージ形成を行い、自らのプランをつくる力を養うことにつなげる。

現代の動きをとらえるためにビデオなどを活用。グルーワークなども実施する予定。

内容

1回 わたしの10年後は・キャリア・ライフのイメージ

2 - 3回 「ウーマン・オブ・ザ・イヤー」に見る活躍する女性たち
・ライフサイクル論

3 - 5回 広がる女性の職業進出
・長期化と多様な働き方
・職種の拡大、地位の拡大

6回 チャレンジする女性たち

7 - 9回 仕事に関わる社会制度・子育て支援
・均等法、子育て支援制度

10 - 12回 企業の変化
・ファミリーフレンドリー企業とは

13回 家庭生活と職業
イクメンプロジェクト、ワーク・ライフバランス

14 - 15回 女性たちのキャリア形成

評価

レポート60点、授業への参加度30点、報告10点 により合計100点とする。
60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

「日経ウーマン」他、授業時に紹介する。

科目名	女性と起業（ジェンダー論 - 5）		
担当教員名	宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

女性の地位向上、男女共同参画の推進という国際的課題への取り組みによって、わが国の女性たちの働き方はおおきく変化した。なかでも、女性たちが自ら事業を起こすという活動は、様々な意味でオルタナティブな提案を含み、注目を集めてきた。先進国における女性の起業動向や発展途上国における所得創出事業も視野におきながら、現代社会における女性の働き方を検討する。

事例検討にあたっては、履修者が分担して発表・報告を行なうようにする。能動的・主体的な履修者を歓迎する。

内容

1	女性の労働・職業観の歴史的変化
2	女性の働き方に関する国際比較
3	女性の起業が社会的関心となった社会的状況
4	わが国における女性起業の動向
5	事例検討1：生活ニーズからの起業
6	事例検討2：生活技術とビジネスチャンス
7	事例検討3：家族自営における経営参画
8	事例検討4：地域振興・地域間交流への貢献
9	事例検討5：ボランティアから持続的事业へ
10	事例検討6：福祉的事业の展開 - ミッションとプロフィット
11	女性起業の現状と課題
12	女性起業を支援する施策・制度
13	女性起業のネットワークおよび高齢者・学生・障害者による起業
14	事業が実現するもの - オルタナティブなマネジメント
15	レポートの発表と講評

評価

授業に関する意欲・関心および事例発表への参加態度（20点）、期末レポート（80点）とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

推薦書：金森トシエ・天野正子・藤原房子・久場嬉子『女性ニューワーク論』有斐閣、1989 366.35/J

地域社会計画センター編『農村の女性起業家たち』家の光協会、1994 611.7/C

岩崎由美子・宮城道子編著『成功する農村女性起業』家の光協会、2001 611.7/S

町田洋次『社会起業家 - 「よい社会」をつくる人たち』PHP新書、2000 335.8/M

科目名	フランス女性史（ジェンダー論 - 6）		
担当教員名	中嶋 公子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目では、私たちが生きている現代社会はどんな社会なのか、また、どんな社会であったらよいのかを考えるときに必要なものの見方、男女の関係（ジェンダー関係）についての基礎知識を学びます。この知識はさまざまな教科に通じる社会を理解する土台として役立ちます。

講義では、1970年代に始まったフランス女性史を通して、それまでのフランスの社会・歴史が、いかに固定的な視点、男性の視点からつくられ、語られてきたかを学びます。そして、時代の制約の中でも、新しい生き方を創り出した女性たちの生き生きした姿も学びます。彼女たちは、時代の女性像とどうたたかい、どんな悩みを持ち、どう生きたのか、その時代の何を変えたのか、近現代を中心に、そうした女性たちを通して、フランスの女性史を学びます。また、日仏の女性たちがいまどんな問題をかかえているのか、同じ点、違う点を比較しながら、現代の女性たちの生き方や男女関係のあり方について考えます。現代のフランスでは、男女の生き方やカップルのあり方の選択肢が多様化しているのも学ぶところです。毎回パワーポイントにより、多くの映像を通して勉強します。

学修の目標は、次の3点です。 フランス女性史を通じて、ジェンダーとはなにか、ジェンダー関係はどうあったらよいのかを理解する。 フランスという異文化を理解し、日本という自文化を理解する。 自分の考え方・判断力の基礎をつくる。

内容

1	フランス女性史はどのように始まったのか
2	中世・近世－聖母マリアとキリスト教の時代
3	絶対王政期（16～18世紀）- 宮廷文化と女性たち
4	フランス革命と女性たち（1）
5	フランス革命と女性たち（2）－人権宣言と女権宣言
6	マリー・アントワネットのDVD（ソフィア・ Coppola監督）
7	18～19世紀の女性の地位 ルソーによる男女特性論 ナポレオン民法典
8	19世紀の女性たちの人生 母性礼賛と母親役割 社会階層によって異なる生き方
9	第3共和政下（1870-1940）の女性の地位 フェミニズムのはじまり 戦争と女性たち
10	第3共和政下（1870-1940）の女性の地位 「主婦」の誕生
11	20世紀の女性の地位 シモーヌ・ド・ボーヴォワールの『第二の性』 『第二の性』VHS
12	1970年代の女性解放運動と大きく変わる女性の生き方
13	20世紀後半の女性の地位－平等に向けて変わるカップル関係
14	21世紀に向けて－女性像を自分で選ぶ時代
15	まとめ

評価

出席カードに授業のポイントのまとめ（20点）、課題レポート（30点）、期末レポート（50点）

で、60点以上を合格とします。合格点に満たなかった場合は、再試験を行います。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】イヴォンヌ・クニビレール/カトリーヌ・フーケ『母親の社会史』筑摩書房 367.235/K

シモーヌ・ド・ボーヴォワール『決定版 第二の性』全3冊 新潮文庫 367.2/B/1-3

ミシェル・ペロー『フランス現代史のなかの女たち』日本エディタースクール出版部 367.235/P

【参考図書】G・デュビィ、M・ペロー監修『女の歴史』全5巻10分冊 藤原書店

オリヴィエ・ブラン『女の人権宣言 - フランス革命とオランブ・ド・ゲージュの生涯』岩波書店

棚沢直子・草野いづみ『フランスには、なぜ恋愛スキャンダルがないのか?』はまの出版

科目名	日本文学の中の女性（ジェンダー論 - 8）		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

明治時代に生まれた「女学（じょがく）」と、その教育の行く末を、ひとりの女性の生涯を通してながめながら、女性と文学、女性と政治、女性と経済など、日本近代史の各分野と女性との関わりを考察することを目的としています。

内容

1	プロローグ
2	仙台の明治維新
3	東京の叔母さん
4	上京まで
5	宗教より文学へ
6	新文学運動および浪漫主義
7	『浮雲』の世界
8	文化と資本
9	フェリス退学まで
10	明治女学校
11	にぎやかな生活
12	結婚生活のはじまり
13	開店まで
14	中村屋の商法
15	新宿中村屋

評価

毎回の授業時に提出するリアクション・ペーパー（50%）、学期末レポート（50%）。合計60%以上を合格とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】相馬黒光『黙移 相馬黒光自伝』（平凡社ライブラリー）、宇佐美承『新宿中村屋相馬黒光』（集英社）、臼井吉見『安曇野』（筑摩書房）

科目名	日本文学の中の女性（ジェンダー論 - 8）		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

詩人のゲーテは、「バラを見たら詩を書け、リンゴをい見たらかじりつけ」（「ファウスト」）と語った。彼にとって女性は<バラやリンゴ>のように、その美しさをめでるものでもあり、また芸術や命の源泉だった。日本の江戸時代の女訓書『女大学』には、女性は<和順・貞信>であれと、説いている。21世紀の現代女性たちは、それぞれの個性に従いつつ、どう未来予想図を設計していったらよいのだろうか。世界と日本の様々な芸術的な創造をした女性たちをふりかえり、彼女たちが時代といかに格闘しあるいは調和し、個性を輝かせていったかを学んでゆきたい。

古今東西の文学者のみならず、さまざまなジャンルにわたる女性の芸術家を対象とする。それぞれの女性たちが生きた時代の社会通念や、時代精神、歴史的背景などもあわせて考えてゆきたい。

最終的には、さまざまな過去の女性たちの生き方の中から、自分の理想とする女性観を見出していきたい。あわせて、他の女性あり方や世代間の理解を深め、芸術作品を楽しみながら学んでゆきたい。

内容

1	<序 未来予想図のなかの理想の女性観> 浮世絵の中の女性たち
2	日本の江戸時代の女性観（『女大学宝箱』と中国の女訓書）
3	西洋と現代日本の女性観（若桑みどり『お姫様とジェンダー』他）
4	【芸術に生きる】西洋の女性のデザイナー（ココシャネルの生き方）
5	現代日本の芸術家（ピアニストのフジ子ヘミング）
6	【文学に生きる】西洋の小説家（モンゴメリー『赤毛のアン』）
7	カナダの大自然と女流作家の人生
8	日本の江戸時代の女流俳人（芭蕉の弟子の園女）
9	松尾芭蕉の女性観
10	日本の江戸時代の儒学者の妻（頼山陽の母）
11	紙芝居「頼山陽の母」
12	【絵画に生きる】日本の近代の女流画家（上村松園）
13	西洋の挿絵画家・童話作家（ターシャ・チューダー）
14	自然とともに生きる
15	まとめ

評価

評価は平常点（20点）とレポート（80点）を合計し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】特に、教科書は使用しない。毎回、授業の時にプリントを配布する。

【参考文献】石川松太郎編『女大学集』（東洋文庫302、平凡社、1987）

総合女性史研究会『日本女性の歴史』（角川選書237、1993）

若桑みどり『象徴としての女性像』（筑摩書房）

科目名	スポーツと健康		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

保健体育の講義科目である。こころとからだを通じて、「健康」とは何かについて、実感を持って、感じ、考える授業である。

科目の概要

生涯を健康でこころ豊かに過ごせるように、「健康」「スポーツ」「身体活動」「こころ」「からだ」「感覚」などをキーワードに、生活科学として総合的に理解を深める。そのためにまず「自分を知る」ことを目的とし、こころの健康、からだの健康について実感を持って考える。

学修目標

1. 「自分を知る」ことで、自分への気づきを深める。
2. 「自ら考える」ことの必要性を理解し、自分なりの魅力的な女性とは何か、自分らしさを探るヒントとする。
3. 「情報を得る」ことの重要性を知り、教養への興味を深める。
4. 「実践に移す」ことで、自分の変化が顕われることを知る。
5. 「他人の考え」を知ることで、世の中には様々な考え方があり、その中での自分の軸を探る。

内容

身近におこる様々な健康に関する問題を取り上げ、生涯を“生き生きと輝く心とからだ”で生き抜くためにはどうしたらよいか、ともに考え、論じ合う。特に、女性の生き方が、いかに将来の家庭生k多雨に大きく影響するか、その役割と健康な家庭生活の重要性を理解する。またそのために、「自分を知る」ことを授業の根底に流れる目標として、女性である自分に対する理解をより深め、行動し実践して行くことをめざす。（注：遅刻は厳禁。15分以上遅れた場合は欠席とする。）

1	オリエンテーション（健康とは）
2	こころの健康（私たちが健康を感じて行くために）
3	からだの各部位とデータ
4	測定値の検証
5	エネルギー所要量と運動の仕組み
6	運動と栄養（自分の食生活を振り返って）
7	女性のからだとスポーツ（女性のからだのしくみと男女差）
8	リプロダクティブヘルス1（月経、妊娠、人工妊娠中絶）
9	リプロダクティブヘルス2（避妊とSTD-HIV/AIDS他）
10	リプロダクティブヘルス3（不妊治療、出生前診断、更年期障害）
11	内側と外側
12	これまでとこれから（人生設計）
13	依存症（喫煙、アルコール、携帯、その他）
14	危機管理（その予防と対処法）
15	まとめ

評価

毎回授業終了時にその日のまとめを必ず提出する。

平常点50%、学習態度および毎回のまとめ提出10%、課題提出（3回）15%、最終レポート提出25%とし、総合的に評価する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

基本的にはプリントを配布し、参考資料は授業内で適宜指示する。

科目名	スポーツと健康		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

保健体育の講義科目である。こころとからだを通じて、「健康」とは何かについて、実感を持って、感じ、考える授業である。

科目の概要

生涯を健康でこころ豊かに過ごせるように、「健康」「スポーツ」「身体活動」「こころ」「からだ」「感覚」などをキーワードに、生活科学として総合的に理解を深める。そのためにまず「自分を知る」ことを目的とし、こころの健康、からだの健康について実感を持って考える。

学修目標

1. 「自分を知る」ことで、自分への気づきを深める。
2. 「自ら考える」ことの必要性を理解し、自分なりの魅力的な女性とは何か、自分らしさを探るヒントとする。
3. 「情報を得る」ことの重要性を知り、教養への興味を深める。
4. 「実践に移す」ことで、自分の変化が顕われることを知る。
5. 「他人の考え」を知ることで、世の中には様々な考え方があり、その中での自分の軸を探る。

内容

身近におこる様々な健康に関する問題を取り上げ、生涯を“生き生きと輝く心とからだ”で生き抜くためにはどうしたらよいか、ともに考え、論じ合う。特に、女性の生き方が、いかに将来の家庭生k多雨に大きく影響するか、その役割と健康な家庭生活の重要性を理解する。またそのために、「自分を知る」ことを授業の根底に流れる目標として、女性である自分に対する理解をより深め、行動し実践して行くことをめざす。（注：遅刻は厳禁。15分以上遅れた場合は欠席とする。）

1	オリエンテーション（健康とは）
2	こころの健康（私たちが健康を感じて行くために）
3	からだの各部位とデータ
4	測定値の検証
5	エネルギー所要量と運動の仕組み
6	運動と栄養（自分の食生活を振り返って）
7	女性のからだとスポーツ（女性のからだのしくみと男女差）
8	リプロダクティブヘルス1（月経、妊娠、人工妊娠中絶）
9	リプロダクティブヘルス2（避妊とSTD-HIV/AIDS他）
10	リプロダクティブヘルス3（不妊治療、出生前診断、更年期障害）
11	内側と外側
12	これまでとこれから（人生設計）
13	依存症（喫煙、アルコール、携帯、その他）
14	危機管理（その予防と対処法）
15	まとめ

評価

毎回授業終了時にその日のまとめを必ず提出する。

平常点50%、学習態度および毎回のまとめ提出10%、課題提出（3回）15%、最終レポート提出25%とし、総合的に評価する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

基本的にはプリントを配布し、参考資料は授業内で適宜指示する。

科目名	スポーツ演習		
担当教員名	佐藤 典子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報) / 中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

物質的な豊かさと便利さをもたらした文明社会は人々の心やからだに様々な弊害をもたらしている。

現代社会が生むストレスや運動不足からくる生活習慣病の増大等は、身体活動を実践することで解消することを理解する。「スポーツ」は楽しみながら行うことであり、「真の楽しさ」を体験するにはどうしたらよいかを考え、工夫し自ら進んで実践する意欲をもたなければならない。その結果、健康や体力の増進、技術上達等を各人が体験し、生涯スポーツへの橋渡しとなる授業をねらいとする。

学修目標

グループ活動の実施 リーダーシップの育成 幅広い交友関係
 人間性・感受性を豊かにする 学生生活の活性化および活力増進
 生涯スポーツの動機づけ

内容

スポーツを通してたくさんの仲間をつくることを目標にし、各種スポ - ツを実施する。

スポーツの面白さや楽しさを体験するために「気付く」「考える」「工夫する」「話し合う」等を積極的に取り入れ、授業を進める。

またストレッチ、ボディメイクエクササイズも行い、爽快感、ストレス解消、気分転換、等をこころとからだ全体で実感できるようにする。

第1回 ガイダンス(授業のねらい・内容説明 等) *更衣の必要はありません

第2回 コミュニケ - ションワ - ク・からだほぐし運動

第3回 ウォ - キングエクササイズ

第4回 ~ 第14回

各種スポ - ツの実施

(ストレッチ・ボディメイクエクササイズ・ニュ - スポ - ツ・バレ - ボ - ル・バスケットボ - ル・卓球・テニス・

バドミントン・ドッチボ - ル・サッカー・キックベ - スポ - ル等)

第15回 まとめ

授業内容は当日の天候、施設の状況、受講者数により決定する。

着用する服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

評価

授業態度50点、授業の記録力 - ド30点、積極的に授業に参加し楽しもうとしている姿勢を20点とし、重要視する。

また、技能のレベルでは評価はしない。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は必要としない。

科目名	スポーツ演習		
担当教員名	佐藤 典子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

物質的な豊かさと便利さをもたらした文明社会は人々の心やからだに様々な弊害をもたらしている。

現代社会が生むストレスや運動不足からくる生活習慣病の増大等は、身体活動を実践することで解消することを理解する。

「スポーツ」は楽しみながら行うことであり、「真の楽しさ」を体験するにはどうしたらよいかを考え、工夫し自ら進んで実践する意欲をもたなければならない。その結果、健康や体力の増進、技術上達等を各人が体験し、生涯スポーツへの橋渡しとなる授業をねらいとする。

学修目標

グループ活動の実施 リーダーシップの育成 幅広い交友関係
 人間性・感受性を豊かにする 学生生活の活性化および活力増進
 生涯スポーツの動機づけ

内容

スポーツを通してたくさんの仲間をつくることを目標にし、各種スポ - ツを実施する。

スポーツの面白さや楽しさを体験するために「気付く」「考える」「工夫する」「話し合う」等を積極的に取り入れ、授業を進める。

またストレッチ、ボディメイクエクササイズも行い、爽快感、ストレス解消、気分転換、等をこころとからだ全体で実感できるようにする。

第1回 ガイダンス（授業のねらい・内容説明 等） *更衣の必要はありません

第2回 コミュニケ - ションワ - ク・からだほぐし運動

第3回 ウォ - キングエクササイズ

第4回～第14回

各種スポ - ツの実施

（ストレッチ・ボディメイクエクササイズ・ニュ - スポ - ツ・バレ - ボ - ル・バスケットボ - ル・卓球・テニス・

バドミントン・ドッチボ - ル・サッカー・キックベ - スポ - ル等）

第15回 まとめ

授業内容は当日の天候、施設の状況、受講者数により決定する。

着用する服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

評価

授業態度50点、授業の記録カ - ド30点、積極的に授業に参加し楽しもうとしている姿勢を20点とし、重要視する。

また、技能のレベルでは評価はしない。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は必要としない。

科目名	スポーツ演習		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

体育の実技科目である。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

ウォーミングアップにリズムエクササイズを行う他、グラウンドや屋内、フィールドアスレチックなど、学内の様々な施設を利用することにより、季節を体感しながら、運動を楽しむ。

学修目標

1. 「身体を動かすことの楽しさ」を体感するとともに、自らと他者の身体についての気づきを深める。
2. コミュニケーション能力を養い、仲間とともに時間と空間を共有する喜びを感じる心を育てる。
3. スポーツが得意な人は不得意な人のフォローができるように、不得意な人は、苦手意識を克服できるように（無理のない程度に）努力する。
4. 和やかにかつ前向きに取り組む姿勢を育て、学生生活の活性化および体力増進をはかれるようにする。
5. 卒業しても何らかの身体活動に興味を持てるよう、生涯スポーツへの動機付けとなるようにする。

内容

スポーツを通じた仲間作りを目標に、フライングディスクをはじめとした様々なレクリエーションスポーツやリズムエクササイズ、球技等を実施する。スポーツの面白さや楽しさを体験するために「気づく」「考える」「工夫する」「話し合う」等を積極的に取り入れ、授業を進めて行く。また、ストレッチ、リズムエクササイズ、マッサージ等は、ウォームアップやクーリングダウンとして毎時取り入れ、爽快感、ストレス解消、気分転換等、スポーツの価値をこころとからだ全体で実感するようにする。

第1週 オリエンテーション（授業のねらい、内容説明、運動調査等）

（w-up リズムエクササイズ、c-dnストレッチは毎回）

第2週？ 実技（コミュニケーションゲーム）

第4週？ 実技（フライングディスク、ボールゲーム等各種競技など）

第11週？ 実技（リズムエクササイズ、ダンス等）

第15週 まとめ

受講者数などにより、内容が変更される場合もある。

運動の際の服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

15分以上遅れた場合は欠席とする。

評価

平常点（授業に対する意欲、関心、態度を含む）60%、毎回のまとめ記入30%、実技テスト10%とし、総合的に評価する。忘れものは減点とする。

見学者は授業内容等（指定用紙）を記入し、毎時提出する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業内で適宜指示する。

科目名	スポーツ演習		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

体育の実技科目である。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

ウォーミングアップにリズムエクササイズを行う他、グラウンドや屋内、フィールドアスレチックなど、学内の様々な施設を利用することにより、季節を体感しながら、運動を楽しむ。

学修目標

1. 「身体を動かすことの楽しさ」を体感するとともに、自らと他者の身体についての気づきを深める。
2. コミュニケーション能力を養い、仲間とともに時間と空間を共有する喜びを感じる心を育てる。
3. スポーツが得意な人は不得意な人のフォローができるように、不得意な人は、苦手意識を克服できるように（無理のない程度に）努力する。
4. 和やかにかつ前向きに取り組む姿勢を育て、学生生活の活性化および体力増進をはかれるようにする。
5. 卒業しても何らかの身体活動に興味を持てるよう、生涯スポーツへの動機付けとなるようにする。

内容

スポーツを通じた仲間作りを目標に、フライングディスクをはじめとした様々なレクリエーションスポーツやリズムエクササイズ、球技等を実施する。スポーツの面白さや楽しさを体験するために「気づく」「考える」「工夫する」「話し合う」等を積極的に取り入れ、授業を進めて行く。また、ストレッチ、リズムエクササイズ、マッサージ等は、ウォームアップやクーリングダウンとして毎時取り入れ、爽快感、ストレス解消、気分転換等、スポーツの価値をこころとからだ全体で実感するようにする。

第1週 オリエンテーション（授業のねらい、内容説明、運動調査等）

（w-up リズムエクササイズ、c-dnストレッチは毎回）

第2週？ 実技（コミュニケーションゲーム）

第4週？ 実技（フライングディスク、ボールゲーム等各種競技など）

第11週？ 実技（リズムエクササイズ、ダンス等）

第15週 まとめ

受講者数などにより、内容が変更される場合もある。

運動の際の服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

15分以上遅れた場合は欠席とする。

評価

平常点（授業に対する意欲、関心、態度を含む）60%、毎回のまとめ記入30%、実技テスト10%とし、総合的に評価する。忘れものは減点とする。

見学者は授業内容等（指定用紙）を記入し、毎時提出する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業内で適宜指示する。

科目名	スポーツ演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

物質的な豊かさと便利さをもたらしている文明社会は人々の心やからだに様々な弊害をもたらしている。

現代社会が生むストレスや運動不足からくる生活習慣病の増大等は、身体活動を実践することで解消することを理解する。「スポーツ」は楽しみながら行なうことであり、「真の楽しさ」を体験するにはどうしたらよいかを考え、工夫し自ら進んで実践する意欲を持たなければならない。その結果、健康や体力の増進、技術上達等を各人が体験し、生涯スポーツへの橋渡しとなる授業をねらいとする。

学修目標

グループ活動の実施 リーダーシップの育成 幅広い交友関係
人間性・感受性を豊かにする 学生生活の活性化および活力増進
生涯スポーツへの動機づけ

内容

ハンドボールを中心に様々な競技を体験し、十分な運動量を確保します。天候や施設状況によって、授業内容が変わることがあります。毎時間感想を記入しそれを元に出席管理を行います。

1	オリエンテーション、からだほぐし運動
2	ボール慣らし（1）
3	ボール慣らし（2）
4	シュート練習（1）・・・ステップシュート、ジャンプシュート
5	シュート練習（2）
6	コンビネーション練習・・・関係プレーからシュートまで
7	ゲーム（1）
8	ゲーム（2）
9	ゲーム（3）
10	ゲーム（4）
11	ゴール型ボールゲーム（1）
12	ゴール型ボールゲーム（2）
13	ゴール型ボールゲーム（3）
14	ゴール型ボールゲーム（4）
15	まとめ

評価

授業態度60点、実技テスト20点など総合的に評価しますが、積極的に授業に参加し、スポーツを楽しもうとする姿勢20点を重要視します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

初回授業の案内

初回授業は記念ホール入口に集まってください。運動ができる服装で、運動靴を準備してください。また、出席カードを作成しますので筆記用具・顔写真も忘れず準備してください。

私物(靴・手荷物)はすべて実施場所へ持参してください。

科目名	スポーツ演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

体育の実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。そして学科や学年を超えた多彩なクラス編成で、身体活動の楽しさを共有するとともに、身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

個人で行う運動領域に関する実技を継続的に実施する。具体的には、ゴルフ・器械運動・なわとび等を3～8週間を単位にして行う。

学修目標

クラス内の交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけるとともに、スポーツを通して獲得した内容を他者に伝えるなど、幅広く活用できることもねらいとする

内容

「身体運動2B」では、自らの身体を自由に動かす技能を高めることをテーマにして、「ゴルフ」・「器械運動（鉄棒・マット・跳び箱）」・「なわとび運動」に取り組んでみる。つまり、ある一定の動きや技ができるようになるプロセスを繰り返し、運動技能を向上させる経験を重ねていくのである。このような技能を「クロズド・スキル」と称している。

こうした活動を繰り返すことにより、目標とする動作がいつも同じタイミングやテンポでできるようになっていく。それには、動作のコツやポイントを探しながら考えて運動する習慣を身につけたり、仲間の運動の様子を観察したりする活動が重要になる。将来、教職を希望する者に、指導することの意味を考える機会が提供できると考えている。

授業の始めには、準備運動と体力づくりを意図した体操やゲームなどを行い、その後で主要となる運動種目（ゴルフ、器械運動など）を学習する形式で進めていく。また、準備運動の指導を輪番制で担当する活動も設定する。天候に応じて、ゴルフの代わりにバドミントン等を行う場合がある。

第1週 : オリエンテーション

第2～9週 : ゴルフ（基礎技術 ショートゲーム）・鉄棒運動

第10～14週 : マット運動・跳び箱運動・短なわとび（基礎技術 技の創作表現活動）

第15週 : まとめ（発表会）

授業ノートは、「毎回の授業内容、活動（ゲームや試合）の記録や成績、運動のコツやポイント、授業の感想」という4つの観点からまとめることにする。

天候や授業の進度に応じて、グラウンドと体育館（アリーナ）とを使い分けて授業を実施するため、グラウンド用と体育館用の2種類の靴を用意すること。見学者も運動着に着替えて出席すること

毎時間、授業ノート（ルーズリーフ不可）と筆記具を用意すること。

履修人数の上限を50名程度とする。

評価

平常点（授業に対する意欲、関心、態度）50%、ノート整理（提出2回）30%、レポート20%による評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】織田淳太郎『コーチ論』光文社新書

科目名	スポーツ演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

集団球技（サッカー、バレー、バスケなど）を中心とした実技を、3～5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

集団球技を中心に実技を進める。「身体運動2C」と同時開講科目である。

集団球技はゲームであり、勝敗がつく。勝つと嬉しいし、負けると悔しい。

まずはこの身体から湧き出るリアルな感情を味わう。

そして集団球技にはチームメイトと対戦相手が要る。

ゲームでの勝敗を「結果」とすれば、チームメイトや対戦相手とのやり取りは「過程」である。

この科目ではこの「過程」を重視する。

身体を使ったチームメイトや対戦相手との交流を通じて、独自の創意工夫や楽しみ方を見つけてほしい。

このようなクラスメイトとの協同・競争を通じて、自分や他人を尊重する態度が養われると考える。

予定している種目は以下の通りである。履修者の人数や意欲・希望に応じて種目を選択する

- ・陣取り型：サッカーやバスケットボール、アルティメット
- ・ネット型：インディアカやバレーボール、
- ・混合型：ドッジボールやジャグリング、

これらの中から3～4種目を5週を単位に継続する。

ゲームを主体に実技を進め、チームでの話し合いにも時間を割く。

履修人数の上限を50名程度とする。

毎週、グラウンド用、体育館用2種類の靴を用意すること。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と、自らの気付きを記入する欄があるので、後期の間最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%（実技に対する意欲・関心・態度）を総合して評価し、合計60%以上を合格とする。なお、平常点においては実技への参加態度を重視し、技能レベルや勝敗、記録での評価はしない。なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）。

科目名	スポーツ演習		
担当教員名	平田 智秋		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Nクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

リズムエクササイズ（リズムに合わせた運動）を中心とした実技を、3～5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

リズムに合わせた運動をだんだんダンス的に動いたり、
トレーニング的に動くなどして、
からだを引き締めるようにする等、
様々なダンス的身体運動へのアプローチをして行く。

第1週目 オリエンテーション

第2? 5週目 リズムエクササイズ

第6? 7週目 トレーニング的エクササイズ

第8? 10週目 リズムムーブメント

第11? 13週目 ダンスムーブメント

第14? 15週目 まとめ

からだの変化も見るために本人の希望により、測定を入れる可能性もある。

評価

平常点（授業に対する意欲、関心、態度を含む）60%、毎回のまとめ記入30%、実技テスト10%とし、総合的に評価する。忘れものは減点とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業内で適宜指示する。

科目名	スポーツ演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

集団球技（サッカー、バレー、バスケなど）を中心とした実技を、3～5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

集団球技を中心に実技を進める。「身体運動2D」と同時開講科目である。

集団球技はゲームであり、勝敗がつく。勝つと嬉しいし、負けると悔しい。

まずはこの身体から湧き出るリアルな感情を味わう。

そして集団球技にはチームメイトと対戦相手が要る。

ゲームでの勝敗を「結果」とすれば、チームメイトや対戦相手とのやり取りは「過程」である。

この科目ではこの「過程」を重視する。

身体を使ったチームメイトや対戦相手との交流を通じて、独自の創意工夫や楽しみ方を見つけてほしい。

このようなクラスメイトとの協同・競争を通じて、自分や他人を尊重する態度が養われると考える。

予定している種目は以下の通りである。履修者の人数や意欲・希望に応じて種目を選択する

- ・陣取り型：サッカーやバスケットボール、アルティメット
- ・ネット型：インディアカやバレーボール、
- ・混合型：ドッジボールやジャグリング、

これらの中から3～4種目を5週を単位に継続する。

ゲームを主体に実技を進め、チームでの話し合いにも時間を割く。

履修人数の上限を50名程度とする。

毎週、グラウンド用、体育館用2種類の靴を用意すること。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と、自らの気付きを記入する欄があるので、後期の間で最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%（実技に対する意欲・関心・態度）を総合して評価し、合計60%以上を合格とする。なお、平常点においては実技への参加態度を重視し、技能レベルや勝敗、記録での評価はしない。なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）。

科目名	スポーツ演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	2Mクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

集団球技（サッカー、バレー、バスケなど）を中心とした実技を、3～5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

集団球技を中心に実技を進める。「身体運動」と同時開講科目である。

集団球技はゲームであり、勝敗がつく。勝つと嬉しいし、負けると悔しい。

まずはこの身体から湧き出るリアルな感情を味わう。

そして集団球技にはチームメイトと対戦相手が要る。

ゲームでの勝敗を「結果」とすれば、チームメイトや対戦相手とのやり取りは「過程」である。

この科目ではこの「過程」を重視する。

身体を使ったチームメイトや対戦相手との交流を通じて、独自の創意工夫や楽しみ方を見つけてほしい。

このようなクラスメイトとの協同・競争を通じて、自分や他人を尊重する態度が養われると考える。

予定している種目は以下の通りである。履修者の人数や意欲・希望に応じて種目を選択する

- ・陣取り型：サッカーやバスケットボール、アルティメット
- ・ネット型：インディアカやバレーボール、
- ・混合型：ドッジボールやジャグリング、

これらの中から3～4種目を5週を単位に継続する。

ゲームを主体に実技を進め、チームでの話し合いにも時間を割く。

履修人数の上限を50名程度とする。

毎週、グラウンド用、体育館用2種類の靴を用意すること。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と、自らの気付きを記入する欄があるので、後期の間最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%（実技に対する意欲・関心・態度）を総合して評価し、合計60%以上を合格とする。なお、平常点においては実技への参加態度を重視し、技能レベルや勝敗、記録での評価はしない。なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）。

科目名	スポーツ演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	2Pクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

集団球技（サッカー、バレー、バスケなど）を中心とした実技を、3～5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

集団球技を中心に実技を進める。「身体運動」と同時開講科目である。

集団球技はゲームであり、勝敗がつく。勝つと嬉しいし、負けると悔しい。

まずはこの身体から湧き出るリアルな感情を味わう。

そして集団球技にはチームメイトと対戦相手が要る。

ゲームでの勝敗を「結果」とすれば、チームメイトや対戦相手とのやり取りは「過程」である。

この科目ではこの「過程」を重視する。

身体を使ったチームメイトや対戦相手との交流を通じて、独自の創意工夫や楽しみ方を見つけてほしい。

このようなクラスメイトとの協同・競争を通じて、自分や他人を尊重する態度が養われると考える。

予定している種目は以下の通りである。履修者の人数や意欲・希望に応じて種目を選択する

- ・陣取り型：サッカーやバスケットボール、アルティメット
- ・ネット型：インディアカやバレーボール、
- ・混合型：ドッジボールやジャグリング、

これらの中から3～4種目を5週を単位に継続する。

ゲームを主体に実技を進め、チームでの話し合いにも時間を割く。

履修人数の上限を50名程度とする。

毎週、グラウンド用、体育館用2種類の靴を用意すること。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と、自らの気付きを記入する欄があるので、後期の間最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%（実技に対する意欲・関心・態度）を総合して評価し、合計60%以上を合格とする。なお、平常点においては実技への参加態度を重視し、技能レベルや勝敗、記録での評価はしない。なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）。

科目名	スポーツ演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	2Eクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして、学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

毎回いろいろなレクリエ-ションゲ-ムやニュ-スポ-ツを体験することができる。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

1	ガイダンス（内容・注意事項・評価についての説明） *更衣の必要なし
2	コミュニケ-ションワ-ク（アイスプレ-キング・ホスピタリティトレ-ニング等）
3	レクリエ-ションゲ-ム
4	レクリエ-ションスポ-ツ *天候・施設状況・受講生の希望により種目を決める
5	＃（フライングディスク・キンポ-ル・ユニホック・インディアカ・スポンジバレ-等）
6	＃
7	＃
8	＃
9	＃
10	＃
11	受講生考案 レクリエ-ションスポ-ツの実施
12	＃
13	＃
14	＃
15	まとめ

評価

授業態度50点、授業の記録力-ド30点、積極的に授業に参加し楽しもうとする姿勢を20点とし、重要視します。また、技能レベルでは評価をしない。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は必要としない。

科目名	スポーツ演習		
担当教員名	佐藤 典子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Fクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報) / 中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして、学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

毎回いろいろなレクリエ-ションゲ-ムやニュ-スポ-ツを体験することができる。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

1	ガイダンス(内容・注意事項・評価についての説明) *更衣の必要なし
2	コミュニケーションワ-ク (アイスプレ-キング・ホスピタリティトレ-ニング等)
3	レクリエ-ションゲ-ム
4	レクリエ-ションスポ-ツ *天候・施設状況・受講生の希望により種目を決める
5	”(フライングディスク・キンポ-ル・ユニホック・インディアカ・スポンジバレ-等)
6	”
7	”
8	”
9	”
10	”
11	受講生考案 レクリエ-ションスポ-ツの実施
12	”
13	”
14	”
15	まとめ

評価

授業態度50点、授業の記録力-ド30点、積極的に授業に参加し楽しもうとする姿勢を20点とし、重要視します。また、技能レベルでは評価をしない。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は必要としない。

科目名	スポーツ演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	2Jクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

身体運動（ゲーム&リズム）

科目の性格

体育実技科目である。受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた“身体を動かすことの楽しさ”を見つけることを支援する中で、学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にしていきたい。

科目の概要

誰でもができる基本的な運動を様々な方法で行うことにより、自分自身のからだの現状を認識し、体力の維持・増進を図り、且つ“遊び”や“気晴らし”としての運動を意識的に自身の生活の中で利用できるようにする。さらに相手の力や体重を利用する、同一のリズムを共有するという体験から仲間との交流・コミュニケーションを図るねらいもあわせもつものである。

学修目標

- ・身体運動を通じてクラスの仲間との円滑なコミュニケーションをはかる
- ・自身のからだ及び仲間のからだに対する変化を敏感にキャッチできるようになる
- ・からだを動かすことの楽しさを発見する

内容

第1回：ガイダンス（平服にて筆記用具持参）

第2回～第5回

・仲間づくりゲーム、じゃんけんゲーム、手合わせゲーム、身近材料を利用したゲーム等を通じて楽しみながら身体を動かし、心とからだをほぐす。小筋運動から大筋運動へ、少人数から多人数へとゲームを発展させながら仲間とのコミュニケーションを図る。

- ・フォークダンス（パティเค้ก・ポルカ、タンゴ・ミクサー）

第6回～第8回

- ・背骨のローリング運動を中心に、体側、大腿等のストレッチを組み合わせた一連のリズミカルな運動を習得する。
- ・フォークダンス（ネリーグレイ・ミクサー、ロード・トゥ・ディ・アイルス）

第9回～第12回

・二人組の運動をもとに身体の器用性、協応性、柔軟性、バランス感覚への刺激をねらいに、相手の体重や力を利用しながら、二人で協力して行う一連のリズミカルな運動を習得する。

- ・フォークダンス（ルムバミクサー、ヒンキー・ディンキー・パーリーブ）

第13・14回

- ・身体各部位の筋力アップの運動、及びストレッチングとリズムエクササイズ

第15回

まとめ

評価

積極的に仲間とともに動き、その体感を得ることが重要となる。グループワークにおける貢献度、授業への積極性などの平常点（50%）、毎回の授業における自身の理解度、到達度、気付きに関するコメント表の作成とまとめのレポート作成（50%）。三分の二以上出席することで評価を受けることができる。合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用せず

科目名	スポーツ演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	2Qクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

ラケットスポーツ（主にテニス、卓球）を中心とした実技を、3～5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

毎回、

W-upはリズムに合わせて行う。

C?dnはストレッチかマッサージのいずれかを行える範囲で行う。

第1週目 オリエンテーション

第2? 7週目 テニス中心

第8週目 トレーニング的エクササイズ

第9? 14週目 卓球中心

第15週目 まとめ

いずれも、できない人は、ゲームができるようになるまで、

できる人は、より上達するように行うことを目標とする。

それぞれが練習方法の工夫により、

高め合えるような手法を考えながら進めて行く。

受講者数などにより、内容が変更される場合もある。

運動の際の服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

15分以上遅れた場合は欠席とする。

評価

平常点（授業に対する意欲、関心、態度を含む）60%、毎回のまとめ記入30%、実技テスト10%とし、総合的に評価する。忘れものは減点とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業内で適宜指示する。

科目名	スポーツ演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	2Gクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

体育の実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。そして学科や学年を超えた多彩なクラス編成で、身体活動の楽しさを共有するとともに、身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

個人で行う運動領域に関する実技を継続的に実施する。具体的には、ゴルフ・器械運動・なわとび等を3～8週間を単位にして行う。

学修目標

クラス内の交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけるとともに、スポーツを通して獲得した内容を他者に伝えるなど、幅広く活用できることもねらいとする

内容

「身体運動2G」では、自らの身体を自由に動かす技能を高めることをテーマにして、「ゴルフ」・「器械運動（鉄棒・マット・跳び箱）」・「なわとび運動」に取り組んでみる。つまり、ある一定の動きや技ができるようになるプロセスを繰り返し、運動技能を向上させる経験を重ねていくのである。このような技能を「クローズド・スキル」と称している。

こうした活動を繰り返すことにより、目標とする動作がいつも同じタイミングやテンポでできるようになっていく。それには、動作のコツやポイントを探しながら考えて運動する習慣を身につけたり、仲間の運動の様子を観察したりする活動が重要になる。将来、教職を希望する者に、指導することの意味を考える機会が提供できると考えている。

授業の始めには、準備運動と体力づくりを意図した体操やゲームなどを行い、その後で主要となる運動種目（ゴルフ、器械運動など）を学習する形式で進めていく。また、準備運動の指導を輪番制で担当する活動も設定する。天候に応じて、ゴルフの代わりにバドミントン等を行う場合がある。

第1週 : オリエンテーション

第2～9週 : ゴルフ（基礎技術 ショートゲーム）・鉄棒運動

第10～14週 : マット運動・跳び箱運動・短なわとび（基礎技術 技の創作表現活動）

第15週 : まとめ（発表会）

授業ノートは、「毎回の授業内容、活動（ゲームや試合）の記録や成績、運動のコツやポイント、授業の感想」という4つの観点からまとめることにする。

天候や授業の進度に応じて、グラウンドと体育館（アリーナ）とを使い分けて授業を実施するため、グラウンド用と体育館用の2種類の靴を用意すること。見学者も運動着に着替えて出席すること

毎時間、授業ノート（ルーズリーフ不可）と筆記具を用意すること。

履修人数の上限を50名程度とする。

評価

平常点（授業に対する意欲、関心、態度）50%、ノート整理（提出2回）30%、レポート20%による評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】織田淳太郎『コーチ論』光文社新書

科目名	スポーツ演習		
担当教員名	山本 悟		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Hクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

体育の実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。そして学科や学年を超えた多彩なクラス編成で、身体活動の楽しさを共有するとともに、身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

個人で行う運動領域に関する実技を継続的に実施する。具体的には、ゴルフ・器械運動・なわとび等を3～8週間を単位にして行う。

学修目標

クラス内の交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけるとともに、スポーツを通して獲得した内容を他者に伝えるなど、幅広く活用できることもねらいとする

内容

「身体運動2H」では、自らの身体を自由に動かす技能を高めることをテーマにして、「ゴルフ」・「器械運動（鉄棒・マット・跳び箱）」・「なわとび運動」に取り組んでみる。つまり、ある一定の動きや技ができるようになるプロセスを繰り返し、運動技能を向上させる経験を重ねていくのである。このような技能を「クロズド・スキル」と称している。

こうした活動を繰り返すことにより、目標とする動作がいつも同じタイミングやテンポでできるようになっていく。それには、動作のコツやポイントを探しながら考えて運動する習慣を身につけたり、仲間の運動の様子を観察したりする活動が重要になる。将来、教職を希望する者に、指導することの意味を考える機会が提供できると考えている。

授業の始めには、準備運動と体力づくりを意図した体操やゲームなどを行い、その後で主要となる運動種目（ゴルフ、器械運動など）を学習する形式で進めていく。また、準備運動の指導を輪番制で担当する活動も設定する。天候に応じて、ゴルフの代わりにバドミントン等を行う場合がある。

第1週 : オリエンテーション

第2～9週 : ゴルフ（基礎技術 ショートゲーム）・鉄棒運動

第10～14週 : マット運動・跳び箱運動・短なわとび（基礎技術 技の創作表現活動）

第15週 : まとめ（発表会）

授業ノートは、「毎回の授業内容、活動（ゲームや試合）の記録や成績、運動のコツやポイント、授業の感想」という4つの観点からまとめることにする。

天候や授業の進度に応じて、グラウンドと体育館（アリーナ）とを使い分けて授業を実施するため、グラウンド用と体育館用の2種類の靴を用意すること。見学者も運動着に着替えて出席すること

毎時間、授業ノート（ルーズリーフ不可）と筆記具を用意すること。

履修人数の上限を50名程度とする。

評価

平常点（授業に対する意欲、関心、態度）50%、ノート整理（提出2回）30%、レポート20%による評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】織田淳太郎『コーチ論』光文社新書

科目名	シーズンスポーツ		
担当教員名	平田 智秋、飯田 路佳、清水 文子、千足 耕一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

3泊4日の雪上実習と3回の事前オリエンテーションを通じて、スキーやスノーボードの基礎技術はもとより、集団生活を通じて自律した行動・態度を身につける。

科目の概要

本学湯の丸山荘において、スキーもしくはスノーボードの実習を行う。

学修目標

- 自然との関わりの深いスキーやスノーボードの特性について理解し、その知識と技術を身につける。
- 自然界のすばらしさと厳しさを味わい、生涯を通じて自然に親しむ態度を養う。
- 健康管理への気付き、学年や学科を超えた交流の中から仲間意識を高める。

内容

実習を通じて、以下の技能を体得する；

スキー初級

雪や用具になれる：スキーの着脱、転倒起立、歩行、方向変換、推進滑降、登行
初歩的な滑降：直滑降、プルーク、プルーク・ボーゲン

スキー中級

基本的な構えとスキー操作を学ぶ：斜滑降、横滑り、山回り、プルーク・ターン
リズムとバランス感覚を学ぶ：シュテム・ターンなど

スキー上級

スピードをコントロールし、回転動作を洗練する：パラレル・ステップターン
制限コースや雪質、斜面などへの対応力を高める：制限滑降、深雪滑降

スノーボード初級

装備の着脱、転び方と起き方、スケーティング
リフトの乗り降り、サイドスリップと木の葉落とし（かかと、つま先の両側で）

スノーボード中級

Jターン（かかと、つま先の両方で）。ノーズドロップ
ずらしを利用した連続ターン

スノーボード上級

カービングターン，大回りと小回り

評価

オリエンテーションへの参加と，実習における技能習得や生活態度を総合して評価し，60%以上の評価を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

（備考）

- ・実施時期：平成24年2月中旬の3泊4日（決定次第教務課掲示板にて発表）
- ・実施場所及び宿泊施設（予定）：湯の丸スキー場。本学湯の丸山荘
- ・実習参加費（予定）：30,000円（宿泊費・3泊9食、交通費、保険料、リフト代、レンタル代等）
～ウェアのレンタルは無いので、各自で準備が必要
- ・履修登録前にオリエンテーションを開くので、受講希望者は必ず参加すること。
- ・履修人数を30名に制限する予定である。

科目名	情報処理演習		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

インターネットや電子メールの概念を理解し、利用できる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

内容

- 1．オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
- 2．オペレーティングシステムの基本操作とファイル操作
- 3．インターネットと電子メール
- 4．ワープロソフトの基本操作（文書の作成と管理）
- 5．ワープロソフトの基本操作（文書の編集機能）
- 6．ワープロソフトの応用操作（表やグラフを挿入した文書の作成）
- 7．ワープロソフトの応用操作（ビジュアルな文書の作成）
- 8．論文・レポートの書き方（読みやすいレイアウトの長文作成）
- 9．論文・レポートの書き方（長文の編集と加工）
- 10．プレゼンテーションソフトの基本操作（プレゼンテーション資料の作成）
- 11．プレゼンテーションソフトの応用操作（効果的なプレゼンテーション資料の作成）
- 12．プレゼンテーションの実施
- 13．総合課題演習（文書作成）
- 14．総合課題演習（レポート作成）
- 15．まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時に指定する。

(全学共通のテキストを使います。後日書名などお知らせします。)

科目名	情報処理演習		
担当教員名	名児耶 厚		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

インターネットや電子メールの概念を理解し、利用できる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

内容

1	オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
2	オペレーティングシステムの基本操作とファイル操作
3	インターネットと電子メール
4	ワープロソフトの基本操作（文書の作成と管理）
5	ワープロソフトの基本操作（文書の編集機能）
6	ワープロソフトの応用操作（表やグラフを挿入した文書の作成）
7	ワープロソフトの応用操作（ビジュアルな文書の作成）
8	論文・レポートの書き方（読みやすいレイアウトの長文作成）
9	論文・レポートの書き方（長文の編集と加工）
10	プレゼンテーションソフトの基本操作（プレゼンテーション資料の作成）
11	プレゼンテーションソフトの応用操作（効果的なプレゼンテーション資料の作成）
12	プレゼンテーションの実施
13	総合課題演習（文書作成）
14	総合課題演習（レポート作成）
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時に指定する。

科目名	情報処理演習		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

インターネットや電子メールの概念を理解し、利用できる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

内容

1	オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法、クラス分け
2	オペレーティングシステムの基本操作とファイル操作
3	インターネットと電子メール
4	ワープロソフトの基本操作（文書の作成と管理）
5	ワープロソフトの基本操作（文書の編集機能）
6	ワープロソフトの応用操作（表やグラフを挿入した文書の作成）
7	ワープロソフトの応用操作（ビジュアルな文書の作成）
8	論文・レポートの書き方（読みやすいレイアウトの長文作成）
9	論文・レポートの書き方（長文の編集と加工）
10	プレゼンテーションソフトの基本操作（プレゼンテーション資料の作成）
11	プレゼンテーションソフトの応用操作（効果的なプレゼンテーション資料の作成）
12	プレゼンテーションの実施
13	総合課題演習（文書作成）
14	総合課題演習（レポート作成）
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時に指定する。

(全学共通のテキストを使います。後日書名などお知らせします。)

科目名	情報処理演習		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目では、大学での学習や社会で必要となるコンピュータを中心としたICT活用に関する基礎技術を習得することを旨とする。文書作成、プレゼンテーション、インターネット活用などに関する演習を行う。

科目の概要

大学の情報環境の理解、オペレーティングシステムの基本操作、ビジネス文書・論文作成、Web・メールなどインターネットの活用、プレゼンテーションなどを行う。

学修目標

1. 大学の情報環境が利用できる。
2. 用途に応じた文書作成をすることができる。
3. プレゼンテーションの企画から制作、発表を行うことができる。
4. インターネットの適切な利用ができる。

内容

1	大学の情報環境
2	インターネット・電子メール
3	文書作成-文字入力
4	文書作成-編集機能
5	文書作成-レイアウト
6	文書作成-ビジュアル
7	論文・レポートの書き方
8	プレゼンテーションソフトの基本操作
9	プレゼンテーションソフトの応用操作
10	プレゼンテーションの企画・作成
11	基礎課題演習-ビジネス文書
12	基礎課題演習-ビジュアル文書
13	応用課題演習-ソフトの統合利用
14	応用課題演習-データの活用
15	まとめ

評価

テーマ毎の課題の提出物により評価を行い、60%以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】全学共通 情報処理演習用テキスト（教室で紹介する）

科目名	情報処理演習		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Eクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

インターネットや電子メールの概念を理解し、利用できる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

内容

1	オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
2	オペレーティングシステムの基本操作とファイル操作
3	インターネットと電子メール
4	ワープロソフトの基本操作（文書の作成と管理）
5	ワープロソフトの基本操作（文書の編集機能）
6	ワープロソフトの応用操作（表やグラフを挿入した文書の作成）
7	ワープロソフトの応用操作（ビジュアルな文書の作成）
8	論文・レポートの書き方（読みやすいレイアウトの長文作成）
9	論文・レポートの書き方（長文の編集と加工）
10	プレゼンテーションソフトの基本操作（プレゼンテーション資料の作成）
11	プレゼンテーションソフトの応用操作（効果的なプレゼンテーション資料の作成）
12	プレゼンテーションの実施
13	総合課題演習（文書作成）
14	総合課題演習（レポート作成）
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時に指定する。

科目名	情報処理演習		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの操作方法およびWebページの作成方法について学習する。

学修目標

表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグを使ってWebページを作成することができる。

内容

1	表計算ソフトの基本操作 1（表の作成と編集）
2	表計算ソフトの基本操作 2（数式・関数の利用）
3	表計算ソフトの基本操作 3（グラフの作成）
4	表計算ソフトの問題演習 1（数式・関数の活用）
5	表計算ソフトの問題演習 2（目的に応じたグラフの作成）
6	表計算ソフトの応用操作 1（データの並べ替えと抽出）
7	表計算ソフトの応用操作 2（データの集計と分析）
8	Webページの作成 1（基本的なHTMLタグの使い方）
9	Webページの作成 2（画像の配置、リンクの設定）
10	Webページの作成演習 1（サイトの設計）
11	Webページの作成演習 2（サイトの作成）
12	総合課題演習 1（各種集計表の処理）
13	総合課題演習 2（データの整理と分析）
14	応用課題演習（ソフトの統合利用）
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時に指定する。

科目名	情報処理演習		
担当教員名	中尾 茂子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの操作方法およびWebページの作成方法について学習する。

学修目標

表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグを使ってWebページを作成することができる。

内容

1	表計算ソフトの基本操作 1（表の作成と編集）
2	表計算ソフトの基本操作 2（数式・関数の利用）
3	表計算ソフトの基本操作 3（グラフの作成）
4	表計算ソフトの問題演習 1（数式・関数の活用）
5	表計算ソフトの問題演習 2（目的に応じたグラフの作成）
6	表計算ソフトの応用操作 1（データの並べ替えと抽出）
7	表計算ソフトの応用操作 2（データの集計と分析）
8	Webページの作成 1（基本的なHTMLタグの使い方）
9	Webページの作成 2（画像の配置、リンクの設定）
10	Webページの作成演習 1（サイトの設計）
11	Webページの作成演習 2（サイトの作成）
12	総合課題演習 1（各種集計表の処理）
13	総合課題演習 2（データの整理と分析）
14	応用課題演習（ソフトの統合利用）
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業開始時に指示する。

科目名	情報処理演習		
担当教員名	名児耶 厚		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの操作方法およびWebページの作成方法について学習する。

学修目標

表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグを使ってWebページを作成することができる。

内容

1	表計算ソフトの基本操作 1（表の作成と編集）
2	表計算ソフトの基本操作 2（数式・関数の利用）
3	表計算ソフトの基本操作 3（グラフの作成）
4	表計算ソフトの問題演習 1（数式・関数の活用）
5	表計算ソフトの問題演習 2（目的に応じたグラフの作成）
6	表計算ソフトの応用操作 1（データの並べ替えと抽出）
7	表計算ソフトの応用操作 2（データの集計と分析）
8	Webページの作成 1（基本的なHTMLタグの使い方）
9	Webページの作成 2（画像の配置、リンクの設定）
10	Webページの作成演習 1（サイトの設計）
11	Webページの作成演習 2（サイトの作成）
12	総合課題演習 1（各種集計表の処理）
13	総合課題演習 2（データの整理と分析）
14	応用課題演習（ソフトの統合利用）
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時に指定する。

科目名	情報処理演習		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目では、情報処理演習 の継続として、大学での学習や社会で必要となるコンピュータを中心としたICT活用に関する基礎技術を習得することを目指す。

科目の概要

表計算ソフトの基礎操作、データ活用と処理、基礎的なWebページ作成を行う。また、総合課題演習として、情報処理や情報活用の総合的な技術を身につける。

学修目標

- 1．表計算ソフトを利用し、データの処理ができる。
- 2．Webページのしくみを理解し、制作することができる。
- 3．適切なソフトを選択して、情報処理・情報活用ができる。

内容

1	表計算ソフトの基本操作-表作成
2	表計算ソフトの基本操作-数式
3	表計算ソフトの基本操作-関数
4	表計算ソフトの応用問題演習-表の編集
5	表計算ソフトの応用問題演習-グラフ作成
6	データ分析の基礎-並べ替え・抽出
7	データ分析の基礎-応用関数
8	Webページ作成基礎-HTML基礎
9	Webページ作成基礎-HTML応用
10	Webページ作成応用-サイトの設計
11	Webページ作成応用-サイトの制作
12	総合課題演習-各種集計表の処理
13	総合課題演習-データの整理と分析
14	総合課題演習-報告書の作成・サイトのビジュアル化
15	まとめ

評価

テーマ毎の課題の提出物により評価を行い、60%以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】全学共通 情報処理演習用テキスト（教室で紹介する）

科目名	情報処理演習		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Eクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの操作方法およびWebページの作成方法について学習する。

学修目標

表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグを使ってWebページを作成することができる。

内容

1	表計算ソフトの基本操作（表の作成と編集）
2	表計算ソフトの基本操作（数式・関数の利用）
3	表計算ソフトの基本操作（グラフの作成）
4	表計算ソフトの問題演習（数式・関数の活用）
5	表計算ソフトの問題演習（目的に応じたグラフの作成）
6	表計算ソフトの応用操作（データの並べ替えと抽出）
7	表計算ソフトの応用操作（データの集計と分析）
8	Webページの作成（基本的なHTMLタグの使い方）
9	Webページの作成（画像の配置、リンクの設定）
10	Webページの作成演習（サイトの設計）
11	Webページの作成演習（サイトの作成）
12	総合課題演習（各種集計表の処理）
13	総合課題演習（データの整理と分析）
14	応用課題演習（ソフトの統合利用）
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時に指定する。

科目名	コンピュータ概説		
担当教員名	加藤 暁子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、講義科目として、コンピュータのしくみや利用法を学んでいきます。

コンピュータが使用されている製品や、本体のしくみについて改めて学習し、色々な発見をしたり、知識の幅を広げたりすることにより、コンピュータに親しみを覚えていただけたきたいと思います。

皆さんの身近なところには、知らず知らずのうちに、コンピュータシステムを利用したものがたくさんあります。コンピュータシステムを利用した家電製品が家庭の中に広がり、半ば必需品となっています。そして、さまざまは情報通信網を利用した双方向通信の可能なインターネットシステムや、携帯端末など、日常生活には当たり前のように普及しています。一方で、便利さと危険性が隣り合わせでもあり、たくさんの知識も必要とされています。これからは、コンピュータの仕組みなどを知り、ゲームや文章や表計算などのソフトを使うときだけでなく、みなさんの将来的にも、コンピュータ全般の利用価値を高める糸口になれば嬉しいです。

内容

1	私たちを取り巻くコンピュータの環境について
2	コンピュータの種類とコンピュータの簡単な仕組みについて
3	OSやアプリケーション・ソフトウェアの役割について
4	コンピュータを分解して理解する
5	ノートPCや携帯電話を分解し、仕組みを知る
6	情報の流れのしくみと意味を学ぶ
7	地上デジタル放送、テレビのしくみ、放送について理解を深める
8	周辺機器のはたらきについて
9	インターネットの成り立ち、はたらき 電子メール、WWW ホームページの利用について
10	コンピュータの歴史 コンピュータの言葉
11	家電製品のしくみや街のイルミネーションなど身近な電子機器について
12	身の回りにあるコンピュータやネットワークについて
13	インターネットの危険性と回避策について
14	全体の復習
15	まとめ

評価

各回の講義終了時にプリント提出30点、半期で2回のレポート20点、試験50点。総合得点60点以上で合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教材は、授業ごとにプリントを配布。

【参考図書】

米村貴裕 『やさしいIT講座』 新星出版社 『パソコンのしくみ』
山形浩生 監修 『コンピュータ』 日経BP ソフトプレス 『パソコンのしくみ』
山田宏尚 著 『コンピュータのしくみ』 坂村健 『ユビキタスでつくる情報社会基盤』
エクスメディア 『パソコン用語集』 など、必要に応じて授業中に紹介する。

科目名	コンピュータ概説		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格 1年前期の学部必修科目であり、4年間の学部での学習の基礎になる。特に、情報処理演習と常に関連付けて学んでほしい。

科目の概要 21世紀は、「いつでも・どこでも・だれでも」欲しい情報が入手できる情報社会になると予測されている。そのようなユビキタス情報社会では、コンピュータはあらゆるものの中に内蔵されるようになる。情報とは何か、コンピュータとは何か、基本から理解する。

学修目標 本授業では、コンピュータの仕組みやソフトウェアについて分かりやすく基本的なことを理解することをねらいとする。

内容

1	身近な道具にもコンピュータ（探してみよう、コンピュータ）
2	コンピュータの誕生（そろばんから、SUICA）
3	コンピュータが扱える情報（文字、音声、静止画像、動画像）
4	コンピュータの構成と周辺装置（人間の五感との対比）
5	ソフトウェアの概要と歴史（人間の思考の自動化、論理学）
6	中央処理装置と記憶装置（人間の計算速度が速い）
7	基本的ソフトウェア種類（オペレーティングシステム）
8	応用ソフトウェアの種類と役割
9	使いやすいコンピュータって（コンピュータ・インタフェース）
10	コンピュータでのコミュニケーション（ネットワーク）
11	インターネットの世界
12	高度情報通信ネットワーク社会がユビキタス情報社会（身近な情報技術）
13	高度情報社会の光と影（デジタル・デバイド）
14	コンピュータの未来（未来社会）
15	まとめ

評価

提出してもらったレポート（15点）を、150点満点（15×10点満点）で計算し、90点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

プリントを配布する

科目名	情報基礎論		
担当教員名	中尾 茂子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「コンピュータ・リテラシー基礎科目」の中の一つであり、現在の情報通信技術が発達したデジタル社会において、その仕組みや特性を理解し、情報の価値や利用方法、注意すべきことについて考える。

科目の概要

コンピュータの仕組み、情報を扱う技術、情報通信を支える技術について学ぶ。次に、それらを利用したインターネットやネットワーク上でのサービスについて理解を深める。さらに、ネットワーク上の脅威とそれに対する備え、情報を利用するときの倫理観、情報社会の予想される未来について議論する。

学修目標

情報の概念や価値について理解する。

コンピュータの仕組み、情報を扱う技術、情報通信を支える技術を学び、社会でどのように利用されているかを理解する。ネットワーク上の脅威についての知識を深め、情報社会の一員としてのモラルを身につける。

内容

1	現代社会と情報
2	2進法、文字コード、フォント
3	情報の表現技術
4	コンピュータのしくみ
5	オペレーションシステムのしくみ
6	デジタル放送、エラー検出
7	インターネットのしくみ
8	ネットワークのしくみ
9	WWWと電子メール
10	検索エンジンとインターネットサービス（SNS、Wikipediaなど）
11	情報システム、電子商取引
12	メディアリテラシー
13	コンピュータウィルス、情報漏洩
14	個人情報、知的財産権
15	まとめ

評価

授業中の小テストおよび提出課題（50点）、期末テスト（50点）により評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業開始時に指示する。

科目名	情報基礎論		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目では、大学での学習や社会で必要となる情報に関する基礎的な知識の習得を目指す。情報処理演習、コンピュータ表現系の科目の基礎となる。

科目の概要

情報とはどのようなものか、コンピュータ内部やインターネット上でやり取りする様々な情報の表現方法について学ぶ。また、コンピュータやネットワークのしくみについて、情報と社会について学ぶ。

学修目標

1. 情報量について理解する。
2. 情報の表現方法・伝達方法を理解する。
3. インターネットやコンピュータのしくみが分かる。

内容

1	情報とは何か
2	情報量とエントロピー
3	2進数
4	文字コード
5	チェックディジット
6	画像のデジタル表現
7	カラー画像のデジタル表現
8	まとめ-その1
9	デジタル情報の記号化
10	サウンドのデジタル化
11	コンピュータのしくみ
12	コンピュータネットワークのしくみ
13	情報通信技術
14	携帯電話
15	まとめ-その2

評価

授業中の提出物30%、試験70%により評価を行い、60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合、レポートを課す。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】使用しない。プリント配布

【参考図書】大村平『情報のはなし』日科技連、久野靖・辰巳丈夫・佐藤義弘『最新情報リテラシー』日経BP社、山川修・田中武之・菊沢正裕『情報リテラシー』森北出版

科目名	新入生セミナー		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学習の仕方(スタディ・スキルズ)を学び、大学での学業生活をより豊かに過ごせるようにすることを目的にしている。また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを高めていくこともねらいとしている。

科目の概要

高校までは、どちらかという受動的で「教わること」が多かったが、大学では自分で学習し、自分から求める「自立型の学習」を求められる。本授業では、高校での学びから大学での学びにスムーズに移行できるように、知的活動への動機づけを高め、レポートや口頭でのプレゼンテーション及びディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしている。

学修目標

グループでの作業を通じて、コミュニケーション能力を高め、かつプレゼンテーションの能力を高めていくことを目標としている。

内容

1	Webによる履修登録と学内のシステム利用
2	ワークショップ：グループディスカッション
3	卒業後の目標設定 (キャリアセンターによる授業)
4	心と身体の健康管理 (健康管理センターによる授業)
5	情報を収集する(1)(図書館ガイダンス)
6	情報を収集する(2)インターネットによる情報収集、リストの作成
7	スタディ・スキルズとは：ノート・テイキング、リーディング
8	アカデミック・ライティング(1)：レポートの作成、脚注、参考文献など
9	アカデミック・ライティング(2)：表やグラフを使用したレポート
10	プレゼンテーションの技法(1)：レジユメの作り方
11	プレゼンテーションの技法(2)：パワーポイントの作成方法
12	プレゼンテーションの作成(1)：グループに分かれ発表資料の作成
13	プレゼンテーションの作成(2)：グループに分かれ発表資料の作成
14	プレゼンテーションの発表(1)
15	プレゼンテーションの発表(2)

評価

毎回の授業時の課題(40%)、プレゼンテーション(60%)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	新入生セミナー		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学習の仕方(スタディ・スキルズ)を学び、大学での学業生活をより豊かに過ごせるようにすることを目的にしている。また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを高めていくこともねらいとしている。

科目の概要

高校までは、どちらかというと受動的で「教わること」が多かったが、大学では自分で学習し、自分から求める「自立型の学習」を求められる。本授業では、高校での学びから大学での学びにスムーズに移行できるように、知的活動への動機づけを高め、レポートや口頭でのプレゼンテーション及びディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしている。

学修目標

グループでの作業を通じて、コミュニケーション能力を高め、かつプレゼンテーションの能力を高めていくことを目標としている。

内容

1	Webによる履修登録と学内のシステム利用
2	ワークショップ：グループディスカッション
3	卒業後の目標設定
4	心と身体の健康管理
5	図書館ガイダンス
6	インターネットによる情報収集、リストの作成
7	スタディ・スキルズとは：ノート・テイキング、リーディング
8	レポートの作成、脚注、参考文献など
9	表やグラフを使用したレポート
10	レジュメの作り方
11	パワーポイントの作成方法
12	プレゼンテーションの作成(1)
13	プレゼンテーションの作成(2)
14	プレゼンテーションの発表(1)
15	プレゼンテーションの発表(2)

評価

毎回の授業時の課題(40%)、プレゼンテーション(60%)

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

学習技術研究会 『知へのステップ 改訂版』 ころしお出版

科目名	新入生セミナー		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学習の仕方(スタディ・スキルズ)を学び、大学での学業生活をより豊かに過ごせるようにすることを目的にしている。また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを高めていくこともねらいとしている。

科目の概要

高校までは、どちらかという受動的で「教わること」が多かったが、大学では自分で学習し、自分から求める「自立型の学習」を求められる。本授業では、高校での学びから大学での学びにスムーズに移行できるように、知的活動への動機づけを高め、レポートや口頭でのプレゼンテーション及びディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしている。

学修目標

グループでの作業を通じて、コミュニケーション能力を高め、かつプレゼンテーションの能力を高めていくことを目標としている。

内容

- 第1回 Webによる履修登録と学内のシステム利用
- 第2回 ワークショップ：グループディスカッション
- 第3回 卒業後の目標設定 (キャリアセンターによる授業)
- 第4回 心と身体の健康管理 (健康管理センターによる授業)
- 第5回 情報を収集する(1)(図書館ガイダンス)
- 第6回 情報を収集する(2)インターネットによる情報収集、リストの作成
- 第7回 スタディ・スキルズとは：ノート・テイキング、リーディング
- 第8回 アカデミック・ライティング(1)：レポートの作成、脚注、参考文献など
- 第9回 アカデミック・ライティング(2)：表やグラフを使用したレポート
- 第10回 プレゼンテーションの技法(1)：レジュメの作り方
- 第11回 プレゼンテーションの技法(2)：パワーポイントの作成方法
- 第12回 プレゼンテーションの作成(1)：グループに分かれ発表資料の作成
- 第13回 プレゼンテーションの作成(2)：グループに分かれ発表資料の作成
- 第14回 プレゼンテーションの発表(1)
- 第15回 プレゼンテーションの発表(2)

評価

毎回の授業時の課題(40%)、プレゼンテーション(60%)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

学習技術研究会『知へのステップ 改訂版』くろしお出版

科目名	新入生セミナー		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学習の仕方(スタディ・スキルズ)を学び、大学での学業生活をより豊かに過ごせるようにすることを目的にしている。また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを高めていくこともねらいとしている。

科目の概要

高校までは、どちらかという受動的で「教わること」が多かったが、大学では自分で学習し、自分から求める「自立型の学習」を求められる。本授業では、高校での学びから大学での学びにスムーズに移行できるように、知的活動への動機づけを高め、レポートや口頭でのプレゼンテーション及びディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしている。

学修目標

グループでの作業を通じて、コミュニケーション能力を高め、かつプレゼンテーションの能力を高めていくことを目標としている。

内容

1	Webによる履修登録と学内のシステム利用
2	ワークショップ：グループディスカッション
3	卒業後の目標設定(キャリアセンターによる授業)
4	心と体の健康管理(健康管理センターによる授業)
5	情報を収集する(1)(図書館によるガイダンス)
6	情報を収集する(2)インターネットによる情報収集、リストの作成
7	スタディ・スキルズとは：ノート・テイキング、リーディング
8	アカデミック・ライティング(1)レポートの作成、脚注、参考文献など
9	アカデミック・ライティング(2)表やグラフを使用したレポート
10	プレゼンテーションの技法(1)：レジュメの作り方
11	プレゼンテーションの技法(2)：パワーポイントの作成方法
12	プレゼンテーションの作成(1)：グループに分かれ発表資料の作成
13	プレゼンテーションの作成(2)：グループに分かれ発表資料の作成
14	プレゼンテーションの発表(1)
15	プレゼンテーションの発表(2)

評価

毎回の授業時の課題(40%)、プレゼンテーション(60%)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	新入生セミナー		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Eクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

本科目は次の3つのテーマから大学での学びに入るための橋渡しをすることを目的とする。

1つめは、現在の自分の状況を把握したうえで将来なりたい自分について自らの言葉で表現し、他者に伝えることを通じて、自己を再発見し、将来のキャリア形成の土台をつくること、すなわち、スチューデント・ソシアルスキルを身につけることである。

2つめは、情報を収集する、読み解く、分析する、論理的な文章で他者に伝えるという技術、すなわち、2年次以降の専門科目で必要となってくるスタディスキルを身につけることである。当然のことながらこの2つの側面は相互に関連し、融合し合いながら、コミュニケーション能力と自ら探求する「能動型の学習姿勢」を高めていくことになる。

最後のテーマは「健康管理と就業意欲」4年間を心身共に健康に成長するために何が必要なのか、また卒業後のライフプラン・キャリアビジョンを考えるきっかけを提供する。

内容

1 . Student social skills

履修指導 (4クラス)

Active learning コミュニケーション基礎 (1クラス)

Active learning グループワーク基礎

Active learning プレゼンテーション

レポート1

学習計画 (4クラス)

2 . Study skills

情報を理解する (4クラス)

情報を収集する

情報を整理する

情報を分析する

情報をまとめる

情報を発信する

レポート2

レポート提出準備 (1クラス)

3 . 健康管理・就職意欲

キャリア講座 (1クラス)

健康管理：健康管理センター (1クラス)

レポート3

まとめ (4クラス)

評価

3回のレポート（全部で100点満点）を課し、60点以上を合格とする。

課題レポートは、授業時に提出を求める。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

初年次教育テキスト編集委員会 『フレッシュマンセミナー・テキスト - 大学新入生のための学び方ワークブック』 東京電機大学出版局 2010年？

科目名	新入生セミナー		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Fクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

本科目は次の2つの側面から大学での学びに入るための橋渡しをすることを目的とする。1つめは、現在の自分の状況を把握したうえで将来なりたい自分について自らの言葉で表現し、他者に伝えることを通して、自己を再発見し、将来のキャリア形成の土台を作ること、すなわち、スチューデント・ソシアルスキルを身につけることである。2つめは、情報を収集する、読み解く、分析する、論理的な文章で他者に伝えるという技術、すなわち、2年次以降の専門科目で必要となってくるスタディスキルを身につけることである。当然のことながら、この2つの側面は相互に関連し、融合し合いながら、コミュニケーション能力と自ら探究する「能動型の学習姿勢」を高めていくことになる。

内容

1	履修指導
2	アクティブ・ラーニング(1): コミュニケーション能力の基礎
3	アクティブ・ラーニング(2): グループワーク
4	アクティブ・ラーニング(3): プレゼンテーション
5	学習計画
6	情報を理解する
7	情報を収集する
8	情報を整理する
9	情報を分析する
10	情報をまとめる
11	情報を発信する
12	レポート提出準備
13	キャリアを意識する
14	健康管理
15	まとめ

評価

レポート(全部で100点満点)を課し、60点以上を合格とする。

課題レポートは、授業時に提出を求める。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

初年次教育テキスト編集委員会 『フレッシュマンセミナー・テキスト - 大学新入生のための学び方ワークブック』 東京電機大学出版局 2010年

科目名	基礎英語		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Mクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、2レベル（初級・上級）のうちの上級クラスです。昨年度の基礎英語Ⅰの単位が取れなかった学生は昨年度のクラスレベルにしたがって、登録するクラスを選んでください。さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力と短文が書ける力に加え、短文を聞き取る力を養成します。

基礎英語Ⅰでは、入学時のプレースメントテストにより2レベルクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この上級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力に加えて短文を聞き取る力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます（順不同）。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

1	動詞・リーディング
2	名詞・リーディング
3	冠詞・代名詞・リーディング
4	1～3のまとめとリーディング
5	形容詞・リーディング
6	be動詞・リーディング
7	副詞・リーディング
8	5～6のまとめとリーディング
9	句と節・リーディング
10	助動詞・リーディング
11	9～10のまとめとリーディング
12	時制・リーディング
13	進行形・リーディング
14	12～13のまとめとリーディング
15	まとめ

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 期末試験： 60%
- (2) 平常点： 40% （単語テスト（毎週）、小テスト、予習、課題提出）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

（上級クラス）藤井哲郎(2007), First Things First, MacMillan Languagehouse, 1890円.

+ リーディング用プリントは別途授業内で配布します

科目名	基礎英語		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Kクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、2レベル（初級・上級）のうちの初級クラスです。昨年度の基礎英語Ⅰの単位が取れなかった学生は昨年度のクラスレベルにしたがって、登録するクラスを選んでください。さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

基礎英語Ⅰでは、入学時のプレースメントテストにより2レベルクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この初級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をなど、以下のような基本的文法事項を確認していきます。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。2回の授業で教科書の1ユニットをしあげていきます。

1	Unit 1	be動詞（平叙文・否定文・疑問文）
2	Unit 1	読み物 Yu Darvishより名詞・冠詞・代名詞などの確認
3	Unit 2	一般動詞[1]（平叙文・否定文・疑問文）
4	Unit 2	読み物 Yuichiro Miuraより副詞professionallyなどの確認
5	Unit 3	一般動詞[2]（不規則動詞・wh疑問文）
6	Unit 3	読み物 Ryo Ishikawaより形容詞popularなどの確認
7	Unit 4	助動詞
8	Unit 4	読み物 Keisuke Honda
9	Unit 5	未来の表現
10	Unit 5	読み物 Aiko Uemura
11	Unit 6	完了形
12	Unit 6	読み物 Antonio Inoki
13	Unit 7	分詞
14	まとめ	
15	Unit 7	読み物 Shingo Kunieda

評価

以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 期末試験： 60%
- (2) 平常点： 40% （単語テスト（毎週）、小テスト、予習、課題提出）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

[教科書] 英語教育研究会著・2011年版_English Learning with Athletes_ [トップアスリートと学ぶ基礎英語]・開文社
[参考図書、辞典等] 授業で適宜紹介します。

科目名	基礎英語		
担当教員名	佐藤 里野		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、2レベル（初級・上級）のうちの初級クラスです。昨年度の基礎英語Ⅰの単位が取れなかった学生は昨年度のクラスレベルにしたがって、登録するクラスを選んでください。さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力と短文が書ける力に加え、短文を聞き取る力を養成します。

基礎英語Ⅰでは、入学時のプレイメントテストにより2レベルクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この初級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力に加えて短文を聞き取る力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法を確認していきます（順不同）。

1. 文の基本要素
2. be動詞（平叙文・否定文・疑問文）
3. 一般動詞（平叙文・否定文・疑問文）
4. wh疑問文
5. 名詞・冠詞
6. 代名詞
7. 進行形（平叙文・否定文・疑問文）
8. 助動詞
9. 形容詞・副詞
10. 比較
11. 命令文
12. 接続詞
13. 関係代名詞
14. 接続詞

また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

上記にあげた文法項目を、指定の教科書のユニットに沿って、次のスケジュールで学習します。

第1週 Introduction 第2週～第3週 Choosing Subjects

第4週～第5週 Talking with Classmates 第6週 A Chinese Friend

第7週～第8週 Studying Harder 第9週～第10週 Writing Essayis Here Is Very Different

第11週～第12週 Harvard? Chicago? 第13週～第14週 I Began to write My Essay 第15週 まとめ

評価

評価 以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 期末試験： 60%
- (2) 平常点： 40%（単語テスト（毎週）、小テスト、予習、課題提出）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

（生活情報初級クラス）

【教科書】溝口健二 他著 『ステップアップ！基本英語』 開文社

【参考図書・辞書等】 授業で適宜紹介します。

科目名	基礎英語		
担当教員名	宮崎 順子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、2レベル（初級・上級）のうちの初級クラスです。昨年度の基礎英語Iの単位が取れなかった学生は昨年度のクラスレベルに従って、登録するクラスを選んでください。さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

基礎英語Iでは、入学時のプレースメントテストにより2レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この初級クラスでは、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます。また、語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

1	授業説明・自己紹介 [文の基本要素]
2	家族/ペット [名詞/冠詞]
3	家族/ペット [be動詞/一般動詞（平叙文, 否定文, 疑問文）]
4	趣味 [主語 + 動詞 + ~]
5	大学生生活 [代名詞（1）]
6	食べ物 [wh疑問文]
7	コンサート [How+形容詞/副詞 ~ ?]
8	道案内 [助動詞（can, may, must）]
9	日本文化紹介 [助動詞（would, could, should）]
10	ジェスチャー [前置詞]
11	観光案内 [過去形, 現在形, 未来形]
12	航空券をNetでGet [現在進行形（平叙文, 否定文, 疑問文）]
13	E-mailを送る [練習問題]
14	前期の復習
15	まとめ

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 期末試験： 60%

(2) 平常点： 40%（単語テスト(毎週)、小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】JACETリスニング研究会 『Forerunner To Power-Up English-総合英語
パワーアップ<入門編>リスニングからリーディング-』南雲堂

【参考図書・辞典等】授業で適宜紹介します。

科目名	基礎英語		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Cクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、2レベル（初級・上級）のうちの上級クラスです。昨年度の基礎英語Ⅰの単位が取れなかった学生は昨年度のクラスレベルにしたがって、登録するクラスを選んでください。さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

この科目は英語発信・受信するばあいに必要となる英語の構造知識（文法・語法）を整理、復習します。さらに同時に、英語の総合力のために語彙力、読解力に加え、英文を書く力と聴き取る力を養成します。

基礎英語Ⅰでは、入学時のプレイメントテストにより2レベルクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この上級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力に加えて短文を聞き取る力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

1. Introduction（導入説明）
2. Body Language（動詞：be動詞と一般動詞）
3. Non-verbal communication（疑問文）
4. Psychiatry Stand（名詞や冠詞）
5. Social Status（代名詞）
6. Social Group（進行形）
7. Sense of Belonging（助動詞）
8. Music Lover（形容詞と副詞）
9. Personal and Group Identity（比較）
10. Security Blanket（不定詞、分詞、動名詞）
11. Sense of Security（命令）
12. Grabby Lucy（受動態）
13. Culture and Humor（完了表現）
14. Law and Social Harmony（前置詞や接続詞）
15. まとめ

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 前期試験： 60%
- (2) 平常点： 40%（単語テスト（毎週）、小テスト、予習、課題提出）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

十文字学園女子大学用プリント（森田勝之、授業中に配布）

科目名	基礎英語		
担当教員名	島村 豊博		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Lクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、2レベル（初級・上級）のうちの初級クラスです。昨年度の基礎英語Ⅰの単位が取れなかった学生は昨年度のクラスレベルにしたがって、登録するクラスを選んでください。さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力と短文が書ける力を養成します。

基礎英語Ⅰでは、入学時のプレースメントテストにより2レベルクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この初級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます（順不同）。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

- ・文の基本要素
- ・be動詞（平叙文・否定文・疑問文）
- ・一般動詞（平叙文・否定文・疑問文）
- ・wh疑問文
- ・名詞・冠詞
- ・代名詞
- ・進行形（平叙文・否定文・疑問文）
- ・助動詞
- ・形容詞・副詞
- ・比較
- ・不定詞
- ・分詞
- ・動名詞
- ・命令文
- ・受動態
- ・完了形
- ・関係代名詞
- ・疑問文
- ・前置詞
- ・接続詞

評価

評価 以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 期末試験： 60%

(2) 平常点： 40% (単語テスト(毎週)、小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキスト 藤田直也他 A New Approach to Understanding English Grammar (クラスで読む英文法) 朝日出版 1800円

参考書、辞典等 授業で適宜紹介します。

科目名	基礎英語		
担当教員名	榊原 理枝子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

(1)科目の性格

この科目は、2010年度以前に入学し、社会情報学部の必修科目である基礎英語IIを再履修する学生さんのためのものです。(2010年度以前入学生の必修科目であった基礎英語II,IVは、聴く、話す能力を重点的に強化することを目標としていました。同じく必修科目の基礎英語I,IIIは読む、書く能力に力点を置いたもので、基礎英語IからIVを履修することによって英語の4技能を身に付けることができるようになっていました。)

(2)科目の概要・学修目標

この授業は、リスニング、スピーキング力を重点的に強化することを目標として、LL教室を使って行います。日常生活で必要な程度の基本的なリスニング、スピーキング能力の養成を目指します。

内容

第1週・・・オリエンテーション

第2週～第13週

自己紹介、簡単な挨拶から始め、友達を誘うなど交際に必要な表現、苦情を言ったり、謝罪したりといったよく使う表現などを学び、日常会話に必要なリスニング、スピーキングの能力を養成します。そのためには語彙力、文法力も不可欠です。教科書には、毎日の生活で実際に使えそうな語句、表現がたくさん出てきますし、自習用CDも付いています。授業に真剣に取り組み、継続的に予習、復習を行ってください。

それから、毎回、リスニング、語彙を中心とする小テストを行います。この小テストとは、授業にきちんと取り組み、予習復習をしていればできる基本的なものです。学習を習慣付け、理解度を確認し、学習の指針を立てるためです。

第14週・第15週・・・まとめ・総復習

定期試験の返却、解説もします。今後の学習の方向性を立てるのに役立ててください。

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 前期試験： 60%

(2) 平常点： 40% （毎週行うリスニング、語彙の小テスト、そのほか小テスト、予習復習、課題提出）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

（教科書）吉富『Communication Builder: Revised Edition』（南雲堂）（自習用CD付き、税別2100円）（フジショップ扱い）その他プリント。

科目名	基礎英語		
担当教員名	佐藤 里野		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2,3,4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、2レベル（初級・上級）のうちの初級クラスです。昨年度の基礎英語Ⅰの単位が取れなかった学生は昨年度のクラスレベルにしたがって、登録するクラスを選んでください。さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力と短文が書ける力に加え、短文を聞き取る力を養成します。

基礎英語Ⅰでは、入学時のプレイメントテストにより2レベルクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この初級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力に加えて短文を聞き取る力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法を確認していきます（順不同）。

1. 文の基本要素 2. be動詞（平叙文・否定文・疑問文） 3. 一般動詞（平叙文・否定文・疑問文）
4. wh疑問文 5. 名詞・冠詞 6. 代名詞 7. 進行形（平叙文・否定文・疑問文） 8. 助動詞
9. 形容詞・副詞 10. 比較 11. 命令文 12. 接続詞 13. 関係代名詞 14. 接続詞

また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

上記にあげた文法項目を、指定の教科書のユニットに沿って、次のスケジュールで学習します。

- 第1週～第2週 Writing an Essay was Hard Work 第3週～第4週 At Last
I Finished Writing My Essay. But... 第5週 Kris Wanted to
Listen to Japanese Music 第6週～第7週 Oh, No! I'm Homesick
ness 第8週 I'd Gotten Over My Homesickness Quickly 第9週～1
0週 Understanding a Culture 第11週 To Gain Some Understanding of a Different Culture
第12週～第13週 See the Culture with Unclouded Eyes 第14週 We Are Just Different
第15週 まとめ

評価

評価 以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 期末試験： 60%

(2) 平常点： 40% (単語テスト(毎週)、小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

(生活情報初級クラス)

【教科書】溝口健二 他著 『ステップアップ!基本英語』 開文社

【参考図書・辞書等】 授業で適宜紹介します。

科目名	基礎英語		
担当教員名	宮崎 順子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、2レベル（初級・中級）のうちの初級クラスです。昨年度の基礎英語IIIの単位を取れなかった学生は昨年度のクラスレベルに従って、登録するクラスを選んでください。さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

基礎英語IIIでは、入学時のプレースメントテストにより2レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標としたうえで、この初級クラスでは、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます。また、語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

1	機内で	[代名詞（2）]
2	空港で	[接続詞]
3	ホテル	[不定詞]
4	レストランで	[形容詞]
5	ショッピング	[頻度を表す副詞]
6	ベースボール	[比較級]
7	ミュージカル観賞	[現在完了]
8	旅行案内	[受動態（1）]
9	トラブルシューティング	[受動態（2）]
10	体調不良	[分詞]
11	電話での申し込み	[動名詞]
12	さよなら、アメリカ！	[練習問題]
13	[関係代名詞]	
14	後期の復習	
15	まとめ	

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 期末試験： 60%

(2) 平常点： 40%（単語（毎週）テスト、小テスト、予習、課題提出）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】JACETリスニング研究会『Forerunner to Power-Up English-総合英語
パワーアップ<入門編>リスニングからリーディング-』南雲堂

【参考図書・辞典等】授業で適宜紹介します。

科目名	基礎英語		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、2レベル（初級・上級）のうちの上級クラスです。昨年度の基礎英語Ⅰの単位が取れなかった学生は昨年度のクラスレベルにしたがって、登録するクラスを選んでください。さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

この科目は英語発信・受信するばあいに必要となる英語の構造知識（文法・語法）を整理、復習します。さらに同時に、英語の総合力のために語彙力、読解力に加え、英文を書く力と聴き取る力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

1. Introduction（導入説明）
2. Happy Anniversary Lunch（動詞：be動詞と一般動詞の復習）
3. Moral: Money is as slippery（疑問文の復習）
4. Learning in School（名詞や冠詞の復習）
5. The Sacred Cows（代名詞の復習）
6. A Stutter Writes to a Former teacher（進行形の復習）
7. Professors Learn to Read（助動詞の復習）
8. The Class Management（形容詞と副詞の復習）
9. For June Graduates（比較の復習）
10. The Sudden Handicap（不定詞、分詞、動名詞の復習）
11. The Bandit Had Brown Hair（命令の復習）
12. Cues for the Common Cold（受動態の復習）
13. Inflation Hits the Campuses（完了表現の復習）
14. Who? Me?（前置詞や接続詞の復習）
15. まとめ

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 後期試験： 60%
- (2) 平常点： 40%（単語テスト（毎週）、小テスト、予習、課題提出）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

十文字学園女子大学用プリント（森田勝之、授業中に配布）

科目名	基礎英語		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Mクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、2レベル（初級・上級）のうちの上級クラスです。昨年度の基礎英語IIIの単位が取れなかった学生は昨年度のクラスレベルにしたがって、登録するクラスを選んでください。さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力と短文が書ける力に加え、短文を聞き取る力を養成します。

基礎英語IIIでは、入学時のプレースメントテストにより2レベルクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この上級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力に加えて短文を聞き取る力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます（順不同）。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

1	完了形・リーディング
2	前置詞・リーディング
3	不定詞と動名詞・リーディング
4	1～3のまとめとリーディング
5	接続詞・リーディング
6	関係詞・リーディング
7	単文・重文・複文・リーディング
8	5～6のまとめとリーディング
9	知覚動詞・使役動詞・リーディング
10	受動態と能動態・リーディング
11	9～10のまとめとリーディング
12	条件と仮定・リーディング
13	分詞構文・強調構文・倒置構文・リーディング
14	12～13のまとめとリーディング
15	まとめ

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 期末試験： 60%
- (2) 平常点： 40% （単語テスト（毎週）、小テスト、予習、課題提出）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

（上級クラス）藤井哲郎(2007), First Things First, MacMillan Languagehouse, 1890円.

+ リーディング用プリントは別途授業内で配布します

科目名	基礎英語		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Kクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、2レベル（初級・上級）のうちの初級クラスです。昨年度の基礎英語IIIの単位が取れなかった学生は昨年度のクラスレベルにしたがって、登録するクラスを選んでください。さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

基礎英語Iでは、入学時のプレースメントテストにより2レベルクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この初級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をなど、以下のような基本的文法事項を確認していきます。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。2回の授業で教科書の1ユニットをしあげていきます。

1	Unit 8	不定詞
2	Unit 8	読み物 Mao Asada
3	Unit 9	動名詞
4	Unit 9	読み物 Megumi Kurihara
5	Unit 10	文の基本要素（5文型）
6	Unit 10	読み物 Kousuke Kitajima
7	Unit 11	受動態・進行形（平叙文・否定文・疑問文）
8	Unit 11	読み物 Kuhei Uchimuraより受動態と進行形の確認、また、進行形の多い文章の補足
9	Unit 12	比較
10	Unit 12	読み物 Miwa Asao
11	Unit 13	前置詞・接続詞
12	Unit 13	読み物 Hakuho
13	Unit 14	関係詞
14	まとめ	
15	Unit 14	読み物 Ichiro Suzuki

評価

以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 期末試験： 60%
- (2) 平常点： 40% （単語テスト（毎週）、小テスト、予習、課題提出）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

[教科書] 英語教育研究会著・2011年版_English Learning with Athletes_ [トップアスリートと学ぶ基礎英語]・開文社
[参考図書、辞典等] 授業で適宜紹介します。

科目名	基礎英語		
担当教員名	島村 豊博		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Lクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、2レベル（初級・上級）のうちの初級クラスです。昨年度の基礎英語Ⅰの単位が取れなかった学生は昨年度のクラスレベルにしたがって、登録するクラスを選んでください。さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力と短文が書ける力を養成します。

基礎英語Ⅰでは、入学時のプレースメントテストにより2レベルクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この初級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます（順不同）。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

- ・ 文の基本要素
- ・ be動詞（平叙文・否定文・疑問文）
- ・ 一般動詞（平叙文・否定文・疑問文）
- ・ wh疑問文
- ・ 名詞・冠詞
- ・ 代名詞
- ・ 進行形（平叙文・否定文・疑問文）
- ・ 助動詞
- ・ 形容詞・副詞
- ・ 比較
- ・ 不定詞
- ・ 分詞
- ・ 動名詞
- ・ 命令文
- ・ 受動態
- ・ 完了形
- ・ 関係代名詞
- ・ 疑問文
- ・ 前置詞
- ・ 接続詞

評価

評価 以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 期末試験： 60%

(2) 平常点： 40% (単語テスト(毎週)、小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキスト 藤田直也他 A New Approach to Understanding English Grammar (クラスで読む英文法) 朝日出版 1800円

参考書、辞典等 授業で適宜紹介します。

科目名	基礎英語		
担当教員名	榊原 理枝子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

(1)科目の性格

この科目は、2010年度以前に入学し、社会情報学部の必修科目である基礎英語IVを再履修する学生さんのためのものです。(2010年度以前入学生の必修科目であった基礎英語II,IVは、聴く、話す能力を重点的に強化することを目標としていました。同じく必修科目の基礎英語I,IIIは読む、書く能力に力点を置いたもので、基礎英語IからIVを履修することによって英語の4技能を身に付けることができるようになっていました。)

(2)科目の概要・学修目標

この授業は、リスニング、スピーキング力を重点的に強化することを目標として、LL教室を使って行います。日常生活で必要な程度の基本的なリスニング、スピーキング能力の養成を目指します

内容

第1週・・・オリエンテーション

第2週～第13週

前期開講科目基礎英語IIでの学習をさらに進め、リスニング、スピーキングの力を伸ばし、情報を得るときに必要な表現や、広告の英語表現、比較する際の表現なども使いこなせるようになってもらいます。そのためには語彙力、文法力も不可欠です。教科書には毎日の生活で実際に使えるような語句、表現がたくさん出てきますし、自習用CDも付いています。授業に真剣に取り組み、継続的に予習、復習を行ってください。

それから、毎回、リスニング、語彙を中心とする小テストを行います。この小テストとは、所要時間10分から15分で、授業にきちんと取り組み、予習復習をしていればできる基本的なものです。学習を習慣付け、理解度を確認し、学習の指針を立てるためです。

第14週・第15週・・・まとめ・総復習

定期試験の返却、解説もします。今後の学習の方向性を立てるのに役立ててください。

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 後期試験： 60%

(2) 平常点： 40% （毎週行うリスニング、語彙の小テスト、そのほか小テスト、予習復習、課題提出）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

(教科書) 吉富 『Communication Builder: Revised Edition』(南雲堂)(自習用CD付き、税別2100円)(フジショップ扱い) その他プリント。

科目名	ホームステイの英語		
担当教員名	リンダ ハウズマン		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

To develop speaking skills, students need to be exposed to English and use English as much as possible. The overall objective of this course is to provide students with plenty of opportunities to listen and speak in English. Students' development of listening and speaking skills will be guided and lead by interesting and relevant topics related to experiences they may encounter while at a homestay program.

内容

In order to maximize their learning opportunities, active participation is essential. Students will participate in pair work and group work discussions, roleplays, and whole class activities. Practical and enjoyable lessons will be presented in natural language and give students the language skills they need to communicate effectively in English in a variety of situations. Weekly schedule will be given on the first day.

評価

Performance in the class(15%): Anyone missing more than 4 classes will be given an F grade.

Effort and Participation (25%):

Skits and roleplays (30%):

Homework (15%):

Quizzes and Final Test(15%):

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Handouts will be given in the class

科目名	初級英会話		
担当教員名	アンソニー ルファ		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

To develop speaking skills, students need to be exposed to English and use English as, much as possible. The overall aim of this course is to provide students with plenty of opportunities to listen to and to speak in English. At this level, students' development of listening skills and conversational language will be guided and lead by interesting and relevant topics.

内容

In order to maximize their learning opportunities, active participation is essential. Students will participate in pair work and group work discussion, roleplays, and whole class activities. Students will be introduced to key language through enjoyable cartoons and will be guided through pronunciation, speaking, listening, reading, and writing exercises.

1	1 Favourite Names: Names and greetings
2	2 A Barbecue with Friends: Food and Occupations
3	3 Family Photos: Family and interests
4	4 That ' s My Lucky Number: Phone numbers, addresses, and numbers
5	5 It ' s a Small World: Countries and Colors
6	6 Do You Like This Shirt: Clothing and prices
7	7 Review
8	8 We ' re Late: Time and days of the week
9	9 Happy Birthday: Age and birthday parties
10	10 Let ' s Do Something This Weekend: Weekend activities, seasons, and weather
11	11 Come on! Hurry Up: Basic commands and locations in a city
12	12 Let ' s Order a Pizza: Food, drinks, and menus
13	13 Welcome to San Francisco: Cities around the world
14	14 Review
15	15 Review

評価

Performance in the class (15%): Anyone missing more than 4 classes will be given an F grade.

Effort and Participation (25%): Active participation in class is essential.

Skits and roleplays (30%): Students express their creativity and what they have learned.

Homework (15%): Minor homework assignments will be given through the course.

Quizzes and Final Test(15%): Quizzes will be given through the course as well as a final test.

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

Fuller and Kiggell, Advantage Get Ready, Macmillan Languagehouse 2004, ISBN: 4-89585-521-X

科目名	TOEIC準備講座		
担当教員名	宮崎 順子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、英語能力試験の一つであるTOEICテスト受験のための、準備クラスです。

文法、読解、リスニングを総合的に学習して、実用的な英語運用能力を強化し、TOEICテストに対応できる力を養成します。

テストで、400点以上のスコア取得を目指します。

内容

各課ごとに、まず英語の基本的な文法事項を確認してから、TOEICテスト形式のリーディングとリスニングの練習問題に取り組み、ポイントとなる点に解説を加えていきます。また、知識の定着を図るために、2~3週ごとに、文法と語彙に関する小テストを実施します。授業には積極的に参加し、予習・復習を行うようにしてください。

1	At an Airport 「基本文型」
2	At a Hotel 「名詞の修飾」
3	On the Street [文と文の接続]
4	At a Restaurant 「知覚動詞」と「使役動詞」
5	Shopping 「助動詞」
6	At a Bank 「その他の助動詞」と「助動詞+完了形」
7	Taking a Trip 「時制」
8	Seeing the Doctor 「現在完了」
9	Renting an Apartment 「前置詞」
10	Sports 「to 不定詞」
11	Job Hunting 「仮定法過去」
12	Talking on the Phone 「仮定法過去完了」
13	Appointments 「受動態」
14	Giving a Presentation 「動名詞」と「分詞構文」
15	まとめ

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 期末試験： 60%

(2) 平常点： 40% (授業への参加度・小テスト・課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】松岡昇著『Kick Off for the TOEIC Test<新・基礎から始めるTOEICテスト対策教本-リスニング・リーディング演習>』金星堂

【参考図書・辞典等】授業で適宜紹介します。

科目名	TOEFL準備講座		
担当教員名	藤野 紀男		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

TOEFLは1964年に英語を母国語としない人々の英語力を測るすとしてアメリカで開発されて以来、客観的かつ正確な、世界で最も優れた英語力テストとして認められてきました。言い換えれば、アメリカ人が考えている英語コミュニケーションの基本をテストする試験であるわけです。

そのテストの過去問題を再構成したものがTOEFL・ITPでグローバル・スタンダードなテストとして広く利用されていて、そのTOEFL・ITP受験対策、ひいてはTOEFL受験の準備のために用意されているのがこの科目なのです。

とはいえ、英語コミュニケーション能力を伸ばすためには、基礎的な文法知識を当然の土台として、日常英語の背景にある文化的知識を身につけながらリスニング・コンプリヘンション(聴解力)を向上させることが肝要なのです。それでこそ総合的な英語運用能力が養成されることになるわけです。

そういったことを考慮に入れながら授業を進めていきます。

内容

次のような内容で15回の授業を進めていくつもりです。

1. オリエンテーション 英語コミュニケーションの基本、英語力に関する日米観の認識の差、各種英語能力テスト、TOEFLへの準備
2. 第一段階
 1. リスニング
 2. ストラクチャー
 3. リーディング
3. 第二段階
 1. リスニング
 2. ストラクチャー
 3. リーディング
4. プロGRESS・テスト1
5. 第三段階
 1. リスニング
 2. ストラクチャー
 3. リーディング
6. 第四段階
 1. リスニング
 2. ストラクチャー
 3. リーディング
7. プロGRESS・テスト2

とにかく、きちんと授業に出席して、精一杯授業についてくれば、十分に力がつくはずですよ。

評価

次の割合によって総合的に評価するつもりです。

平常点(出席)を30%と試験を70%(ミニテストが20%でプロGRESS・テストが50%)。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

M. Mann, M. Shishido and S. Taylor-Knowles "Boost Your English 1"

科目名	英検準備講座 A		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は共通科目の外国語科目の中の選択科目です。

英検準2級の合格に必要な英語力をつけることをねらっています。英検の受験対策だけでなく、企業が必要としている程度の英語力をつけるステップとすることも目指しています。

主に、リスニング、語法、リーディングの3種類の力を過不足無く習得します。問題に登場した英単語は全てマスターできるように、復習が必要です。

内容

過去問を含めて英検の全形式を扱っている教科書を毎回1レッスンずつ進めます。英検準2級1次試験の問題形式は次のようになっており、2回の授業で筆記試験の全形式に当たることができます。

筆記 (1) 語彙力問題(短文の語句空所補充20問)

読解力問題((2) 会話文の文空所補充8問、(4) 長文の語句空所補充2形式計5問、(5) 長文の内容一致選択2形式計7問)

(3) 作文力問題(短文中の語句整序5問)

聴解(第1部会話の応答文選択10問、第2部会話の内容一致選択10問、第3部文の内容一致選択10問)

- 第1回: Lesson 1 筆記(1)、(2)、(5A)、聴解第1部
- 第2回: Lesson 2 筆記(1)、(3)、(4 A)、聴解第2部
- 第3回: Lesson 3 筆記(1)、(2)、(5B)、聴解第1部
- 第4回: Lesson 4 筆記(1)、(3)、(4B)、聴解第3部
- 第5回: Lesson 5 筆記(1)、(2)、(5A)、聴解第2部
- 第6回: Lesson 6 筆記(1)、(3)、(5B)、聴解第1部
- 第7回: Lesson 7 筆記(1)、(2)、(4A)、聴解第3部
- 第8回: Lesson 8 筆記(1)、(3)、(5A)、聴解第2部
- 第9回: Lesson 9 筆記(1)、(2)、(5B)、聴解第1部
- 第10回: Lesson 10 筆記(1)、(3)、(4B)、聴解第3部
- 第11回: Lesson 11 筆記(1)、(2)、(5A)、聴解第2部
- 第12回: Lesson 12 筆記(1)、(3)、(5B)、聴解第3部
- 第13回: 巻末実戦問題(リスニングテスト付)
- 第14回: 2次試験面接テスト
- 第15回: まとめ

評価

以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。

(1) 期末試験： 60%

(2) 平常点： 40% （予習、復習、課題提出）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

[教科書] 坂部俊行, 岡島徳昭, William Noel著・_Eiken Pre 2: Sure to Succeed_ [英検準2級合格への道]・南雲堂

[参考図書、辞典等] 授業で適宜紹介します。

科目名	英検準備講座 B		
担当教員名	宮崎 順子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、実用英語技能検定(英検)2級受験のための、準備クラスです。

英検一次試験に重点をおいて、語彙・イディオム・長文読解・リスニングなどの練習問題を解いていきます。

2級レベルに必要とされる語彙力・読解力・聴解力を身につけ、合格を目指します。

内容

実際の英検の出題形式に沿って、以下(~)のような問題演習を行いながら、ポイントとなる点を取り上げて解説していきます。

短文の語句空所補充 短文中の語句整序 長文の語句空所補充 長文の内容一致選択 リスニング

また、必要に応じて、基本的な文法事項の確認も行っていきます。

知識の定着を図るために、2~3週ごとに、文法と語彙に関する小テストを実施します。

授業には積極的に参加し、予習・復習を行うようにしてください。

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1)前期・後期試験： 60%

(2)平常点： 40%(授業への参加度・小テスト・課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】坂部俊行・岡島徳昭・ウィリアム ノエル『英検2級 合格への道』南雲堂

【参考図書・辞典等】授業で適宜紹介します。

科目名	イギリス文化研究		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語） / 英語		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、共通科目の外国語科目の選択科目で、夏期休暇中の集中講義として開講されます。

イギリスの提携校イースト・アングリア大学(The University of East Anglia)で約2週間の英語研修を受講するとともに、一家庭一名のホームステイによって、イギリスの生活と文化をじかに体験します。

現地到着時に行われるプレイスメントテストの結果により、各自の習熟度にあったクラスで、本学以外の様々な国の学生とともに双方向の授業に参加し、英語コミュニケーション能力を伸ばします。また、ステイ先の人々と英語でコミュニケーションをとらなければならない状況に身を置いて英語に浸ります。

内容

- 英語研修：午前中3時間、英会話だけでなく、プレゼンテーションなどのプロダクション活動を含めた授業が行われます。その他イースト・アングリア大学が企画する市内の課外活動や、日帰りの小旅行（イギリス王室の別荘の大邸宅への旅行）などが予定されています。これらの活動を通して英語力を伸ばします。
- 文化体験：イースト・アングリア大学は創立1963年、学生数14,000人以上、留学生は2,000人以上です。同大学のあるノリッジ市は、ロンドンから列車で2時間ほど行った北東に位置し、ノーフォク(Norfolk)の中心都市（人口12万人以上）です。ノリッジは歴史的な建物が数多く存在し、街の散策が大変興味深い古都です。また、近隣の地域は保養地としても有名です。
- 研修期間：8月上旬から9月上旬の間の約3週間での実施を予定しています。期間中にはロンドンでの観光や自由行動も含まれています。
- 宿泊先：ホームステイ先は、イースト・アングリア大学が選んだ家庭の中から、アンケートへの参加学生の回答などに基づいてマッチングを行います。
- 引率者：本学の教職員が担当します。

評価

イースト・アングリア大学の担当教員による成績を60点、ホームステイ先での日常の努力などに関する引率教員の評価を40点として、合計60点以上を合格とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

イースト・アングリア大学から提供されます。

科目名	アメリカ文化研究		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は諸外国（アメリカ、カナダ、イギリス等）の歴史、言語、文化の研究を通して異文化に触れ、より深く理解し、留学や研修で必要かつ十分な理解を得ようとするものです。

内容

23年度はアメリカ文化を多面的に捉えます。

1. 導入
2. アメリカの歴史：背景
3. アメリカの歴史：人物
4. アメリカの歴史：他の国との関係
5. アメリカの言語：歴史
6. アメリカの言語：変化
7. アメリカの言語：他の言語との関係
8. アメリカの文化：建築や芸術
9. アメリカの文化：文学
10. アメリカの文化：他の文化との関係
11. アメリカの地理：背景
12. アメリカの経済
13. アメリカと国際社会との関係
14. アメリカのまとめ 1
15. アメリカのまとめ 2

評価

平常点、リアクションペーパー、レポートによる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業開始時に説明：プリント

科目名	初級フランス語		
担当教員名	大原 知子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

フランス語の入門クラスです。基礎からきちんと学習します。とりわけ文法とそのときどきに必要な最低限度の単語は常時口頭で小テストをしながら獲得できるようにします。平行して、フランス文化の紹介として、フランスやパリを背景としたビデオを鑑賞し、挨拶や自己紹介など、簡単な会話ができるようにします。ここでは現在形まで学びます。辞書は必ず持って出席してください。復習として仏検5級の問題も扱いますので、皆さんも、ぜひ受験してみてください。

内容

- 【第1回】alphabet/つづり字記号、フランス語の音、テスト用基本単語のプリント配布
- 【第2回】あいさつと自己紹介 文法 動詞?treとavoir/職業など
- 【第3回】「何が好き？」第一群規則動詞 名詞の性と数/ 最近のフランス
- 【第4回】「何が好き？」否定文の作り方 不定冠詞と定冠詞 フランスの地理
- 【第5回】「紹介・家族は？ 家は？」 動詞「venir」 否定文
- 【第6回】「紹介・家族は？ 家は？」 形容詞の性と数/疑問文/所有形容詞
- 【第7回】「何をする？ どこに行く？」動詞aller/faire 指示形容詞/前置詞と定冠詞の縮約形/フランスの文化1
- 【第8回】「何をする？ どこに行く？」疑問詞/人称代名詞の強勢形/近接未来と近接過去 不規則動詞 aller/venir/faire/prendre の応用
- 【第9回】「どんな授業が好き？」疑問形容詞/比較級/命令法
- 【第10回】「カフェで」部分冠詞/非人称表現；天気、月・数(序数) フランスの文化2
- 【第11回】「何時に待ち合わせ？」 疑問形容詞/人称代名詞(間接目的補語)、最上級、/ 暦
- 【第12回】「何時に待ち合わせ？」 代名動詞、疑問形容詞、il fautの表現
- 【第13回】「誕生日おめでとう」vouloir/pouvoir/devoir(欲求・可能・義務を示す動詞)
- 【第14回】「誕生日おめでとう」不規則変化の動詞/フランスの社会問題
- 【第15回】復習とまとめ

評価

単語テスト3割(何度受けてもよい)、筆記試験7割、60点以上を合格とする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書 改訂版「トーム・アン」 フランソワ・ルーセル/丸川誠司著、第三書房

科目名	初級フランス語		
担当教員名	大原 知子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

フランス語の入門クラスです。基礎からきちんと学習します。とりわけ文法とそのときどきに必要な最低限度の単語は常時口頭で小テストをしながら獲得できるようにします。平行して、フランス文化の紹介として、フランスやパリを背景としたビデオを鑑賞し、挨拶や自己紹介など、簡単な会話ができるようにします。ここでは現在形まで学びます。辞書は必ず持って出席してください。復習として仏検5級の問題も扱いますので、皆さんも、ぜひ受験してみてください。

内容

- 【第1回】alphabet/つづり字記号、フランス語の音、テスト用基本単語のプリント配布
- 【第2回】あいさつと自己紹介 文法 動詞?treとavoir/職業など
- 【第3回】「何が好き？」第一群規則動詞 名詞の性と数/ 最近のフランス
- 【第4回】「何が好き？」否定文の作り方 不定冠詞と定冠詞 フランスの地理
- 【第5回】「紹介・家族は？ 家は？」 動詞「venir」 否定文
- 【第6回】「紹介・家族は？ 家は？」 形容詞の性と数/疑問文/所有形容詞
- 【第7回】「何をする？ どこに行く？」動詞aller/faire 指示形容詞/前置詞と定冠詞の縮約形/フランスの文化1
- 【第8回】「何をする？ どこに行く？」疑問詞/人称代名詞の強勢形/近接未来と近接過去 不規則動詞 aller/venir/faire/prendre の応用
- 【第9回】「どんな授業が好き？」疑問形容詞/比較級/命令法
- 【第10回】「カフェで」部分冠詞/非人称表現；天気、月・数(序数)フランスの文化2
- 【第11回】「何時に待ち合わせ？」 疑問形容詞/人称代名詞(間接目的補語)、最上級、/暦
- 【第12回】「何時に待ち合わせ？」 代名動詞、疑問形容詞、il fautの表現
- 【第13回】「誕生日おめでとう」vouloir/pouvoir/devoir(欲求・可能・義務を示す動詞)
- 【第14回】「誕生日おめでとう」不規則変化の動詞/フランスの社会問題
- 【第15回】復習とまとめ

評価

単語テスト(口頭で行い、何度も受けられる)三割+筆記テスト七割 60点以上を合格とする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書 「改訂版トーム・アン」 フランソワ・ルーセル/丸川誠司著 第三書房

科目名	初級フランス語		
担当教員名	大原 知子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

フランス語の入門クラスです。基礎からきちんと学習します。とりわけ文法とそのときどきに必要な最低限度の単語は常時口頭で小テストをしながら獲得できるようにします。平行して、フランス文化の紹介として、フランスやパリを背景としたビデオを鑑賞し、挨拶や自己紹介など、簡単な会話ができるようにします。ここでは現在形まで学びます。辞書は必ず持って出席してください。復習として仏検5級の問題も扱いますので、皆さんも、ぜひ受験してみてください。

内容

- 【第1回】alphabet/つづり字記号、フランス語の音、テスト用基本単語のプリント配布
- 【第2回】あいさつと自己紹介 文法 動詞?treとavoir/職業など
- 【第3回】「何が好き？」第一群規則動詞 名詞の性と数/ 最近のフランス
- 【第4回】「何が好き？」否定文の作り方 不定冠詞と定冠詞 フランスの地理
- 【第5回】「紹介・家族は？ 家は？」 動詞「venir」 否定文
- 【第6回】「紹介・家族は？ 家は？」 形容詞の性と数/疑問文/所有形容詞
- 【第7回】「何をする？ どこに行く？」動詞aller/faire 指示形容詞/前置詞と定冠詞の縮約形/フランスの文化1
- 【第8回】「何をする？ どこに行く？」疑問詞/人称代名詞の強勢形/近接未来と近接過去 不規則動詞 aller/venir/faire/prendre の応用
- 【第9回】「どんな授業が好き？」疑問形容詞/比較級/命令法
- 【第10回】「カフェで」部分冠詞/非人称表現；天気、月・数(序数)フランスの文化2
- 【第11回】「何時に待ち合わせ？」 疑問形容詞/人称代名詞(間接目的補語)、最上級、/暦
- 【第12回】「何時に待ち合わせ？」 代名動詞、疑問形容詞、il fautの表現
- 【第13回】「誕生日おめでとう」vouloir/pouvoir/devoir(欲求・可能・義務を示す動詞)
- 【第14回】「誕生日おめでとう」不規則変化の動詞/フランスの社会問題
- 【第15回】復習とまとめ

評価

単語テスト(口頭で行い、何度も受けられる)三割+筆記テスト七割 60点以上を合格とする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書 「改訂版トーム・アン」 フランソワ・ルーセル/丸川誠司著 第三書房

科目名	初級フランス語		
担当教員名	大原 知子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

ここではフランス語の会話とフランス文化を中心に学びます。フランスの若者の学校生活を背景にしたビデオを通して、初級フランス語Ⅰで身に付けた会話表現を増やしていきます。会話や文法の学習が容易になるよう、数字、建物、天候や時間の表現に必要な単語を項目ごとに暗記し、口頭テストとします。この口頭テストは失敗しても何度も受けられ、全体の成績の30%となります。またテーマの節目に、ビデオや映画鑑賞も含めて、パリやフランスの歴史と芸術を学習します。文法はフランス詩などを通して、過去形を学びます。復習として仏検5級、4級の問題も扱いますので、皆さんも、ぜひ受験してみてください。

内容

- 【第1回】「昨日何をした？」過去時制1) 複合過去1(avoir+過去分詞) / フランスの社会問題1 / パリの街(芸術散歩)
- 【第2回】「昨日何をした？」過去時制1) 複合過去2(?tre+過去分詞) 洋服屋で
- 【第3回】複合過去時制の応用 Jacques Pr?vertの詩
- 【第4回】「君が好き」補語人称代名詞(直接目的語と間接目的語)
- 【第5回】「病院で」(過去時制2) 半過去時制 / 関係代名詞 / 中性代名詞1)en
- 【第6回】「食事に呼ばれる」強調構文 / 受動態 / internet用語 / 中性代名詞2) y
- 【第7回】「何になりたい？」単純未来 / 観光 「フランスの芸術」(音楽・美術)
- 【第8回】「何になりたい？」ジェロンディフ(～しながら)
- 【第9回】「パリの観光」ノートルダム寺院とセーヌ川 / 感嘆文
- 【第10回】日本語表現からフランス語表現へ「もののけ姫」の鑑賞を通して
- 【第11回】日本語表現からフランス語表現へ「もののけ姫」の鑑賞を通して
- 【第12回】後期の復習 Jacques Pr?vertの詩を通して
- 【第13回】平易なフランス文を読む(教科書から)
- 【第14回】フランス映画「アメリー」からよく使う表現を学ぶ
- 【第15回】後期のまとめとフランス語の叙法について(直説法・条件法・接続法など)

評価

評価 単語テスト3割、筆記テスト7割 60点以上を合格とする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書 「改訂版トーム・アン」 フランソワ・ルーセル/丸川誠司著 第三書房

科目名	初級フランス語		
担当教員名	大原 知子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

ここではフランス語の会話とフランス文化を中心に学びます。フランスの若者の学校生活を背景にしたビデオを通して、初級フランス語Ⅰで身に付けた会話表現を増やしていきます。会話や文法の学習が容易になるよう、数字、建物、天候や時間の表現に必要な単語を項目ごとに暗記し、口頭テストとします。この口頭テストは失敗しても何度も受けられ、全体の成績の30%となります。またテーマの節目に、ビデオや映画鑑賞も含めて、パリやフランスの歴史と芸術を学習します。文法はフランス詩などを通して、過去形を学びます。復習として仏検5級、4級の問題も扱いますので、皆さんも、ぜひ受験してみてください。

内容

- 【第1回】「昨日何をした？」過去時制1) 複合過去1(avoir+過去分詞) / フランスの社会問題1 / パリの街(芸術散歩)
- 【第2回】「昨日何をした？」過去時制1) 複合過去2(?tre+過去分詞) 洋服屋で
- 【第3回】複合過去時制の応用 Jacques Pr?vertの詩
- 【第4回】「君が好き」補語人称代名詞(直接目的語と間接目的語)
- 【第5回】「病院で」(過去時制2) 半過去時制 / 関係代名詞 / 中性代名詞1)en
- 【第6回】「食事に呼ばれる」強調構文 / 受動態 / internet用語 / 中性代名詞2) y
- 【第7回】「何になりたい？」単純未来 / 観光 「フランスの芸術」(音楽・美術)
- 【第8回】「何になりたい？」ジェロンディフ(～しながら)
- 【第9回】「パリの観光」ノートルダム寺院とセーヌ川 / 感嘆文
- 【第10回】日本語表現からフランス語表現へ「もののけ姫」の鑑賞を通して
- 【第11回】日本語表現からフランス語表現へ「もののけ姫」の鑑賞を通して
- 【第12回】後期の復習 Jacques Pr?vertの詩を通して
- 【第13回】平易なフランス文を読む(教科書から)
- 【第14回】フランス映画「アメリー」からよく使う表現を学ぶ
- 【第15回】後期のまとめとフランス語の叙法について(直説法・条件法・接続法など)

評価

評価 単語テスト3割、筆記テスト7割 60点以上を合格とする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書 「改訂版トーム・アン」 フランソワ・ルーセル/丸川誠司著 第三書房

科目名	初級フランス語		
担当教員名	大原 知子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

ここではフランス語の会話とフランス文化を中心に学びます。フランスの若者の学校生活を背景にしたビデオを通して、初級フランス語Ⅰで身に付けた会話表現を増やしていきます。会話や文法の学習が容易になるよう、数字、建物、天候や時間の表現に必要な単語を項目ごとに暗記し、口頭テストとします。この口頭テストは失敗しても何度も受けられ、全体の成績の30%となります。またテーマの節目に、ビデオや映画鑑賞も含めて、パリやフランスの歴史と芸術を学習します。文法はフランス詩などを通して、過去形を学びます。復習として仏検5級、4級の問題も扱いますので、皆さんも、ぜひ受験してみてください。

内容

- 【第1回】「昨日何をした？」過去時制1) 複合過去1(avoir+過去分詞) / フランスの社会問題1 / パリの街(芸術散歩)
- 【第2回】「昨日何をした？」過去時制1) 複合過去2(?tre+過去分詞) 洋服屋で
- 【第3回】複合過去時制の応用 Jacques Pr?vertの詩
- 【第4回】「君が好き」補語人称代名詞(直接目的語と間接目的語)
- 【第5回】「病院で」(過去時制2) 半過去時制 / 関係代名詞 / 中性代名詞1)en
- 【第6回】「食事に呼ばれる」強調構文 / 受動態 / internet用語 / 中性代名詞2) y
- 【第7回】「何になりたい？」単純未来 / 観光 「フランスの芸術」(音楽・美術)
- 【第8回】「何になりたい？」ジェロンディフ(～しながら)
- 【第9回】「パリの観光」ノートルダム寺院とセーヌ川 / 感嘆文
- 【第10回】日本語表現からフランス語表現へ「もののけ姫」の鑑賞を通して
- 【第11回】日本語表現からフランス語表現へ「もののけ姫」の鑑賞を通して
- 【第12回】後期の復習 Jacques Pr?vertの詩を通して
- 【第13回】平易なフランス文を読む(教科書から)
- 【第14回】フランス映画「アメリ」からよく使う表現を学ぶ
- 【第15回】後期のまとめとフランス語の叙法について(直説法・条件法・接続法など)

評価

評価 単語テスト3割、筆記テスト7割 60点以上を合格とする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書 「改訂版トーム・アン」 フランソワ・ルーセル/丸川誠司著 第三書房

科目名	初級スペイン語		
担当教員名	アンソニー ルファ		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

Spanish is one of the most important languages in the world. It now rivals English and Chinese in importance. Twenty-one countries claim it as the mother tongue. The aim of this class is to enable students to communicate by speaking and writing the language as well to develop a reading proficiency.

内容

Students concentrate on the four skills of reading, writing, listening, and speaking Spanish.

Week 1-3 Introduction to the language/pronunciation/rules for accentuation/cultural information

Week 4-6 Beginning expressions/rudiments of verb conjugations/ser vs. estar

Week 7-9 Verbs-tener, hacer, querer/weather expressions

Week 10-12 Introduction to adverbs, adjectives, and pronouns

Week 13-15 Review, presentations

評価

Students are evaluated during each class by means of oral participation (40%), quizzes (20%), and tests and/or presentations (40%)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Various handouts are used along with supplementary texts

科目名	初級スペイン語		
担当教員名	アンソニー ルファ		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

Spanish is one of the most important languages in the world. It now rivals English and Chinese in importance. Twenty-one countries claim it as the mother tongue. The aim of this class is to enable students to communicate by speaking and writing the language as well to develop a reading proficiency.

内容

Students concentrate on the four skills of reading, writing, listening, and speaking Spanish.

Week 1-3 Introduction to the language/pronunciation/rules for accentuation/cultural information

Week 4-6 Beginning expressions/rudiments of verb conjugations/ser vs. estar

Week 7-9 Verbs-tener, hacer, querer/weather expressions

Week 10-12 Introduction to adverbs, adjectives, and pronouns

Week 13-15 Review, presentations

評価

Students are evaluated during each class by means of oral participation (40%), quizzes (20%), and tests and/or presentations (40%)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Various handouts are used along with supplementary texts

科目名	初級スペイン語		
担当教員名	アンソニー ルファ		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

Spanish is one of the most important languages in the world. It now rivals English and Chinese in importance. Twenty-one countries claim it as the mother tongue. The aim of this class is to enable students to communicate by speaking and writing the language as well to develop a reading proficiency.

内容

Students concentrate on the four skills of reading, writing, listening, and speaking Spanish.

Week 1-3 Introduction to the language/pronunciation/rules for accentuation/cultural information

Week 4-6 Beginning expressions/rudiments of verb conjugations/ser vs. estar

Week 7-9 Verbs-tener, hacer, querer/weather expressions

Week 10-12 Introduction to adverbs, adjectives, and pronouns

Week 13-15 Review, presentations

評価

Students are evaluated during each class by means of oral participation (40%), quizzes (20%), and tests and/or presentations (40%)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Various handouts are used along with supplementary texts

科目名	初級スペイン語		
担当教員名	アンソニー ルファ		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

Since Spanish is important in the world, it is important to continue studying about the language and culture. Students further develop skills needed for fluency. Speaking and listening are emphasized while students continue basic readings.

内容

Students concentrate on the four skills but emphasize is placed on speaking and listening.

Week One-Review of the first semester

Week Two-Review and introduction to some basic idioms

Week Three to Four- Lecture on Spanish speaking celebrities and important contributors such as Frida Kahlo

Week Five to Eight- Study of the geography, culture, and personalities of Spain.

Week Nine to Twelve-Further study of grammatical constructions such as commands, subjunctive

Week Thirteen to Fifteen-To be determined according to class progress and teacher's choice

評価

Students are evaluation on class performance and participation (50%), quizzes (30%), and a final test and/or project (20%).

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Class handouts, supplementary texts, and workbooks will be used

科目名	初級スペイン語		
担当教員名	アンソニー ルファ		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

Since Spanish is important in the world, it is important to continue studying about the language and culture. Students further develop skills needed for fluency. Speaking and listening are emphasized while students continue basic readings.

内容

Students concentrate on the four skills but emphasize is placed on speaking and listening.

Week One-Review of the first semester

Week Two-Review and introduction to some basic idioms

Week Three to Four- Lecture on Spanish speaking celebrities and important contributors such as Frida Kahlo

Week Five to Eight- Study of the geography, culture, and personalities of Spain.

Week Nine to Twelve-Further study of grammatical constructions such as commands, subjunctive

Week Thirteen to Fifteen-To be determined according to class progress and teacher's choice

評価

Students are evaluation on class performance and participation (50%), quizzes (30%), and a final test and/or project (20%).

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Class handouts, supplementary texts, and workbooks will be used

科目名	初級スペイン語		
担当教員名	アンソニー ルファ		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

Since Spanish is important in the world, it is important to continue studying about the language and culture. Students further develop skills needed for fluency. Speaking and listening are emphasized while students continue basic readings.

内容

Students concentrate on the four skills but emphasize is placed on speaking and listening.

Week One-Review of the first semester

Week Two-Review and introduction to some basic idioms

Week Three to Four- Lecture on Spanish speaking celebrities and important contributors such as Frida Kahlo

Week Five to Eight- Study of the geography, culture, and personalities of Spain.

Week Nine to Twelve-Further study of grammatical constructions such as commands, subjunctive

Week Thirteen to Fifteen-To be determined according to class progress and teacher's choice

評価

Students are evaluation on class performance and participation (50%), quizzes (30%), and a final test and/or project (20%).

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Class handouts, supplementary texts, and workbooks will be used

科目名	初級中国語		
担当教員名	池間 里代子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

中国語の特徴・発音・基本文法を学びます。言葉の学習だけではなく、背景にある歴史や文化も映像資料などによって紹介します。今後ますます重要度を増す「中国語」の基本を作っていきます。

科目の概要

毎回正しい発音が身についているかをチェックします。読む・聴く・話す・書くのバランスを取りながら、少しずつ積み重ねていきます。しかし、授業ではどうしても発音と文法理解に時間をかけますから、聴く力は積極的に時間を作ってCDを聴くようにしましょう。

学修目標

中国語の基本的な力を身につけることを目標にします。

1. 正しく発音できること
2. 学んだ範囲の事を聴いて理解できること
3. 文法が理解できて文章が翻訳できること
4. 簡単な自己紹介ができること。

これらを身につけることで、中国語検定試験にチャレンジする素地がととのうのです。楽しく頑張りましょう。

内容

1	ガイダンス・中国語概説
2	発音概説
3	第1課 人称・「是」構文
4	第2課 疑問文・副詞
5	第3課 動詞文・助詞
6	中国の文化
7	第4課 量詞・形容詞文
8	第5課 完了・助動詞
9	第6課 数字関連
10	検定試験について
11	リーディング・リスニング
12	ライティング・スピーキング
13	総括
14	確認作業
15	まとめ

評価

小テスト3回(30点)と授業態度(20点)を平常点とし、試験(50点)の点数を足して評価を行ない、60点以上を合格とします。合格点に満たなかった場合は「再試験」を行ないます。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】『中国語はじめの一步』尹景春・竹島毅 白水社

【参考書】『中国語検定4級合格への手引き』池間里代子他 南雲堂フェニックス

科目名	初級中国語		
担当教員名	池間 里代子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

中国語の特徴・発音・基本文法を学びます。言葉の学習だけではなく、背景にある歴史や文化も映像資料などによって紹介します。今後ますます重要度を増す「中国語」の基本を作っていきます。

科目の概要

毎回正しい発音が身についているかをチェックします。読む・聴く・話す・書くのバランスを取りながら、少しずつ積み重ねていきます。しかし、授業ではどうしても発音と文法理解に時間をかけますから、聴く力は積極的に時間を作ってCDを聴くようにしましょう。

学修目標

中国語の基本的な力を身につけることを目標にします。

1. 正しく発音できること
2. 学んだ範囲の事を聴いて理解できること
3. 文法が理解できて文章が翻訳できること
4. 簡単な自己紹介ができること。

これらを身につけることで、中国語検定試験にチャレンジする素地がととのうのです。楽しく頑張りましょう。

内容

1	ガイダンス・中国語概説
2	発音概説
3	第1課 人称・「是」構文
4	第2課 疑問文・副詞
5	第3課 動詞文・助詞
6	中国の文化
7	第4課 量詞・形容詞文
8	第5課 完了・助動詞
9	第6課 数字関連
10	検定試験について
11	リーディング・リスニング
12	ライティング・スピーキング
13	総括
14	確認作業
15	まとめ

評価

小テスト3回(30点)と授業態度(20点)を平常点とし、試験(50点)の点数を足して評価を行ない、60点以上を合格とします。合格点に満たなかった場合は「再試験」を行ないます。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】『中国語はじめの一步』尹景春・竹島毅 白水社

【参考書】『中国語検定4級合格への手引き』池間里代子他 南雲堂フェニックス

科目名	初級中国語		
担当教員名	池間 里代子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

中国語の特徴・発音・基本文法を学びます。言葉の学習だけではなく、背景にある歴史や文化も映像資料などによって紹介します。今後ますます重要度を増す「中国語」の基本を作っていきます。

科目の概要

毎回正しい発音が身についているかをチェックします。読む・聴く・話す・書くのバランスを取りながら、少しずつ積み重ねていきます。しかし、授業ではどうしても発音と文法理解に時間をかけますから、聴く力は積極的に時間を作ってCDを聴くようにしましょう。

学修目標

中国語の基本的な力を身につけることを目標にします。

1. 正しく発音できること
2. 学んだ範囲の事を聴いて理解できること
3. 文法が理解できて文章が翻訳できること
4. 簡単な自己紹介ができること。

これらを身につけることで、中国語検定試験にチャレンジする素地がととのうのです。楽しく頑張りましょう。

内容

1	ガイダンス・中国語概説
2	発音概説
3	第1課 人称・「是」構文
4	第2課 疑問文・副詞
5	第3課 動詞文・助詞
6	中国の文化
7	第4課 量詞・形容詞文
8	第5課 完了・助動詞
9	第6課 数字関連
10	検定試験について
11	リーディング・リスニング
12	ライティング・スピーキング
13	総括
14	確認作業
15	まとめ

評価

小テスト3回(30点)と授業態度(20点)を平常点とし、試験(50点)の点数を足して評価を行ない、60点以上を合格とします。合格点に満たなかった場合は「再試験」を行ないます。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】『中国語はじめの一步』尹景春・竹島毅 白水社

【参考書】『中国語検定4級合格への手引き』池間里代子他 南雲堂フェニックス

科目名	初級中国語		
担当教員名	池間 里代子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

前期で学んだ中国語の発音・基礎文法をふまえて、中国語を通して中国が理解できるよう、学んでいきます。テキストにある「コラム」を発端として、日本との相違を意識します。

科目の概要

授業では正しい発音を常にチェックします。また、より高度な文法を学びます。さらに、語彙を増やして自分の言いたいことを「中国語で言える」「中国語で書ける」よう、練習を積み重ねます。

学修目標

1. テキストを正しい発音で読めること
2. 練習問題が完璧にできること
3. やや長い文章を聴いて理解できること
4. 言いたいことを言え、かつ書けること

さらに、希望する学生には中国語検定試験準4級・4級の情報を与えますので、ぜひともチャレンジしてみましょう。

内容

1	前期内容の復習
2	第7課 前置詞・反復疑問文
3	第8課 助動詞・前置詞
4	第9課 アスペクト助詞・前置詞
5	リーディング・リスニング
6	第10課 助動詞・重ね型
7	第11課 進行形・選択疑問文
8	第12課 比較表現
9	ライティング・リスニング
10	第13課 二重目的語・助詞
11	「自己紹介」・スピーキング
12	中国語検定試験過去問題解説
13	総括
14	確認作業
15	まとめ

評価

小テスト(30点)と授業態度(20点)、さらに試験(50点)を加えて評価を行ない、60点以上を合格とします。合格点に満たなかった場合は「再試験」を行ないます。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】『中国語はじめの一步』尹景春・竹島毅 白水社

【参考書】『中国語検定4級合格への手引き』池間里代子 他 南雲堂フェニックス

その他、プリント・検定試験過去問題などを配布します。

科目名	初級中国語		
担当教員名	池間 里代子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

前期で学んだ中国語の発音・基礎文法をふまえて、中国語を通して中国が理解できるよう、学んでいきます。テキストにある「コラム」を発端として、日本との相違を意識します。

科目の概要

授業では正しい発音を常にチェックします。また、より高度な文法を学びます。さらに、語彙を増やして自分の言いたいことを「中国語で言える」「中国語で書ける」よう、練習を積み重ねます。

学修目標

1. テキストを正しい発音で読めること
2. 練習問題が完璧にできること
3. やや長い文章を聴いて理解できること
4. 言いたいことを言え、かつ書けること

さらに、希望する学生には中国語検定試験準4級・4級の情報を与えますので、ぜひともチャレンジしてみましょう。

内容

1	前期内容の復習
2	第7課 前置詞・反復疑問文
3	第8課 助動詞・前置詞
4	第9課 アスペクト助詞・前置詞
5	リーディング・リスニング
6	第10課 助動詞・重ね型
7	第11課 進行形・選択疑問文
8	第12課 比較表現
9	ライティング・リスニング
10	第13課 二重目的語・助詞
11	「自己紹介」・スピーキング
12	中国語検定試験過去問題解説
13	総括
14	確認作業
15	まとめ

評価

小テスト(30点)と授業態度(20点)、さらに試験(50点)を加えて評価を行ない、60点以上を合格とします。合格点に満たなかった場合は「再試験」を行ないます。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】『中国語はじめの一步』尹景春・竹島毅 白水社

【参考書】『中国語検定4級合格への手引き』池間里代子 他 南雲堂フェニックス

その他、プリント・検定試験過去問題などを配布します。

科目名	初級中国語		
担当教員名	池間 里代子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

前期で学んだ中国語の発音・基礎文法をふまえて、中国語を通して中国が理解できるよう、学んでいきます。テキストにある「コラム」を発端として、日本との相違を意識します。

科目の概要

授業では正しい発音を常にチェックします。また、より高度な文法を学びます。さらに、語彙を増やして自分の言いたいことを「中国語で言える」「中国語で書ける」よう、練習を積み重ねます。

学修目標

1. テキストを正しい発音で読めること
2. 練習問題が完璧にできること
3. やや長い文章を聴いて理解できること
4. 言いたいことを言え、かつ書けること

さらに、希望する学生には中国語検定試験準4級・4級の情報を与えますので、ぜひともチャレンジしてみましょう。

内容

1	前期内容の復習
2	第7課 前置詞・反復疑問文
3	第8課 助動詞・前置詞
4	第9課 アスペクト助詞・前置詞
5	リーディング・リスニング
6	第10課 助動詞・重ね型
7	第11課 進行形・選択疑問文
8	第12課 比較表現
9	ライティング・リスニング
10	第13課 二重目的語・助詞
11	「自己紹介」・スピーキング
12	中国語検定試験過去問題解説
13	総括
14	確認作業
15	まとめ

評価

小テスト(30点)と授業態度(20点)、さらに試験(50点)を加えて評価を行ない、60点以上を合格とします。合格点に満たなかった場合は「再試験」を行ないます。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】『中国語はじめの一步』尹景春・竹島毅 白水社

【参考書】『中国語検定4級合格への手引き』池間里代子 他 南雲堂フェニックス

その他、プリント・検定試験過去問題などを配布します。

科目名	日本語		
担当教員名	小田 明子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

留学生(1年次学生)を対象とする日本語の授業である。

この授業では日本語の4技能(読む・書く・話す・聞く)を総合的に高めることを目指す。

科目の概要

プレースメントテストの結果を見て必要な日本語教材を用意する。授業では特に1)語彙を増やす2)表現文型を習得する3)読解力をつける4)自分の考えを表現する力をつける ことに力をおいて進め、専門科目の授業が受講できるような日本語運用力をつける。

学修目標

この授業を修了するには以下のことに留意する必要がある。

- 1) あらかじめ教材を読んで、分からない語彙の意味を調べてくる
- 2) 積極的に授業に参加し、わからない箇所は授業中に解決するように努める。
- 3) 授業で勉強したことが定着するように復習し、実際に使ってみる
- 4) 宿題は平常点に含まれるので必ず提出する

*平常点には小テスト、提出物、授業態度などが含まれる

内容

授業内容は次のように読解から文法練習、書く練習までを1ユニットとして2~3コマで1ユニットを終了する予定である。

1. 「読む」

さまざまな書物からの抜粋を読む。各方面の話題を取り上げ、基本的な語彙を増やし、背景知識、問題点について理解できるようにする。また、指示語の理解、接続の表現などを取り上げながら精読していく。

2. 「文法」

N1, N2程度の文法項目を取り上げ解説する。いろいろな使い方があるものについては、その文章の中でどのような意味で使われているかなど詳しく見ていく。重要なものは短文作成なども適宜行う。

3. 「聞く」

学習した文法項目を使ったりリスニング練習を行う。さまざまな場面での実際の会話に近い発話を聞いて、聞き取る力をつける。

4. 「話す」

その課で学んだ文法項目を使ったミニ会話練習を行う。

5. 「タスク」

その課の内容に関する話題を扱い、まとまった発話を聞いて答えたり、ディスカッション、ロールプレイングなどを行う。

6. 「書く」

その課で扱った分野やテーマに関して自分の考えたことをまとめて書く練習をする。

評価

平常点（30点）、試験（70点）により評価を行い、60点以上を合格とする。評価を受けるには三分の二以上の出席が必要である。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】第1回目の教場で指示する。

【参考図書】どんな時どう使う日本語表現文型500：中上級 / 友松悦子ほか著 / アルク

教師と学習者のための日本語文型辞典 / くるしお出版

科目名	日本語		
担当教員名	前田 庸子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

留学生(1年次学生)を対象とする日本語の授業である。

この授業では日本語の4技能(読む・書く・話す・聞く)を総合的に高めることを目指す。

科目の概要

プレースメントテストの結果を見て必要な日本語教材を用意する。授業では特に1)語彙を増やす2)表現文型を習得する3)読解力をつける4)自分の考えを表現する力をつける ことに力をおいて進め、専門科目の授業が受講できるような日本語運用力をつける。

学修目標

この授業を修了するには以下のことに留意する必要がある。

- 1) あらかじめ教材を読んで、分からない語彙の意味を調べてくる
- 2) 積極的に授業に参加し、わからない箇所は授業中に解決するように努める。
- 3) 授業で勉強したことが定着するように復習し、実際に使ってみる
- 4) 宿題は平常点に含まれるので必ず提出する

*平常点には小テスト、提出物、授業態度などが含まれる

内容

授業内容は次のように読解から文法練習、書く練習までを1ユニットとして2~3コマで1ユニットを終了する予定である。

1. 「読む」

さまざまな書物からの抜粋を読む。各方面の話題を取り上げ、基本的な語彙を増やし、背景知識、問題点について理解できるようにする。また、指示語の理解、接続の表現などを取り上げながら精読していく。

2. 「文法」

N1, N2程度の文法項目を取り上げ解説する。いろいろな使い方があるものについては、その文章の中でどのような意味で使われているかなど詳しく見ていく。重要なものは短文作成なども適宜行う。

3. 「聞く」

学習した文法項目を使ったりリスニング練習を行う。さまざまな場面での実際の会話に近い発話を聞いて、聞き取る力をつける。

4. 「話す」

その課で学んだ文法項目を使ったミニ会話練習を行う。

5. 「タスク」

その課の内容に関する話題を扱い、まとまった発話を聞いて答えたり、ディスカッション、ロールプレイングなどを行う。

6. 「書く」

その課で扱った分野やテーマに関して自分の考えたことをまとめて書く練習をする。

評価

平常点（30点）、試験（70点）により評価を行い、60点以上を合格とする。評価を受けるには三分の二以上の出席が必要である。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】第1回目の教場で指示する。

【参考図書】どんな時どう使う日本語表現文型500：中上級 / 友松悦子ほか著 / アルク

教師と学習者のための日本語文型辞典 / くるしお出版

科目名	日本語		
担当教員名	小笠原 典子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

留学生(1年次学生)を対象とする日本語の授業である。

この授業では日本語の4技能(読む・書く・話す・聞く)を総合的に高めることを目指す。

科目の概要

プレースメントテストの結果を見て必要な日本語教材を用意する。授業では特に1)語彙を増やす2)表現文型を習得する3)読解力をつける4)自分の考えを表現する力をつける ことに力をおいて進め、専門科目の授業が受講できるような日本語運用力をつける。

学修目標

この授業を修了するには以下のことに留意する必要がある。

- 1) あらかじめ教材を読んで、分からない語彙の意味を調べてくる
- 2) 積極的に授業に参加し、わからない箇所は授業中に解決するように努める。
- 3) 授業で勉強したことが定着するように復習し、実際に使ってみる
- 4) 宿題は平常点に含まれるので必ず提出する

*平常点には小テスト、提出物、授業態度などが含まれる

内容

授業内容は次のように読解から文法練習、書く練習までを1ユニットとして2~3コマで1ユニットを終了する予定である。

1. 「読む」

さまざまな書物からの抜粋を読む。各方面の話題を取り上げ、基本的な語彙を増やし、背景知識、問題点について理解できるようにする。また、指示語の理解、接続の表現などを取り上げながら精読していく。

2. 「文法」

N1, N2程度の文法項目を取り上げ解説する。いろいろな使い方があるものについては、その文章の中でどのような意味で使われているかなど詳しく見ていく。重要なものは短文作成なども適宜行う。

3. 「聞く」

学習した文法項目を使ったりリスニング練習を行う。さまざまな場面での実際の会話に近い発話を聞いて、聞き取る力をつける。

4. 「話す」

その課で学んだ文法項目を使ったミニ会話練習を行う。

5. 「タスク」

その課の内容に関する話題を扱い、まとまった発話を聞いて答えたり、ディスカッション、ロールプレイングなどを行う。

6. 「書く」

その課で扱った分野やテーマに関して自分の考えたことをまとめて書く練習をする。

評価

平常点（30点）、試験（70点）により評価を行い、60点以上を合格とする。評価を受けるには三分の二以上の出席が必要である。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】第1回目の教場で指示する。

【参考図書】どんな時どう使う日本語表現文型500：中上級 / 友松悦子ほか著 / アルク

教師と学習者のための日本語文型辞典 / くるしお出版

科目名	日本語		
担当教員名	安恒 佳代子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

留学生(1年次学生)を対象とする日本語の授業である。

この授業では日本語の4技能(読む・書く・話す・聞く)を総合的に高めることを目指す。

科目の概要

プレースメントテストの結果を見て必要な日本語教材を用意する。授業では特に1)語彙を増やす2)表現文型を習得する3)読解力をつける4)自分の考えを表現する力をつける ことに力をおいて進め、専門科目の授業が受講できるような日本語運用力をつける。

学修目標

この授業を修了するには以下のことに留意する必要がある。

- 1) あらかじめ教材を読んで、分からない語彙の意味を調べてくる
- 2) 積極的に授業に参加し、わからない箇所は授業中に解決するように努める。
- 3) 授業で勉強したことが定着するように復習し、実際に使ってみる
- 4) 宿題は平常点に含まれるので必ず提出する

*平常点には小テスト、提出物、授業態度などが含まれる

内容

授業内容は次のように読解から文法練習、書く練習までを1ユニットとして2~3コマで1ユニットを終了する予定である。

1. 「読む」

さまざまな書物からの抜粋を読む。各方面の話題を取り上げ、基本的な語彙を増やし、背景知識、問題点について理解できるようにする。また、指示語の理解、接続の表現などを取り上げながら精読していく。

2. 「文法」

N1, N2程度の文法項目を取り上げ解説する。いろいろな使い方があるものについては、その文章の中でどのような意味で使われているかなど詳しく見ていく。重要なものは短文作成なども適宜行う。

3. 「聞く」

学習した文法項目を使ったりリスニング練習を行う。さまざまな場面での実際の会話に近い発話を聞いて、聞き取る力をつける。

4. 「話す」

その課で学んだ文法項目を使ったミニ会話練習を行う。

5. 「タスク」

その課の内容に関する話題を扱い、まとまった発話を聞いて答えたり、ディスカッション、ロールプレイングなどを行う。

6. 「書く」

その課で扱った分野やテーマに関して自分の考えたことをまとめて書く練習をする。

評価

平常点（30点）、試験（70点）により評価を行い、60点以上を合格とする。評価を受けるには三分の二以上の出席が必要である。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】第1回目の教場で指示する。

【参考図書】どんな時どう使う日本語表現文型500：中上級 / 友松悦子ほか著 / アルク
教師と学習者のための日本語文型辞典 / くるしお出版

科目名	日本語		
担当教員名	小田 明子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

留学生(1年次学生)を対象とする日本語の授業である。

この授業では前期の「日本語」を修得した上で、さらに日本語の4技能(読む・書く・話す・聞く)を総合的に高めることを目指す。

科目の概要

プレースメントテストの結果を見て必要な日本語教材を用意する。授業では特に 1) 語彙を増やす 2) 表現文型を習得する 3) 読解力をつける 4) 自分の考えを表現する力をつける ことに力をおいて進め、専門科目の授業が受講できるような日本語運用力をつける。

学修目標

この授業を修了するには以下のことに留意する必要がある。

- 1) あらかじめ教材を読んで、分からない語彙の意味を調べてくる
- 2) 積極的に授業に参加し、わからない箇所は授業中に解決するように努める。
- 3) 授業で勉強したことが定着するように復習し、実際に使ってみる
- 4) 宿題は平常点に含まれるので必ず提出する

*平常点には小テスト、提出物、授業態度などが含まれる

内容

授業内容は次のように読解から文法練習、書く練習までを1ユニットとして2~3コマで1ユニットを終了する予定である。

1. 「読む」

さまざまな書物からの抜粋を読む。各方面の話題を取り上げ、基本的な語彙を増やし、背景知識、問題点について理解できるようにする。また、指示語の理解、接続の表現などを取り上げながら精読していく。

2. 「文法」

N1, N2程度の文法項目を取り上げ解説する。いろいろな使い方があるものについては、その文章の中でどのような意味で使われているかなど詳しく見ていく。重要なものは短文作成なども適宜行う。

3. 「聞く」

学習した文法項目を使ったりリスニング練習を行う。さまざまな場面での実際の会話に近い発話を聞いて、聞き取る力をつける。

4. 「話す」

その課で学んだ文法項目を使ったミニ会話練習を行う。

5. 「タスク」

その課の内容に関する話題を扱い、まとまった発話を聞いて答えたり、ディスカッション、ロールプレイングなどを行う。

6. 「書く」

その課で扱った分野やテーマに関して自分の考えたことをまとめて書く練習をする。

評価

平常点（30点）、試験（70点）により評価を行い、60点以上を合格とする。評価を受けるには三分の二以上の出席が必要である。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】第1回目の教場で指示する。

【参考図書】どんな時どう使う日本語表現文型500：中上級 / 友松悦子ほか著 / アルク
教師と学習者のための日本語文型辞典 / くるしお出版

科目名	日本語		
担当教員名	前田 庸子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

留学生(1年次学生)を対象とする日本語の授業である。

この授業では前期の「日本語」を修得した上で、さらに日本語の4技能(読む・書く・話す・聞く)を総合的に高めることを目指す。

科目の概要

プレースメントテストの結果を見て必要な日本語教材を用意する。授業では特に 1) 語彙を増やす 2) 表現文型を習得する 3) 読解力をつける 4) 自分の考えを表現する力をつける ことに力をおいて進め、専門科目の授業が受講できるような日本語運用力をつける。

学修目標

この授業を修了するには以下のことに留意する必要がある。

- 1) あらかじめ教材を読んで、分からない語彙の意味を調べてくる
- 2) 積極的に授業に参加し、わからない箇所は授業中に解決するように努める。
- 3) 授業で勉強したことが定着するように復習し、実際に使ってみる
- 4) 宿題は平常点に含まれるので必ず提出する

*平常点には小テスト、提出物、授業態度などが含まれる

内容

授業内容は次のように読解から文法練習、書く練習までを1ユニットとして2~3コマで1ユニットを終了する予定である。

1. 「読む」

さまざまな書物からの抜粋を読む。各方面の話題を取り上げ、基本的な語彙を増やし、背景知識、問題点について理解できるようにする。また、指示語の理解、接続の表現などを取り上げながら精読していく。

2. 「文法」

N1, N2程度の文法項目を取り上げ解説する。いろいろな使い方があるものについては、その文章の中でどのような意味で使われているかなど詳しく見ていく。重要なものは短文作成なども適宜行う。

3. 「聞く」

学習した文法項目を使ったりリスニング練習を行う。さまざまな場面での実際の会話に近い発話を聞いて、聞き取る力をつける。

4. 「話す」

その課で学んだ文法項目を使ったミニ会話練習を行う。

5. 「タスク」

その課の内容に関する話題を扱い、まとまった発話を聞いて答えたり、ディスカッション、ロールプレイングなどを行う。

6. 「書く」

その課で扱った分野やテーマに関して自分の考えたことをまとめて書く練習をする。

評価

平常点（30点）、試験（70点）により評価を行い、60点以上を合格とする。評価を受けるには三分の二以上の出席が必要である。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】第1回目の教場で指示する。

【参考図書】どんな時どう使う日本語表現文型500：中上級 / 友松悦子ほか著 / アルク
教師と学習者のための日本語文型辞典 / くるしお出版

科目名	日本語		
担当教員名	小笠原 典子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

留学生(1年次学生)を対象とする日本語の授業である。

この授業では前期の「日本語」を修得した上で、さらに日本語の4技能(読む・書く・話す・聞く)を総合的に高めることを目指す。

科目の概要

プレースメントテストの結果を見て必要な日本語教材を用意する。授業では特に 1) 語彙を増やす 2) 表現文型を習得する 3) 読解力をつける 4) 自分の考えを表現する力をつける ことに力をおいて進め、専門科目の授業が受講できるような日本語運用力をつける。

学修目標

この授業を修了するには以下のことに留意する必要がある。

- 1) あらかじめ教材を読んで、分からない語彙の意味を調べてくる
- 2) 積極的に授業に参加し、わからない箇所は授業中に解決するように努める。
- 3) 授業で勉強したことが定着するように復習し、実際に使ってみる
- 4) 宿題は平常点に含まれるので必ず提出する

*平常点には小テスト、提出物、授業態度などが含まれる

内容

授業内容は次のように読解から文法練習、書く練習までを1ユニットとして2~3コマで1ユニットを終了する予定である。

1. 「読む」

さまざまな書物からの抜粋を読む。各方面の話題を取り上げ、基本的な語彙を増やし、背景知識、問題点について理解できるようにする。また、指示語の理解、接続の表現などを取り上げながら精読していく。

2. 「文法」

N1, N2程度の文法項目を取り上げ解説する。いろいろな使い方があるものについては、その文章の中でどのような意味で使われているかなど詳しく見ていく。重要なものは短文作成なども適宜行う。

3. 「聞く」

学習した文法項目を使ったりリスニング練習を行う。さまざまな場面での実際の会話に近い発話を聞いて、聞き取る力をつける。

4. 「話す」

その課で学んだ文法項目を使ったミニ会話練習を行う。

5. 「タスク」

その課の内容に関する話題を扱い、まとまった発話を聞いて答えたり、ディスカッション、ロールプレイングなどを行う。

6. 「書く」

その課で扱った分野やテーマに関して自分の考えたことをまとめて書く練習をする。

評価

平常点（30点）、試験（70点）により評価を行い、60点以上を合格とする。評価を受けるには三分の二以上の出席が必要である。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】第1回目の教場で指示する。

【参考図書】どんな時どう使う日本語表現文型500：中上級 / 友松悦子ほか著 / アルク
教師と学習者のための日本語文型辞典 / くるしお出版

科目名	日本語		
担当教員名	安恒 佳代子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

留学生(1年次学生)を対象とする日本語の授業である。

この授業では前期の「日本語」を修得した上で、さらに日本語の4技能(読む・書く・話す・聞く)を総合的に高めることを目指す。

科目の概要

プレースメントテストの結果を見て必要な日本語教材を用意する。授業では特に 1) 語彙を増やす 2) 表現文型を習得する 3) 読解力をつける 4) 自分の考えを表現する力をつける ことに力をおいて進め、専門科目の授業が受講できるような日本語運用力をつける。

学修目標

この授業を修了するには以下のことに留意する必要がある。

- 1) あらかじめ教材を読んで、分からない語彙の意味を調べてくる
- 2) 積極的に授業に参加し、わからない箇所は授業中に解決するように努める。
- 3) 授業で勉強したことが定着するように復習し、実際に使ってみる
- 4) 宿題は平常点に含まれるので必ず提出する

*平常点には小テスト、提出物、授業態度などが含まれる

内容

授業内容は次のように読解から文法練習、書く練習までを1ユニットとして2~3コマで1ユニットを終了する予定である。

1. 「読む」

さまざまな書物からの抜粋を読む。各方面の話題を取り上げ、基本的な語彙を増やし、背景知識、問題点について理解できるようにする。また、指示語の理解、接続の表現などを取り上げながら精読していく。

2. 「文法」

N1, N2程度の文法項目を取り上げ解説する。いろいろな使い方があるものについては、その文章の中でどのような意味で使われているかなど詳しく見ていく。重要なものは短文作成なども適宜行う。

3. 「聞く」

学習した文法項目を使ったりリスニング練習を行う。さまざまな場面での実際の会話に近い発話を聞いて、聞き取る力をつける。

4. 「話す」

その課で学んだ文法項目を使ったミニ会話練習を行う。

5. 「タスク」

その課の内容に関する話題を扱い、まとまった発話を聞いて答えたり、ディスカッション、ロールプレイングなどを行う。

6. 「書く」

その課で扱った分野やテーマに関して自分の考えたことをまとめて書く練習をする。

評価

平常点（30点）、試験（70点）により評価を行い、60点以上を合格とする。評価を受けるには三分の二以上の出席が必要である。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】第1回目の教場で指示する。

【参考図書】どんな時どう使う日本語表現文型500：中上級 / 友松悦子ほか著 / アルク
教師と学習者のための日本語文型辞典 / くらしお出版

科目名	日本語表現技術		
担当教員名	小笠原 典子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

留学生(1年次学生)のための日本語関連科目の中で、特に「書く」ことを中心に授業を進め、日本語力の向上を目指す科目です。

科目の概要

毎回、授業で取り上げるテーマ(助詞の問題・語順・文末の表現・ねじれの無い文など)を設定し、課題をこなしながら、読む人に正しく伝わることを目標にして、文を書く練習を行います。毎回、何かを書くという作業を通して、「表現する技術」を向上させる練習を行います。

学修目標

この授業を修了するためには、授業中に課される課題を授業時間内で完成させることが必要になります。

- 1 授業に出席し、問題となるテーマについて講義を受ける。
- 2 テーマを理解するための課題・構文練習を完成させる。
- 3 テーマ理解を深めるため、まとまった長さの文章を書き、適切な日本語表現を習得する。
- 4 学習した事柄を積極的に身につけようとする姿勢が求められます。

内容

1	ウォーミングアップ：授業案内・自己紹介・第三者の目による自己紹介・原稿用紙の使い方
2	正しい文を書くために：単語から文へ(助詞の使い方)
3	正しい文を書くために：単語から文へ(助詞の使い方)・メモから文へ(語順を意識する)
4	正しい文を書くために：メモから文へ(語順を意識する)
5	正しい文を書くために：読みやすい文 (漢字とかなの割合)
6	正しい文を書くために：読みやすい文 (句読点をつける)
7	正しい文を書くために：ねじれの無い文(文を正しく完結する)
8	正しい文を書くために：ねじれの無い文(文を正しく完結する)
9	文のスタイルを考える：敬体と常体(「です・ます体」と「である体」)
10	文のスタイルを考える：敬体と常体(「です・ます体」と「である体」)
11	文のスタイルを考える：語種による語感(「和語」と「漢語」)
12	文のスタイルを考える：語種による語感(「和語」と「漢語」)
13	文のスタイルを考える：話しことばし書きことば
14	文のスタイルを考える：話しことばし書きことば
15	まとめ

評価

各回授業での課題の完成(授業中に課す課題を完成させることが評価の対象になります)： 30%

筆記試験（まとまった長さの文章を書くことが求められます）： 70%

合計60%以上を合格点とします。

評価を受けるためには3分の2以上の出席が必要になります。

合格点に達しなかった場合は再試験を行います。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教室での配布物が授業教材となります。

科目名	日本語表現技術		
担当教員名	小笠原 典子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

留学生(1年次学生)のための日本語関連科目の中で、特に「書く」ことを中心に授業を進め、日本語力の向上を目指す科目です。「日本語表現技術(中級基礎)」に続く科目です。

科目の概要

毎回、授業で取り上げるテーマ(内容のまとめ・接続のことば・ノートをとる練習・話の展開など)を設定し、課題をこなしながら、読む人に正しく伝わることを目標にして、文を書く練習を行います。毎回何かを書くという作業を通して、「表現する技術」の向上を目指します。

学修目標

この授業を修了するためには、授業中に課される課題を授業時間内で完成させることが必要になります。

- 1 授業に出席し、問題となるテーマについて講義を受ける。
- 2 テーマを理解するための課題・構文練習を完成させる。
- 3 テーマ理解を深めるため、まとまった長さの文章を書き、適切な日本語表現を習得する。
- 4 学習した事柄を積極的に身につけようとする姿勢が求められます。

内容

1	文章の内容をつかむ：聞き取った内容をまとめる(スピーチ)
2	文章の内容をつかむ：聞き取った内容をまとめる(会話文)
3	文章の内容をつかむ：書かれている内容を説明する(文章を読んで、内容を説明する)
4	文章の内容をつかむ：書かれている内容を説明する(文章を読んで、内容を図式化する)
5	授業ノートをとる：キーワードの選出・箇条書きを作る
6	授業ノートをとる：講義を聞いてノートをとる練習
7	話の展開：話の続きを想像する(場面を展開する)
8	話の展開：話の続きを想像する(場面を展開する)
9	話の展開：つながりのことばを考える(場面の展開で接続のことばを使う)
10	話の展開：つながりのことばを考える(場面の展開で接続のことばを使う)
11	話の展開：視点を変えて表現する(立場をかえて同じ内容について表現する)
12	意見・考えを述べる：事実と意見の区別
13	意見・考えを述べる：短い意見文を書く
14	意見・考えを述べる：短い意見文を書く
15	まとめ

評価

各回授業での課題の完成(授業中に課す課題を完成させることが評価の対象になります)： 30%

筆記試験（まとまった長さの文章を書くことが求められます）： 70%

合計60%以上を合格点とします。

評価を受けるためには、3分の2以上の出席が求められます。

合格点に達しなかった場合は再試験を行います。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教室での配布物が授業教材となります。

科目名	日本語（中級基礎）		
担当教員名	小田 明子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

留学生（1年次学生）を対象とする日本語の授業である。

この授業では日本語の4技能（読む・書く・話す・聞く）を総合的に高めることを目指す。

科目の概要

プレースメントテストの結果を見て必要な日本語教材を用意する。授業では特に1）語彙を増やす2）表現文型を習得する3）読解力をつける4）自分の考えを表現する力をつける ことに力をおいて進め、専門科目の授業が受講できるような日本語運用力をつける。

学修目標

この授業を修了するには以下のことに留意する必要がある。

- 1）あらかじめ教材を読んで、分からない語彙の意味を調べてくる
- 2）積極的に授業に参加し、わからない箇所は授業中に解決するように努める。
- 3）授業で勉強したことが定着するように復習し、実際に使ってみる
- 4）宿題は平常点に含まれるので必ず提出する

*平常点には小テスト、提出物、授業態度などが含まれる

内容

授業内容は次のように読解から文法練習、書く練習までを1ユニットとして2～3コマで1ユニットを終了する予定である。

1．「読む」

さまざまな書物からの抜粋を読む。各方面の話題を取り上げ、基本的な語彙を増やし、背景知識、問題点について理解できるようにする。また、指示語の理解、接続の表現などを取り上げながら精読していく。

2．「文法」

N1，N2程度の文法項目を取り上げ解説する。いろいろな使い方があるものについては、その文章の中でどのような意味で使われているかなど詳しく見ていく。重要なものは短文作成なども適宜行う。

3．「聞く」

学習した文法項目を使ったりリスニング練習を行う。さまざまな場面での実際の会話に近い発話を聞いて、聞き取る力をつける。

4．「話す」

その課で学んだ文法項目を使ったミニ会話練習を行う。

5．「タスク」

その課の内容に関する話題を扱い、まとまった発話を聞いて答えたり、ディスカッション、ロールプレイングなどを行う。

6. 「書く」

その課で扱った分野やテーマに関して自分の考えたことをまとめて書く練習をする。

評価

平常点（30点）、試験（70点）により評価を行い、60点以上を合格とする。評価を受けるには三分の二以上の出席が必要である。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】第1回目の教場で指示する。

【参考図書】どんな時どう使う日本語表現文型500：中上級 / 友松悦子ほか著 / アルク

教師と学習者のための日本語文型辞典 / くるしお出版

科目名	日本語（中級基礎）		
担当教員名	前田 庸子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

留学生（1年次学生）を対象とする日本語の授業である。

この授業では日本語の4技能（読む・書く・話す・聞く）を総合的に高めることを目指す。

科目の概要

プレースメントテストの結果を見て必要な日本語教材を用意する。授業では特に1）語彙を増やす2）表現文型を習得する3）読解力をつける4）自分の考えを表現する力をつける ことに力をおいて進め、専門科目の授業が受講できるような日本語運用力をつける。

学修目標

この授業を修了するには以下のことに留意する必要がある。

- 1）あらかじめ教材を読んで、分からない語彙の意味を調べてくる
- 2）積極的に授業に参加し、わからない箇所は授業中に解決するように努める。
- 3）授業で勉強したことが定着するように復習し、実際に使ってみる
- 4）宿題は平常点に含まれるので必ず提出する

*平常点には小テスト、提出物、授業態度などが含まれる

内容

授業内容は次のように読解から文法練習、書く練習までを1ユニットとして2～3コマで1ユニットを終了する予定である。

1．「読む」

さまざまな書物からの抜粋を読む。各方面の話題を取り上げ、基本的な語彙を増やし、背景知識、問題点について理解できるようにする。また、指示語の理解、接続の表現などを取り上げながら精読していく。

2．「文法」

N1，N2程度の文法項目を取り上げ解説する。いろいろな使い方があるものについては、その文章の中でどのような意味で使われているかなど詳しく見ていく。重要なものは短文作成なども適宜行う。

3．「聞く」

学習した文法項目を使ったりリスニング練習を行う。さまざまな場面での実際の会話に近い発話を聞いて、聞き取る力をつける。

4．「話す」

その課で学んだ文法項目を使ったミニ会話練習を行う。

5．「タスク」

その課の内容に関する話題を扱い、まとまった発話を聞いて答えたり、ディスカッション、ロールプレイングなどを行う。

6. 「書く」

その課で扱った分野やテーマに関して自分の考えたことをまとめて書く練習をする。

評価

平常点（30点）、試験（70点）により評価を行い、60点以上を合格とする。評価を受けるには三分の二以上の出席が必要である。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】第1回目の教場で指示する。

【参考図書】どんな時どう使う日本語表現文型500：中上級 / 友松悦子ほか著 / アルク

教師と学習者のための日本語文型辞典 / くるしお出版

科目名	日本語（中級基礎）		
担当教員名	小笠原 典子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

留学生（1年次学生）を対象とする日本語の授業である。

この授業では日本語の4技能（読む・書く・話す・聞く）を総合的に高めることを目指す。

科目の概要

プレースメントテストの結果を見て必要な日本語教材を用意する。授業では特に1）語彙を増やす2）表現文型を習得する3）読解力をつける4）自分の考えを表現する力をつける ことに力をおいて進め、専門科目の授業が受講できるような日本語運用力をつける。

学修目標

この授業を修了するには以下のことに留意する必要がある。

- 1）あらかじめ教材を読んで、分からない語彙の意味を調べてくる
- 2）積極的に授業に参加し、わからない箇所は授業中に解決するように努める。
- 3）授業で勉強したことが定着するように復習し、実際に使ってみる
- 4）宿題は平常点に含まれるので必ず提出する

*平常点には小テスト、提出物、授業態度などが含まれる

内容

授業内容は次のように読解から文法練習、書く練習までを1ユニットとして2～3コマで1ユニットを終了する予定である。

1．「読む」

さまざまな書物からの抜粋を読む。各方面の話題を取り上げ、基本的な語彙を増やし、背景知識、問題点について理解できるようにする。また、指示語の理解、接続の表現などを取り上げながら精読していく。

2．「文法」

N1，N2程度の文法項目を取り上げ解説する。いろいろな使い方があるものについては、その文章の中でどのような意味で使われているかなど詳しく見ていく。重要なものは短文作成なども適宜行う。

3．「聞く」

学習した文法項目を使ったりリスニング練習を行う。さまざまな場面での実際の会話に近い発話を聞いて、聞き取る力をつける。

4．「話す」

その課で学んだ文法項目を使ったミニ会話練習を行う。

5．「タスク」

その課の内容に関する話題を扱い、まとまった発話を聞いて答えたり、ディスカッション、ロールプレイングなどを行う。

6. 「書く」

その課で扱った分野やテーマに関して自分の考えたことをまとめて書く練習をする。

評価

平常点（30点）、試験（70点）により評価を行い、60点以上を合格とする。評価を受けるには三分の二以上の出席が必要である。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】第1回目の教場で指示する。

【参考図書】どんな時どう使う日本語表現文型500：中上級 / 友松悦子ほか著 / アルク
教師と学習者のための日本語文型辞典 / くらしお出版

科目名	日本語（中級基礎）		
担当教員名	安恒 佳代子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

留学生（1年次学生）を対象とする日本語の授業である。

この授業では日本語の4技能（読む・書く・話す・聞く）を総合的に高めることを目指す。

科目の概要

プレースメントテストの結果を見て必要な日本語教材を用意する。授業では特に1）語彙を増やす2）表現文型を習得する3）読解力をつける4）自分の考えを表現する力をつける ことに力をおいて進め、専門科目の授業が受講できるような日本語運用力をつける。

学修目標

この授業を修了するには以下のことに留意する必要がある。

- 1）あらかじめ教材を読んで、分からない語彙の意味を調べてくる
- 2）積極的に授業に参加し、わからない箇所は授業中に解決するように努める。
- 3）授業で勉強したことが定着するように復習し、実際に使ってみる
- 4）宿題は平常点に含まれるので必ず提出する

*平常点には小テスト、提出物、授業態度などが含まれる

内容

授業内容は次のように読解から文法練習、書く練習までを1ユニットとして2～3コマで1ユニットを終了する予定である。

1．「読む」

さまざまな書物からの抜粋を読む。各方面の話題を取り上げ、基本的な語彙を増やし、背景知識、問題点について理解できるようにする。また、指示語の理解、接続の表現などを取り上げながら精読していく。

2．「文法」

N1，N2程度の文法項目を取り上げ解説する。いろいろな使い方があるものについては、その文章の中でどのような意味で使われているかなど詳しく見ていく。重要なものは短文作成なども適宜行う。

3．「聞く」

学習した文法項目を使ったりリスニング練習を行う。さまざまな場面での実際の会話に近い発話を聞いて、聞き取る力をつける。

4．「話す」

その課で学んだ文法項目を使ったミニ会話練習を行う。

5．「タスク」

その課の内容に関する話題を扱い、まとまった発話を聞いて答えたり、ディスカッション、ロールプレイングなどを行う。

6. 「書く」

その課で扱った分野やテーマに関して自分の考えたことをまとめて書く練習をする。

評価

平常点（30点）、試験（70点）により評価を行い、60点以上を合格とする。評価を受けるには三分の二以上の出席が必要である。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】第1回目の教場で指示する。

【参考図書】どんな時どう使う日本語表現文型500：中上級 / 友松悦子ほか著 / アルク

教師と学習者のための日本語文型辞典 / くるしお出版

科目名	日本語（中級応用）		
担当教員名	小田 明子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

留学生（1年次学生）を対象とする日本語の授業である。

この授業では前期の「日本語」を修得した上で、さらに日本語の4技能（読む・書く・話す・聞く）を総合的に高めることを目指す。

科目の概要

プレースメントテストの結果を見て必要な日本語教材を用意する。授業では特に 1) 語彙を増やす 2) 表現文型を習得する 3) 読解力をつける 4) 自分の考えを表現する力をつける ことに力をおいて進め、専門科目の授業が受講できるような日本語運用力をつける。

学修目標

この授業を修了するには以下のことに留意する必要がある。

- 1) あらかじめ教材を読んで、分からない語彙の意味を調べてくる
- 2) 積極的に授業に参加し、わからない箇所は授業中に解決するように努める。
- 3) 授業で勉強したことが定着するように復習し、実際に使ってみる
- 4) 宿題は平常点に含まれるので必ず提出する

*平常点には小テスト、提出物、授業態度などが含まれる

内容

授業内容は次のように読解から文法練習、書く練習までを1ユニットとして2~3コマで1ユニットを終了する予定である。

1. 「読む」

さまざまな書物からの抜粋を読む。各方面の話題を取り上げ、基本的な語彙を増やし、背景知識、問題点について理解できるようにする。また、指示語の理解、接続の表現などを取り上げながら精読していく。

2. 「文法」

N1, N2程度の文法項目を取り上げ解説する。いろいろな使い方があるものについては、その文章の中でどのような意味で使われているかなど詳しく見ていく。重要なものは短文作成なども適宜行う。

3. 「聞く」

学習した文法項目を使ったりリスニング練習を行う。さまざまな場面での実際の会話に近い発話を聞いて、聞き取る力をつける。

4. 「話す」

その課で学んだ文法項目を使ったミニ会話練習を行う。

5. 「タスク」

その課の内容に関する話題を扱い、まとまった発話を聞いて答えたり、ディスカッション、ロールプレイングなどを行う。

6. 「書く」

その課で扱った分野やテーマに関して自分の考えたことをまとめて書く練習をする。

評価

平常点（30点）、試験（70点）により評価を行い、60点以上を合格とする。評価を受けるには三分の二以上の出席が必要である。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】第1回目の教場で指示する。

【参考図書】どんな時どう使う日本語表現文型500：中上級 / 友松悦子ほか著 / アルク
教師と学習者のための日本語文型辞典 / くるしお出版

科目名	日本語（中級応用）		
担当教員名	前田 庸子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

留学生（1年次学生）を対象とする日本語の授業である。

この授業では前期の「日本語」を修得した上で、さらに日本語の4技能（読む・書く・話す・聞く）を総合的に高めることを目指す。

科目の概要

プレースメントテストの結果を見て必要な日本語教材を用意する。授業では特に 1) 語彙を増やす 2) 表現文型を習得する 3) 読解力をつける 4) 自分の考えを表現する力をつける ことに力をおいて進め、専門科目の授業が受講できるような日本語運用力をつける。

学修目標

この授業を修了するには以下のことに留意する必要がある。

- 1) あらかじめ教材を読んで、分からない語彙の意味を調べてくる
- 2) 積極的に授業に参加し、わからない箇所は授業中に解決するように努める。
- 3) 授業で勉強したことが定着するように復習し、実際に使ってみる
- 4) 宿題は平常点に含まれるので必ず提出する

*平常点には小テスト、提出物、授業態度などが含まれる

内容

授業内容は次のように読解から文法練習、書く練習までを1ユニットとして2~3コマで1ユニットを終了する予定である。

1. 「読む」

さまざまな書物からの抜粋を読む。各方面の話題を取り上げ、基本的な語彙を増やし、背景知識、問題点について理解できるようにする。また、指示語の理解、接続の表現などを取り上げながら精読していく。

2. 「文法」

N1, N2程度の文法項目を取り上げ解説する。いろいろな使い方があるものについては、その文章の中でどのような意味で使われているかなど詳しく見ていく。重要なものは短文作成なども適宜行う。

3. 「聞く」

学習した文法項目を使ったりリスニング練習を行う。さまざまな場面での実際の会話に近い発話を聞いて、聞き取る力をつける。

4. 「話す」

その課で学んだ文法項目を使ったミニ会話練習を行う。

5. 「タスク」

その課の内容に関する話題を扱い、まとまった発話を聞いて答えたり、ディスカッション、ロールプレイングなどを行う。

6. 「書く」

その課で扱った分野やテーマに関して自分の考えたことをまとめて書く練習をする。

評価

平常点（30点）、試験（70点）により評価を行い、60点以上を合格とする。評価を受けるには三分の二以上の出席が必要である。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】第1回目の教場で指示する。

【参考図書】どんな時どう使う日本語表現文型500：中上級 / 友松悦子ほか著 / アルク
教師と学習者のための日本語文型辞典 / くるしお出版

科目名	日本語（中級応用）		
担当教員名	小笠原 典子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

留学生（1年次学生）を対象とする日本語の授業である。

この授業では前期の「日本語」を修得した上で、さらに日本語の4技能（読む・書く・話す・聞く）を総合的に高めることを目指す。

科目の概要

プレースメントテストの結果を見て必要な日本語教材を用意する。授業では特に 1) 語彙を増やす 2) 表現文型を習得する 3) 読解力をつける 4) 自分の考えを表現する力をつける ことに力をおいて進め、専門科目の授業が受講できるような日本語運用力をつける。

学修目標

この授業を修了するには以下のことに留意する必要がある。

- 1) あらかじめ教材を読んで、分からない語彙の意味を調べてくる
- 2) 積極的に授業に参加し、わからない箇所は授業中に解決するように努める。
- 3) 授業で勉強したことが定着するように復習し、実際に使ってみる
- 4) 宿題は平常点に含まれるので必ず提出する

*平常点には小テスト、提出物、授業態度などが含まれる

内容

授業内容は次のように読解から文法練習、書く練習までを1ユニットとして2~3コマで1ユニットを終了する予定である。

1. 「読む」

さまざまな書物からの抜粋を読む。各方面の話題を取り上げ、基本的な語彙を増やし、背景知識、問題点について理解できるようにする。また、指示語の理解、接続の表現などを取り上げながら精読していく。

2. 「文法」

N1, N2程度の文法項目を取り上げ解説する。いろいろな使い方があるものについては、その文章の中でどのような意味で使われているかなど詳しく見ていく。重要なものは短文作成なども適宜行う。

3. 「聞く」

学習した文法項目を使ったりリスニング練習を行う。さまざまな場面での実際の会話に近い発話を聞いて、聞き取る力をつける。

4. 「話す」

その課で学んだ文法項目を使ったミニ会話練習を行う。

5. 「タスク」

その課の内容に関する話題を扱い、まとまった発話を聞いて答えたり、ディスカッション、ロールプレイングなどを行う。

6. 「書く」

その課で扱った分野やテーマに関して自分の考えたことをまとめて書く練習をする。

評価

平常点（30点）、試験（70点）により評価を行い、60点以上を合格とする。評価を受けるには三分の二以上の出席が必要である。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】第1回目の教場で指示する。

【参考図書】どんな時どう使う日本語表現文型500：中上級 / 友松悦子ほか著 / アルク
教師と学習者のための日本語文型辞典 / くるしお出版

科目名	日本語（中級応用）		
担当教員名	安恒 佳代子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

留学生（1年次学生）を対象とする日本語の授業である。

この授業では前期の「日本語」を修得した上で、さらに日本語の4技能（読む・書く・話す・聞く）を総合的に高めることを目指す。

科目の概要

プレースメントテストの結果を見て必要な日本語教材を用意する。授業では特に 1) 語彙を増やす 2) 表現文型を習得する 3) 読解力をつける 4) 自分の考えを表現する力をつける ことに力をおいて進め、専門科目の授業が受講できるような日本語運用力をつける。

学修目標

この授業を修了するには以下のことに留意する必要がある。

- 1) あらかじめ教材を読んで、分からない語彙の意味を調べてくる
- 2) 積極的に授業に参加し、わからない箇所は授業中に解決するように努める。
- 3) 授業で勉強したことが定着するように復習し、実際に試してみる
- 4) 宿題は平常点に含まれるので必ず提出する

*平常点には小テスト、提出物、授業態度などが含まれる

内容

授業内容は次のように読解から文法練習、書く練習までを1ユニットとして2~3コマで1ユニットを終了する予定である。

1. 「読む」

さまざまな書物からの抜粋を読む。各方面の話題を取り上げ、基本的な語彙を増やし、背景知識、問題点について理解できるようにする。また、指示語の理解、接続の表現などを取り上げながら精読していく。

2. 「文法」

N1, N2程度の文法項目を取り上げ解説する。いろいろな使い方があるものについては、その文章の中でどのような意味で使われているかなど詳しく見ていく。重要なものは短文作成なども適宜行う。

3. 「聞く」

学習した文法項目を使ったりリスニング練習を行う。さまざまな場面での実際の会話に近い発話を聞いて、聞き取る力をつける。

4. 「話す」

その課で学んだ文法項目を使ったミニ会話練習を行う。

5. 「タスク」

その課の内容に関する話題を扱い、まとまった発話を聞いて答えたり、ディスカッション、ロールプレイングなどを行う。

6. 「書く」

その課で扱った分野やテーマに関して自分の考えたことをまとめて書く練習をする。

評価

平常点（30点）、試験（70点）により評価を行い、60点以上を合格とする。評価を受けるには三分の二以上の出席が必要である。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】第1回目の教場で指示する。

【参考図書】どんな時どう使う日本語表現文型500：中上級 / 友松悦子ほか著 / アルク
教師と学習者のための日本語文型辞典 / くらしお出版

科目名	日本語表現技術（中級基礎）		
担当教員名	小笠原 典子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格

留学生（1年次学生）のための日本語関連科目の中で、特に「書く」ことを中心に授業を進め、日本語力の向上を目指す科目です。

科目の概要

毎回、授業で取り上げるテーマ（助詞の問題・語順・文末の表現・ねじれのこない文など）を設定し、課題をこなしながら、読む人に正しく伝わることを目標にして、文を書く練習を行います。毎回、何かを書くという作業を通して、「表現する技術」を向上させる練習を行います。

学修目標

この授業を修了するためには、授業中に課される課題を授業時間内で完成させることが必要になります。

- 1 授業に出席し、問題となるテーマについて講義を受ける。
- 2 テーマを理解するための課題・構文練習を完成させる。
- 3 テーマ理解を深めるため、まとまった長さの文章を書き、適切な日本語表現を習得する。
- 4 学習した事柄を積極的に身につけようとする姿勢が求められます。

内容

1	ウォーミングアップ：授業案内・自己紹介・第三者の目による自己紹介・原稿用紙の使い方
2	正しい文を書くために：単語から文へ（助詞の使い方）
3	正しい文を書くために：単語から文へ（助詞の使い方）・メモから文へ（語順を意識する）
4	正しい文を書くために：メモから文へ（語順を意識する）
5	正しい文を書くために：読みやすい文（漢字とかなの割合）
6	正しい文を書くために：読みやすい文（句読点をつける）
7	正しい文を書くために：ねじれのこない文（文を正しく完結する）
8	正しい文を書くために：ねじれのこない文（文を正しく完結する）
9	文のスタイルを考える：敬体と常体（「です・ます体」と「である体」）
10	文のスタイルを考える：敬体と常体（「です・ます体」と「である体」）
11	文のスタイルを考える：語種による語感（「和語」と「漢語」）
12	文のスタイルを考える：語種による語感（「和語」と「漢語」）
13	文のスタイルを考える：話しことばし書きことば
14	文のスタイルを考える：話しことばし書きことば
15	まとめ

評価

各回授業での課題の完成（授業中に課す課題を完成させることが評価の対象になります）： 30%

筆記試験（まとまった長さの文章を書くことが求められます）： 70%

合計60%以上を合格点とします。

評価を受けるためには3分の2以上の出席が必要になります。

合格点に達しなかった場合は再試験を行います。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教室での配布物が授業教材となります。

科目名	日本語表現技術（中級発展）		
担当教員名	小笠原 典子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格

留学生（1年次学生）のための日本語関連科目の中で、特に「書く」ことを中心に授業を進め、日本語力の向上を目指す科目です。「日本語表現技術（中級基礎）」に続く科目です。

科目の概要

毎回、授業で取り上げるテーマ（内容のまとめ・接続のことば・ノートをとる練習・話の展開など）を設定し、課題をこなしながら、読む人に正しく伝わることを目標にして、文を書く練習を行います。毎回何かを書くという作業を通して、「表現する技術」の向上を目指します。

学修目標

この授業を修了するためには、授業中に課される課題を授業時間内で完成させることが必要になります。

- 1 授業に出席し、問題となるテーマについて講義を受ける。
- 2 テーマを理解するための課題・構文練習を完成させる。
- 3 テーマ理解を深めるため、まとまった長さの文章を書き、適切な日本語表現を習得する。
- 4 学習した事柄を積極的に身につけようとする姿勢が求められます。

内容

1	文章の内容をつかむ：聞き取った内容をまとめる（スピーチ）
2	文章の内容をつかむ：聞き取った内容をまとめる（会話文）
3	文章の内容をつかむ：書かれている内容を説明する（文章を読んで、内容を説明する）
4	文章の内容をつかむ：書かれている内容を説明する（文章を読んで、内容を図式化する）
5	授業ノートをとる：キーワードの選出・箇条書きを作る
6	授業ノートをとる：講義を聞いてノートをとる練習
7	話の展開：話の続きを想像する（場面を展開する）
8	話の展開：話の続きを想像する（場面を展開する）
9	話の展開：つながりのことばを考える（場面の展開で接続のことばを使う）
10	話の展開：つながりのことばを考える（場面の展開で接続のことばを使う）
11	話の展開：視点を変えて表現する（立場をかえて同じ内容について表現する）
12	意見・考えを述べる：事実と意見の区別
13	意見・考えを述べる：短い意見文を書く
14	意見・考えを述べる：短い意見文を書く
15	まとめ

評価

各回授業での課題の完成（授業中に課す課題を完成させることが評価の対象になります）： 30%

筆記試験（まとまった長さの文章を書くことが求められます）： 70%

合計60%以上を合格点とします。

評価を受けるためには、3分の2以上の出席が求められます。

合格点に達しなかった場合は再試験を行います。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教室での配布物が授業教材となります。

科目名	英米児童文学と女性作家（ジェンダー論 - 7）		
担当教員名	西澤 喜代美		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

共通科目・ジェンダー論基礎科目「ジェンダー論1」（必修）に続く「ジェンダー論 1～8」（選択必修）8科目の中の1科目です。

19世紀欧米において女性に認められていた職業は、家庭教師、児童文学の作家、コンパニオンでした。19世紀から20世紀にかけて自立を志向した児童文学作家たち、また彼女たちによって書かれた「少女像」の変化について研究します。

英米加における 1. 女性の役割の変化 2. 子ども観の変化 3. 女性作家の生き方、その作品にみられる少女たちについて研究し21世紀に生きる女性のありようについて考察します。

内容

1	出発点として現代日本における理想とする女性像、少女像
2	イギリスにおける女性史
3	F. H. バーネット
4	『小公女』
5	『秘密の花園』
6	アメリカにおける女性史
7	L. M. オルコット
8	『若草物語』
9	『第2、3、4若草物語』
10	映画『若草物語』
11	カナダにおける女性史
12	L. M. モンゴメリー
13	『赤毛のアン』
14	『赤毛のアン』シリーズ
15	まとめ

評価

授業参加度・出席カードの記載内容30点、課題レポート30点、期末レポート40点で評価し、60点以上を合格とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用しません。プリント、推薦書リストを授業時に配布します。